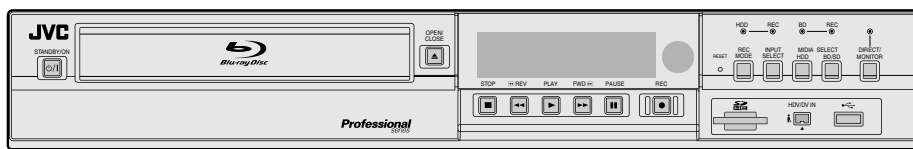
JVC

BLU-RAY ディスク & HDD レコーダー

SR-HD2500 取扱説明書

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は、正しくお読みいただき、安全にお使いください。

LST1411-001A

安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

注意が必要であることを表示

禁止行為であることを表示

しなければならない(強制)ことを表示

警告　死亡または重症を負う可能性が想定されている内容を示しています。

万一異常が発生したときは

- 発煙、異臭が発生したとき
- 内部に水、異物が入ったとき
- 落下、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき

電源プラグをコンセントから抜く

ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、最寄りの販売店またはサービスまでご連絡ください。ご自分では決して修理しないでください。

設置に関するご注意

梱包に使用していたポリ袋などは、小さなお子様の手の届くところには置かない

- 頭からかぶると、窒息の原因となります。

不安定な場所に置かない

- ぐらついた台の上や傾いたところ、振動、衝撃のあるところに置くと、落下、転倒などからケガの原因となります。
- 本機は縦置きでの設置は不可です。

機器の上に花瓶やコップなどを置かない

- 機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。

機器を水滴のかかる場所に置かない

- 火災や感電の原因となります。

風呂場では使用しない

- 機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。

電源プラグはコードの部分を持って抜かない

- コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

内部に物を入れない

- 機器の内部に物が入ると、火災や感電の原因となります。

電源に関するご注意

電源プラグやコンセントにほこりや金属類を付着したまま使用しない

- ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。
- 半年に一度はプラグを抜いて乾いた布で拭いてください。

電源プラグは、抜き差ししやすいコンセントに差し込む

- 本機に異常が発生したときに、ただちに電源プラグが抜けるようにしてください。

電源プラグは奥まで確実に差し込む

- ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。

同梱の電源コードは、この機器以外には使用しない

- 火災や故障、感電の原因となります。

表示された電源電圧以外では使用しない

- 火災や感電の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

- 感電の原因となります。

雷がなったら、電源プラグには触らない

- 感電の原因となります。

電源コードを傷つけない

- 傷んだまま使用すると、火災や感電の原因となります。

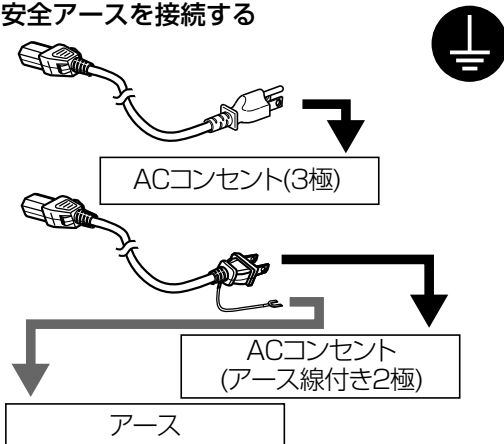
分解・改造をしない

- 内部に高電圧の部分があり、火災や感電の原因となります。

1年に1度は内部の点検を販売店に依頼する

- ホコリがたまったまま使用すると、火災の原因となります。
- 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、効果的です。

警告 死亡または重症を負う可能性が想定されている内容を示しています。

●安全アースを接続する

安全アースを接続しないと感電の原因となることがあります。
- ACコンセントが3極の場合
  付属の電源コード(3極)を接続すると、安全アースも接続されます。
- ACコンセントが2極の場合
  付属の電源コード(アース線付き2極)のプラグから出ている緑色のアース線を、建物に備えられているアース端子につないでください。アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は必ず電源プラグをコンセントから外してから行ってください。

注意 傷害を負ったり、物的損害が想定されている内容を示しています。

本機の取り扱い上のご注意

長時間使用しないときは、電源プラグを抜く

- 電源が"切"でも機器に電気が流れています。安全、節電のために電源プラグを抜いてください。

移動するときは、電源プラグや接続コード類を抜く

- コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

この機器の上に重い物を置いたり、乗ったりしない

- けがの原因や、変形して火災や感電の原因となります。

通気孔をふさがない

- 本機をキャビネットや棚に設置するときは、放熱をよくするために、周囲に十分な空間距離を保つようにしてください。
  (本機の天面、後面及び両側面から10cm以上の距離を空けてください)

湿気やほこり、湯気、油煙の当たる場所には置かない

- 油や水分、ほこりなどに電気が流れ、火災や感電の原因となります。

熱源の近くには置かない

- 機器の変形、劣化のほか、火災の原因となります。

ディスクトレイに手をはさまれないように注意する

- ケガの原因となります。特に小さなお子様にはご注意ください。

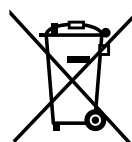
ディスクトレイの前に物を置かない

- トレイの前に熱湯を入れたカップなどを置くと、トレイが開いたときにケガ、やけどの原因となることがあります。

USB端子には当社製ビデオカメラ以外は接続しない

- 故障の原因となります。

●スペースを確保する

本機をキャビネットや棚に設置するときは、放熱をよくするために、周囲に十分な空間距離を保つようにしてください。
(本機の天面、後面及び両側面から10cm以上の距離を空けてください)

欧州連合のリサイクルマークです。

この製品はクラスA情報技術装置です。
住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

この製品はクラス1レーザー機器です。

主な特長

ハイビジョン時代のプロフェッショナル Blu-ray Disc レコーダー

ハイビジョンカムコーダーからハイビジョンのまま、PC レスで Blu-ray Disc に残したり、DVD ダウンコンバートして記録できます。
ハードディスクドライブを内蔵し、編集や複数枚のダビングもらくらくこなせます。

ProHD カムコーダー GY-HM750/150 連携

JVC ProHD カムコーダー GY-HM750/150 で撮影した MOV 形式「SP モード」(*1)および「HQ モード」(*2)のファイル取り込みに対応し、HDD への取り込みやディスクにダビングが可能です。

(*1) SP mode ： 1280x720/60p, 30p, 24p, 1440x1080/60i

(*2) HQ mode ： 1280x720/60p, 30p, 24p, 1440x1080/60i, 1920x1080/60i, 30p, 24p

民生カムコーダーにも広く対応

AVCHD、HDV、DV に加え、JVC Everio のファイルフォーマットにも対応し、デジタルダビングが可能です。

カムコーダー連携を実現するデジタルインターフェース

カムコーダーと連携する USB、SD スロット、i.LINK 入力端子を搭載してます。

メニュー付き Blu-ray ディスクの作成が可能

Blu-ray ディスクはメニュー付の BDMV 形式で作成できます。
BDAV 形式のディスクも作成でき、お客様の用途に合わせてダビングが可能です。
ユーザーのオリジナル画像を背景にすることもできます。

2 層 Blu-ray ディスク 50 GB に対応、最長 24 時間のフルハイビジョン映像を 1 枚に収録

大容量 Blu-ray ディスク 2 層 50 GB にも対応し、フルハイビジョン映像を最長 24 時間（AE モード）の記録ができます。
また安価な LTH ディスクの書き込みにも対応してます。

デモ用など業務用途のディスクを作成可能なオーサリングメニュー

自動的にリピート再生するディスクなどの業務用途に使えるディスクオーサリングが可能です。

外部制御可能な RS-232C 端子搭載

PC からの外部制御可能な RS-232C 端子を搭載してます。

SDI 入出力端子搭載

変換・周辺機器を使わずに、SDI システムに直接接続することができます。

Disc へのダイレクト記録が可能

光ディスク（BD-R/RE、DVD-R/RW）に直接記録することができます。

本書の見かた

この取扱説明書について

本書では、リモコンのボタンを使った操作方法を中心に説明しています。

- リモコンのボタンは、[ボタン名] と表現しています。
- メニューの選択項目は、"選択項目"と表現しています。

■ 本文中の補足説明について

メモ ： 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

ご注意： 操作上の注意が書かれています。

☞ ： 参考ページや参照項目を示しています。

メモ:

- 操作できるメディアを強調して表示しています。

HDD ： ハードディスク
DVD ： DVD ディスク
BD ： Blu-ray ディスク
SD ： SD カード
SDHC： SDHC カード
CD ： 音楽 CD
JPEG： JPEG（静止画）ファイルのディスク

メニュー操作について

以下のリモコンボタンを押すと、それぞれのメニュー画面が表示されます。

- [設定], [再生ナビ], [編集], [情報修正], [ダビング], [メディア管理]
- [▲ / ▼ / ◀ / ▶]ボタンのいずれかを押すと、選択項目(小さな矢印が付いている黄色表示されている項目)に移動します。
- [決定]ボタンを押して決定します。
- [戻る]ボタンを押すと、一つ前の画面に戻ります。
- 画面下端に簡単な操作方法が表示される場合があります。

もくじ

安全上のご注意

はじめに

準備する

ダビングする/取り込む

記録する

再生する

編集する

設定メニュー

その他

その他のご注意

著作権保護について

本機は著作権保護技術に対応しています。

著作権について

- あなたが保存した映像・音楽は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。
  この著作権保護技術の使用には、Rovi 社の許可が必要です。また、その使用は、Rovi 社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。
  著作権保護された映像をビデオデッキなどで保存する際、著作権保護のための機能が働き、正しく保存できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された映像を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。
- 本機を使用される前に著作物ごとの条件を充分にご確認の上、本機を適正にご使用くださいますようお願い致します。本機の使用に伴う著作権法上の権利処理は、お客様自らで行い、当社はお客様による著作権その他の権利侵害行為について一切の責任を負いません。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- Manufactured under license under U.S. Patent Nos: 5,956,674; 5,974,380; 6,226,616; 6,487,535; 7,392,195; 7,272,567; 7,333,929; 7,212,872 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS-HD, the Symbol, & DTS-HD and the Symbol together are registered trademarks & DTS-HD Master Audio | Essential is a trademark of DTS, Inc. Product includes software. © DTS, Inc. All Rights Reserved.
- DVD ロゴは DVD フォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- Blu-ray Disc および Blu-ray Disc ロゴは Blu-ray Disc Association の商標です。
- “x.v.Color” および “x.v.Color” ロゴはソニー株式会社の商標です。
- Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- SD、および SDHC ロゴは SD-3C、LLC の商標です。
- iLINK および iLINK ロゴは、商標です。
- “AVCHD” と“AVCHD” ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licence および VC-1 Patent Portfolio Licence に基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的においていかに記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - AVC 規格に準拠する動画を記録する場合
  - 個人的かつ非営利活動に従事する消費者によって記録された AVC 規格に準拠する動画および VC-1 規格に準拠する動画を再生する場合
  - ライセンスを受けた提供者から入手された AVC 規格に準拠する動画および VC-1 規格に準拠する動画を再生する場合

  詳細については米国法人 MPEG LA, LLC（http://www.mpegla.com）をご参照ください。
- その他に記載されている会社名、ブランド名、ロゴ、製品名、機能名などは、それぞれの会社の商標または登録商標です。
- 日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)の Advanced Wnn を使用しています。
- 本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされているものです。
  (i) AVC 規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものを AVC ビデオといいます）
  (ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされた AVC ビデオ、または AVC ビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手した AVC ビデオをデコードすること
  上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。
  詳細情報につきましては、MPEG LA, LLC から取得することができます。
  http://www.mpegla.com をご参照ください。

保存した映像内容と補償について

- 大切な映像を保存したディスクは定期的な（数年おき）バックアップをおすすめします。デジタル信号の劣化はありませんが、保存環境によりディスクの経年変化の影響で再生やダビングができなくなる場合があります。
- 本機の使用中に停電などが起こったときは、記録されているデータなどが損なわれることがあります。HDD に保存した映像は、早めに BD や DVD にダビングするなど、HDD の破損に備えることをおすすめします。
- BD/DVD や HDD、SD カードが破損したときは、保存した映像やデータの修復はできません。

保存した映像内容の補償に関する免責事項について

何らかの原因によって、正常にダビング・再生できなかった場合の内容の補償および付随的な損害に関して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合においても同様です。

デジタル放送の録画について

本機はデジタル放送の映像、音声を録画することは出来ません。

ハードディスク(HDD)について

ハードディスク(HDD)について

電源が「入」の状態では、常に HDD が高速で回転しています。このためご使用になるときは、特に次の点に注意してお使いください。

警告
• 振動や衝撃をあたえない 無理な衝撃をあたえると、記録されているデータが損なわれるだけでなく、HDD そのものが破損する原因となります。 • 本機の動作中に電源プラグをコンセントから抜かない HDD 動作中にいきなり電源を切ると、データが損なわれるだけでなく、HDD そのものが破損する原因となります。必ず電源を切ってから電源プラグを抜いてください。 (本体表示窓の"GOOD BYE"が消えるまで待つ)

SD カードについて

SD カードおよび SDHC カードの取り扱い上のご注意

- SD カードのアクセス中(ダビング、再生、フォーマットなど)は、表示窓の SD 表示が点滅し、画面上に表示します。アクセス中に SD カードを抜いたり、電源コードを抜かないでください。SD カードが使用できなくなる場合があります。
  使用できなくなった場合は、再フォーマットしてください。再フォーマットしても使用できない場合は、新しい SD カードを使用してください。
- 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用や保管しないでください。
- 挿入方法を間違えると、本機や SD カードの故障の原因となります。
- 万一の事故による保存データの損害は、弊社で一切の責任を負わないものとします。(データはバックアップしてください。)
- 使用条件の範囲で使用ください。次の場所では使用しないでください。
  - 直射日光の当たる場所
  - 熱機器の近く
  - 炎天下の窓を閉め切った車の中
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- 曲げたり、落としたり、また強い衝撃や振動を与えないでください。
- 水でぬらさないでください。
- 強い磁気や電波の発生する機器の近くには置かないでください。
- 金属端子に触らないでください。
- SDXC カードには対応していません。

破棄するためにすべてのデータを完全に消去したい場合は、市販のデータ消去ソフトを使用するか、または SD カードを金槌などで物理的に破壊することをおすすめします。本機によるフォーマットや削除ではファイル管理情報が変更されるだけで、データの消去は完全ではありません。

BD ビデオデータについて

SD カードから BD ビデオデータを削除する場合は、以下の手順で行ってください。

1 BD ビデオデータが入った SD カードを[SD]スロットに挿入する

メモ:
- SD カードが書込み禁止になってる場合は、BD ビデオデータの消去ができません。書込み禁止のロックを解除してから、SD カードを挿入してください。

2 リモコンの[メディア管理]ボタンを押す

3 "SD カード"の"BD-Video データ消去"を選ぶ

- BD ビデオデータ消去の確認画面が表示されます。

4 "消去"を選び、[決定]ボタンを押す

- BD ビデオデータ消去が実行されます。

ディスクについて

BD の記録形式について

■ BDAV モード

- 映像を編集（チャプター編集など）したり、新たに映像をディスクに追加できます。録画に適した記録形式です。
- HD 画質の MPEG2 を MPEG2 のままでディスクに記録できます。再生互換性は高くありませんが、バックアップにすぐれた記録形式です。

■ BDMV モード

- ほかの BD プレーヤーとの再生互換があります。また、DVD のビデオモードと同じくメニュー機能を備えています。
配布用途にすぐれた記録形式です。

DVD の記録形式について

■ VR モード

- 新たに映像をディスクに追加したいときは、“VR モード”でディスクをフォーマットしてください。
- コピー制限(ダビング１０、コピーワンス)がされているデジタル放送を保存したいときは、"VR モード"でディスクをフォーマットしてください。(CPRM 対応のディスクをお使いください。)
- 保存した映像を削除すると残量時間が増えます。（DVD-R の場合は、残量時間が増えません。）

■ ビデオモード

- ほかの DVD プレーヤーで再生したいときは、このモードでディスクをフォーマットしてください。

■ AVCREC モード

- デジタルハイビジョン画質のままディスクを作成したいときは、このモードでディスクをフォーマットしてください。

メモ:

CPRM: CPRM(Content Protection for Recordable Media)とは、デジタル放送にて著作権が保護された映像の保存を可能にする技術です。

ご注意:

- AVCREC モードで保存した映像は、AVCREC に対応した機器でのみ再生できます。また、対応していない機器に挿入するとディスクがフォーマットされたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。

ディスクのフォーマットについて

使用するディスクによってはフォーマットが必要な場合があります。使用するディスクに合わせてフォーマットしてください。

■ BD-RE、BD-R を使用するとき

フォーマットが必要です。本機でフォーマットしてください。

■ DVD-R を使用するとき

使用するディスクのモードによってはフォーマットが必要です。

- “VR モード”または"AVCREC モード"で使用する場合は、フォーマットが必要です。本機でフォーマットしてください。
- “ビデオモード”で使用する場合は、フォーマットの必要がありません。

ご注意:

- BD-R と DVD-R はフォーマットのやり直しはできません。フォーマットをする前に、ディスクのモードを確認してください。

■ DVD-RW を使用するとき

フォーマットが必要です。本機でフォーマットしてください。

- “VR モード”、“ビデオモード”または"AVCREC モード"のいずれかにフォーマットします。

ダビング/再生できるディスク

ディスクの種類	記録形式	フォーマット	ファイナライズ	繰り返し使用 (再フォーマット)
BD-RE	BDAV モード	○	-	○
	BDMV モード	○	-	○
BD-R	BDAV モード	○	○	-
	BDMV モード	○	-	-
DVD-RW	ビデオモード	○	○	○
	VR モード	○	○	○
	AVCREC モード	○	○	○
DVD-R	ビデオモード	-	○	-
	VR モード	○	○	-
	AVCREC モード	○	○	-

再生のみできるディスク

ディスクの種類	説明
DVD-RAM (4.7GB)	一部再生に対応していますが、記録はできません。
BD-ROM	市販の Blu-Ray ディスク(映画、音楽など) 本機で再生できるリージョン番号(地域番号)は「A」です。
DVD ビデオ	市販のビデオディスク(映画、音楽など) 本機で再生できるリージョン番号(地域番号)は「2」です。映像方式は、NTSC 方式です。
音楽用 CD	CD-DA DTS の音楽用 CD も再生できます。

メモ:
- 8 cm 盤のディスクを使用する場合は、再生のみできます。録画や編集はできません。
- 8 cm 盤のディスクはアダプターなしで使用できます。
- カートリッジ入り DVD-RAM および BD-RE には対応していません。カートリッジ入り DVD-RAM は、カートリッジからディスクを取り出してお使いください。

再生できないディスク

- DVD-RAM(2.6 GB/5.2 GB)
- DVD-R(オーサリング用)
- CD-ROM/R/RW(PhotoCD、CD-G、VCD など)
- DDCD(1.3 GB 倍密度 CD)
- HDCD(高密度 CD)

メモ:
- 本機で作成した BD および DVD をほかのプレイヤーなどで再生するには、ファイナライズをしてください。
- BD-RE のディスクに BDAV モードで記録した場合はファイナライズの必要がありません。
- VR モードで記録した DVD をファイナライズした場合は、VR モード対応の機器でのみ再生できます。
- 高速ダビングするときは、高速記録に対応したディスクをお使いください。
- 本機は NTSC 方式のみの再生と記録に対応しています。

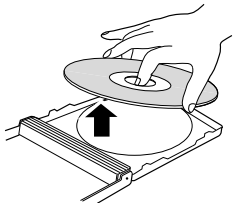
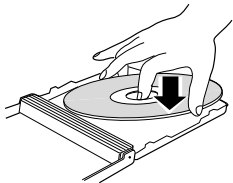
ご注意:
- シールやラベルが剥がれたディスク、円形以外の特殊な形状のディスク、大きく反ったディスク、割れたディスクなどは絶対に使用しないでください。

ディスク使用上のご注意

ディスクのお手入れ

- ディスクに付いた指紋やほこりなどの汚れは、映像や音声の乱れの原因になります。
  柔らかい布などでいつもきれいにしてください。
- 柔らかい布でディスクの中心から外側に向かって軽く拭きます。
- 汚れがひどいときには、少し水で湿らした布で拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジン、アルコール、従来のレコードクリーナー、静電気防止スプレーなどは絶対に使用しないでください。
  ディスクを傷める原因となります。

ディスクの取り扱いかた

■ ディスクを取り出す

■ ディスクをしまう

■ 正しいディスクの持ちかた

- 録画／再生面に手を触れないようにします。

ディスクの保管

- 次のようなところは避けて保管してください。
  - 湿気やほこりの多いところやカビの発生しやすいところ
  - 直射日光が当たるところや暖房器具の近く
  - 夏の自動車の車内
- 落としたり、衝撃をあたえないでください。
- ケースに入れて、立てて保管してください。
- ケースに入れないで重ねたり、立てかけたり、落としたりすると変形やひび割れの原因となります。

録画･再生用レンズが汚れたときは

長期間使用していると、録画･再生用レンズにほこりや汚れなどが付着して正常な録画や再生ができなくなる場合があります。
その場合は、お買い上げ販売店、またはサービス窓口にご相談ください。

デュアルディスク再生時の注意

デュアルディスクの DVD 記録ではない面は、音楽 CD の標準規格に準拠していません。
本機でのデュアルディスクの DVD 記録面以外の再生はおすすめしません。

使用ディスクについて

ディスクによっては十分に性能が発揮できない場合があります。
国内生産（日本製）のディスクのご使用をおすすめします。

電源コードについて

記録や再生中に、電源コードを抜かないでください。
ディスクが使用できなくなる場合があります。
使用できなくなった場合は、下記をご参照ください。

BD-R または DVD-R	：	新しいディスクを使用してください。
BD-RE または DVD-RW	：	ディスクを消去後に再フォーマットしてください。ディスクを使用できない場合は、新しいディスクを使用してください。

ディスクトレイを閉じてからすぐに[⏻/I]ボタンを切ったり、電源コードを抜かないでください。

オンスクリーン表示

ステータス表示

本機の設定状態や動作状況（停止中や再生などのステータス）が画面に表示されます。
リモコンの[画面表示]ボタンを押すとステータスが表示されます。表示を消す場合は、もう一度[画面表示]ボタンを押してください。
ステータスを表示するかどうかは設定メニューで設定できます。
詳しくは"オンスクリーン" (☞84 ページ) を参照してください。

メモ:
- ステータス表示するには“画面設定”の“オンスクリーン”項目を“オート”に設定します。
- “画面設定”の“オンスクリーン” 項目を“切”に設定すると、ステータス情報は表示されません。
- 再生中、ダビング中および編集中以外のときに、リモコンの[OPTION]ボタンを押しても、スタータスを表示できます。
  ① **リモコンの[オプション]ボタンを押す**
  ② **“画面表示”を選択し、リモコンの[OK]ボタンを押す**

イベント表示

誤操作を行なったときは、イベント表示を表示窓やモニターにオンスクリーン表示します。
イベント表示は、約 3 秒間表示します。

メモ:
- 同じ内容のイベント表示が複数回表示される場合があります。

アラーム表示

本機が動作を受け付けなかったときは、アラーム表示を本体の表示窓およびモニターにオンスクリーン表示します。

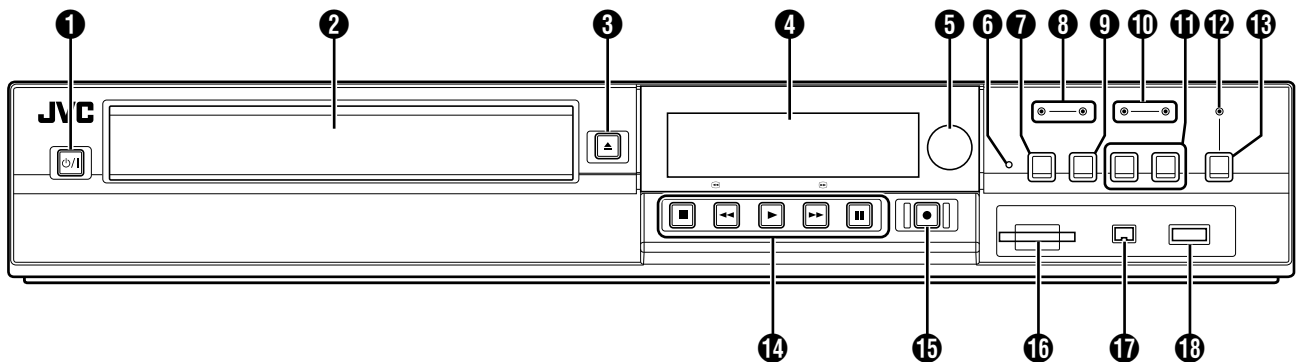
SDI タイムコード表示

SDI 入力信号を記録時、タイムコードが表示されます。
タイムコードを表示するかどうか、および表示場所は設定メニューで設定できます。
詳しくは、“SDI 接続設定”の“タイムコード入力設定”および“タイムコード表示位置設定”を参照してください。

メモ:
- “SDI 接続設定”の“タイムコード入力設定”項目を“切”に設定するとタイムコードは表示されません。

各部の名称とはたらき

フロントパネル

❶ [⏻/I]ボタン
電源を入／切します。

❷ ディスクトレイ

❸ [⏏]ボタン
ディスクトレイを開/閉します。

❹ 表示窓部

❺ リモコン受光部

❻ [RESET]
([リセット])スイッチ
リセットします。

❼ [REC MODE]
([録画モード])ボタン
録画モードを切り換えます。

❽ [HDD]ランプ
HDD モード時に点灯します。
録画中/取り込み中は[REC]ランプが点灯します。

❾ [INPUT SELECT]
([入力切換])ボタン
外部入力信号(SDI, HDV/DV, L-1)を切り換えます。

❿ [BD]ランプ
BD/DVD モード時に点灯します。
録画中/ダビング中は[REC]ランプが点灯します。

⓫ [MEDIA SELECT]
([メディア切換])ボタン
HDD と BD/SD を切り換えます。

⓬ [DIRECT/MONITOR]ランプ
MONITOR OUT 時に点灯します。

⓭ [DIRECT/MONITOR]切換ボタン
背面 SDI 出力端子の出力を、“MONITOR OUT”または“DIRECT OUT”に切り換えます。

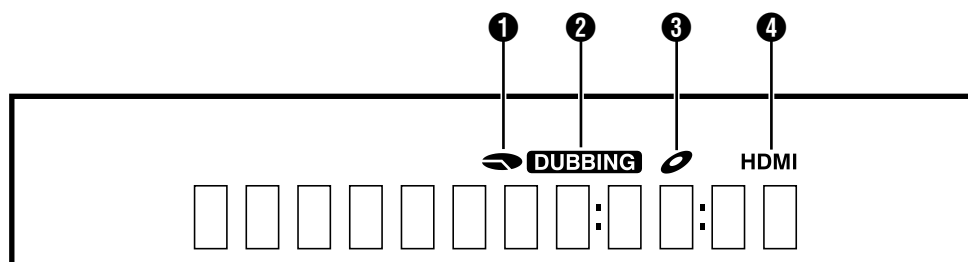
⓮ 再生操作ボタン
- [▶]ボタン
再生します。
- [■]ボタン
再生および録画を停止します。
- [◀◀]ボタン
早戻しします。
- [▶▶]ボタン
早送りします。
- [❚❚]ボタン
一時停止します。

⓯ [●]ボタン
タイトルの録画を開始します。

⓰ [SD]スロット
SD カードを挿入します。

⓱ [i.LINK(HDV/DV IN)] 端子
ビデオカメラを i.LINK(HDV/DV IN)で接続します。

⓲ [USB] 端子
ビデオカメラを USB で接続します。

表示窓

❶ HDD/DISC 残量表示

❷ ダビング表示

❸ ディスク有無表示

❹ HDMI 出力表示

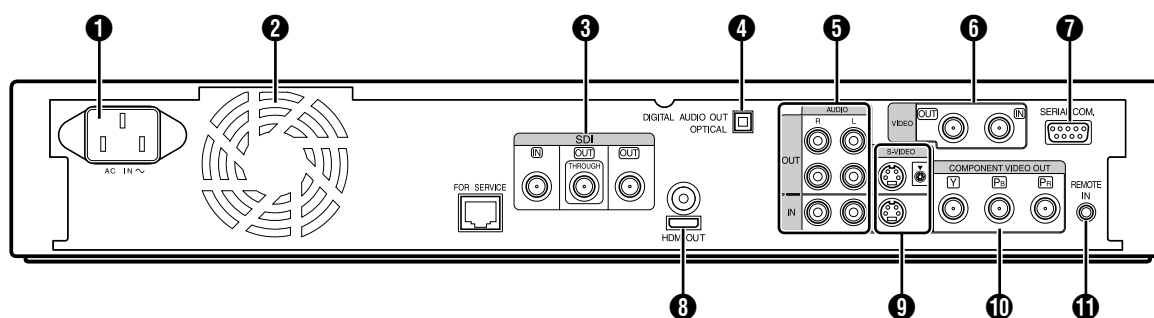
メモ:
- 表示窓の明るさは、設定できます。

詳しくは"本体表示の明るさ" (☞79 ページ) を参照してください。

いくつかの操作では、英語のメッセージを表示します。
(例)

HELLO	:	電源プラグを差し込んだとき
READING	:	ディスクを読み込んでいるとき
ONSCREEN	:	再生ナビ画面に移動したとき

リアパネル

❶ 電源端子
電源を接続します。

❷ 冷却ファン

❸ [SDI IN/OUT THROUGH/OUT]端子
BNC コードで接続します。

❹ [DIGITAL AUDIO OUT (OPTICAL)] ([デジタル音声出力(光)])端子
光オーディオケーブルでアンプと接続します。

❺ [AUDIO OUT/IN] ([音声出力/入力])端子
音声コードで接続します。

❻ [VIDEO OUT/IN] ([映像出力/入力])端子
映像コードで接続します。

❼ [SERIAL COM.(RS-232C)] 端子
シリアルケーブルでパソコンと接続します。

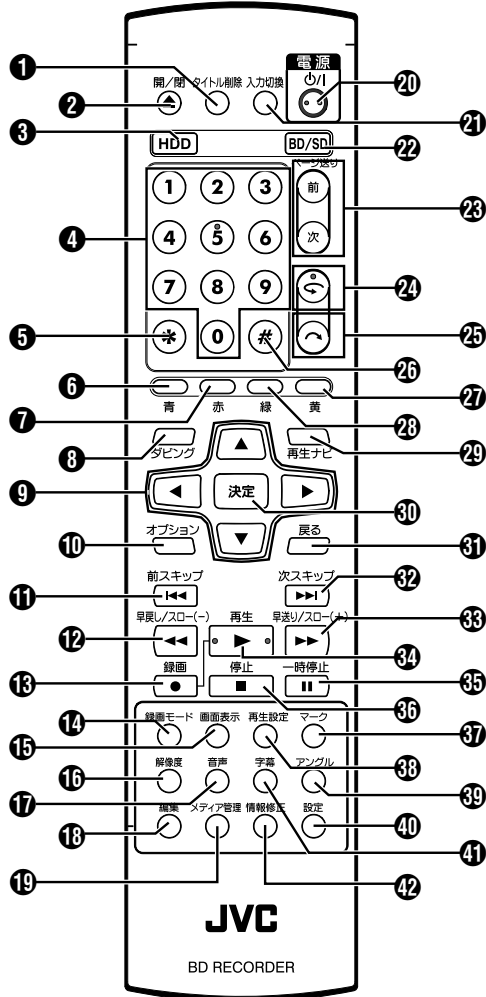
❽ [HDMI]端子
HDMI ケーブルで接続します。

❾ [S-VIDEO OUT/IN] ([S 映像出力/入力])端子
S 映像コードで接続します。

❿ [COMPONENT VIDEO OUT] ([コンポーネント映像出力])端子
コンポーネント映像ケーブルで接続します。

⓫ [REMOTE IN] ([リモート入力])端子
ワイヤードリモコンを接続します。

各部の名称とはたらき (つづき)

リモコン

❶ [タイトル削除]
タイトルや文字を削除します。

❷ [⏏]
ディスクトレイを開/閉します。

❸ [HDD]
HDD を操作します。

❹ [1]-[9]
文字入力するときに使用します。

❺ [✱]
文字入力するときに使用します。

❻ [青]
カラーボタン(青)が表示されているときに使用します。

❼ [赤]
カラーボタン(赤)が表示されているときに使用します。

❽ [ダビング]
ダビングメニュー画面を表示します。

❾ [▲ / ▼ / ◀ / ▶]
カーソルを動かして項目を選択します。

❿ [オプション]
オプション画面を表示します。

⓫ [⏮]
1 つ前のチャプターに移動します。

⓬ [◀◀]
映像の早戻し、スロー再生をします。

⓭ [●]
[●]ボタンと[▶]ボタンを同時に押すと録画を開始します。

⓮ [録画モード]
録画モードの設定と残量時間を確認します。

⓯ [画面表示]
画面に情報を表示します。

⓰ [解像度]
映像出力の解像度を切り換えます。

⓱ [音声]
再生中の音声を切り換えます。

⓲ [編集]
編集メニュー画面を表示します。

⓳ [メディア管理]
メディア管理メニュー画面を表示します。

⓴ [⏻/I]
電源を入/切します。

㉑ [入力切換]
外部入力信号(SDI, HDV/DV, L-1)を切り換えます。

㉒ [BD/SD]
BD/DVD または SD を操作します。

㉓ [ページ送り 前][ページ送り 次]
前のページに戻ります。または、次のページに進みます。

㉔ [↶]
再生位置を少し前に戻します。

㉕ [↷]
再生位置を少し先に進めます。

㉖ [#]
文字入力および、MONITOR OUT/DIRECT OUT の切り換えに使用します。

メモ:
- 文字入力時は、MONITOR OUT/DIRECT OUT の切り換えは行えません。

㉗ [黄]
カラーボタン(黄)が表示されているときに使用します。

㉘ [緑]
カラーボタン(緑)が表示されているときに使用します。

㉙ [再生ナビ]
再生ナビゲーション画面を表示します。

㉚ [決定]
決定します。

㉛ [戻る]
決定をしないで前の画面に戻ります。

㉜ [►►I]
次のチャプターに移動します。

㉝ [►►]
映像の早送り、スロー再生をします。

㉞ [►]
映像を再生します。

㉟ [II]
再生中の映像を一時停止します。

㊱ [■]
再生/録画を停止します。

㊲ [マーク]
再生中や録画中にチャプターマークを追加します。再生ナビ画面などで複数のタイトルを選択します。

㊳ [再生設定]
再生設定画面を表示します。

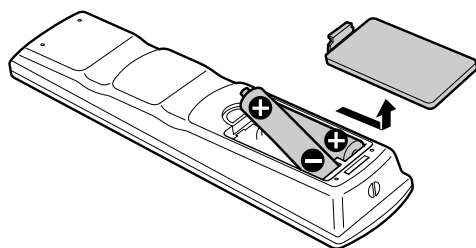
㊴ [アングル]
再生中のカメラアングルを切り換えます。

㊵ [設定]
設定メニュー画面を表示します。

㊶ [字幕]
再生中の字幕を切り換えます。

㊷ [情報修正]
情報修正メニュー画面を表示します。

リモコンの乾電池を交換する

- リモコンの操作できる距離が短くなってきたら、電池が消耗しています。
  このようなときは、新しい乾電池に交換してください。

乾電池について

- +と-の向きを表示通り正しく入れてください。
  乾電池を入れるときは、-側から入れてください。
- リモコン使用中に不具合が生じたときは、一度乾電池を取り出し、5 分ぐらいたってからもう一度乾電池を入れて操作してください。

電池寿命 ： 約 6 ヶ月(使用頻度により変わります)

リモコンコードについて

本体とリモコンにそれぞれリモコンコードを設定することによって、本機のリモコンを操作するときに 2 台のレコーダーが同時に動かないようにすることができます。
(お買上げ時の設定は、本体、リモコンとも“リモコン 3” になっています。)

メモ:
- 本体のリモコンコードを変更する前に、リモコンのリモコンコードを変更すると、本体の操作ができなくなります。リモコンコードを変更する場合は、本体のリモコンコードを先に変更してください。

■ 本体のリモコンコードを変更する

1 リモコンの[設定]ボタンを押して“設置設定”を表示する

2 “設置設定”で“リモコンコード”の項目を変更する

メモ:
- 詳しくは"リモコンコード" (☞79 ページ) を参照してください。

■ リモコンのリモコンコードを変更する

1 リモコンの[オプション]ボタンを押したままにする

2 [1], [2], [3]または[4]のいずれかのボタンを押す
- 変更したいリモコンコードと同じ数字ボタンを押してください。

3 [決定]ボタンを押す
- [決定]ボタンを押すと、リモコンコードを変更します。

4 リモコン[オプション]ボタンを離す

メモ:
- 本体とリモコンコードが異なる場合は、表示窓に本体のリモコンコードが表示されます。

例 ： REMOTE CONTROL 3

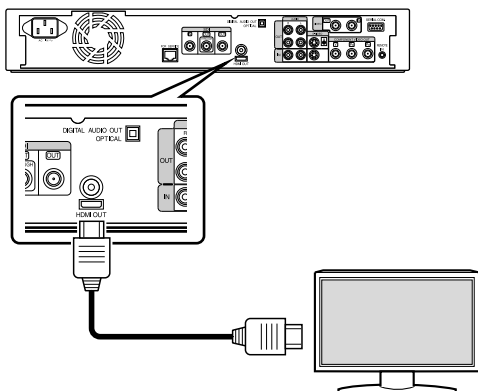
モニターを接続する

本機からの映像を表示するために、本機にモニターを接続します。

- 本機は"HDMI ケーブル"、"コンポーネント映像ケーブル"、"S 映像コード"または"映像コード"の接続ケーブルに対応しています。

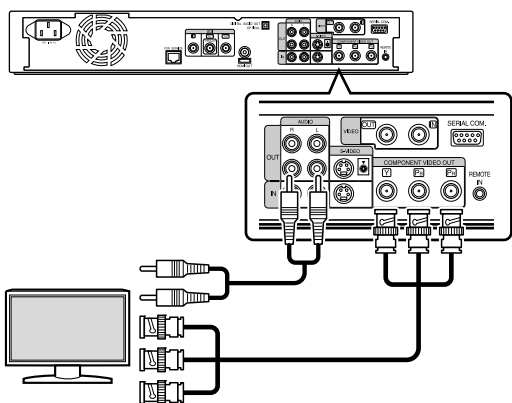
メモ:
- ご使用の接続ケーブルに合わせて、モニターの入力を切り換えてください。
  詳しくはモニターの取扱説明書をお読みください。

HDMI ケーブルで接続する

別売の HDMI ケーブルでつなぐと、デジタル信号のまま鮮明な映像を再生できます。

メモ:
- 著作権保護システム（HDCP）に対応してないモニターには映像が表示されません。
- ハイスピード HDMI ケーブルをご使用ください。
- HDMI ケーブルで接続したあとに、“HDMI 接続” を設定してください。

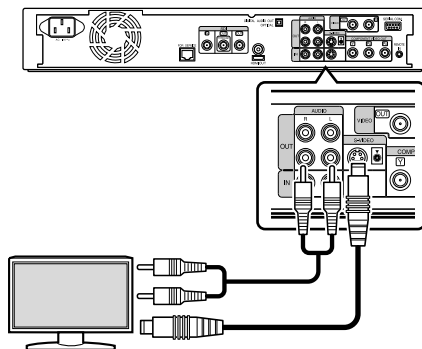
詳しくは"映像優先モード" (☞84 ページ) を参照してください。

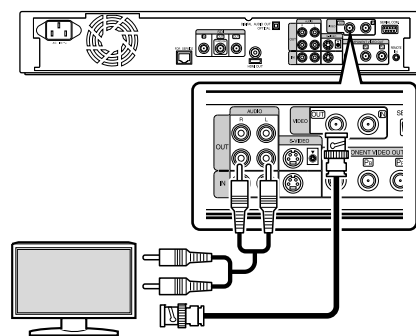
コンポーネント映像ケーブルで接続する

別売のコンポーネント映像ケーブルでつなぐと、S 映像コードでつないだときよりも、よりきれいな映像を再生できます。

メモ:
- コンポーネント映像ケーブルで接続したあとに、“SDI/コンポーネント出力解像度” を設定してください。
- コンポーネント映像出力端子からの出力は、著作権が保護されている映像の場合“480i” に制限されます。

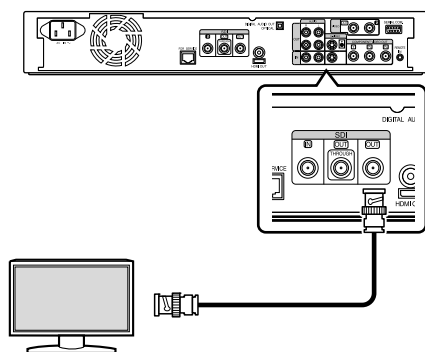
詳しくは"SDI/コンポーネント出力解像度" (☞86 ページ) を参照してください。

S 映像コードで接続する

別売の S 映像コードでつなぐと、映像コードでつないだときよりもきれいな映像で見ることができます。

映像コードで接続する

本機の出力端子とモニターの入力端子を付属の映像/音声コードでつなぎます。
(付属の BNC 変換アダプタを使用)

ご注意:
- 本機の S 映像出力/映像出力は、直接モニターに接続してください。ビデオデッキを経由して接続すると、コピー防止機能の働きにより再生中に映像が乱れる場合があります。

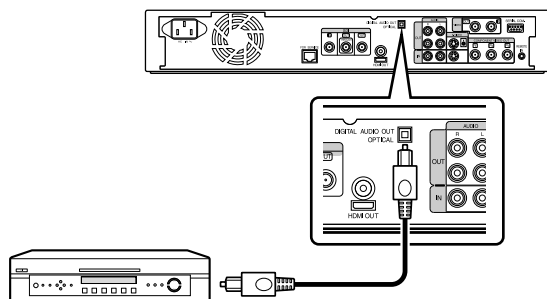
SDI ケーブル(BNC)で接続する

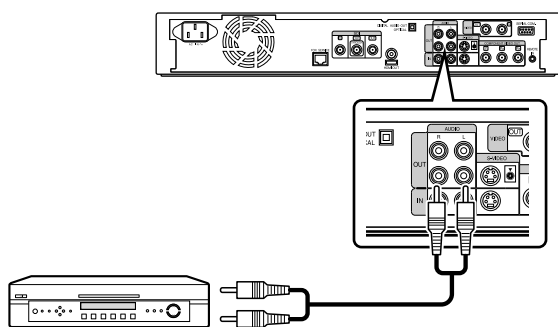
別売の SDI ケーブルでつなぎます。デジタル信号の映像と音声を同軸ケーブル 1 本で伝送できます。

メモ:
- SDI 出力端子は MONITOR OUT/DIRECT OUT の切り換えができる SDI 出力端子とスルー専用 SDI スルー端子の 2 出力があります。
- SDI 出力端子からは、著作権が保護されている映像は出力されません。

詳しくは"SDI 接続設定" (☞86 ページ) を参照してください。

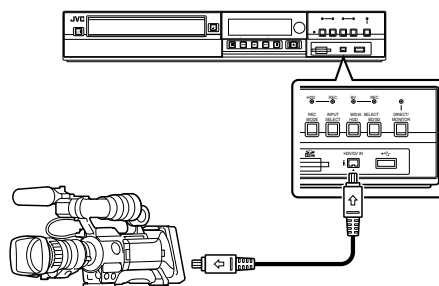
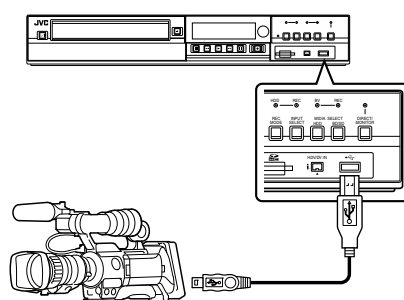
アンプを接続する

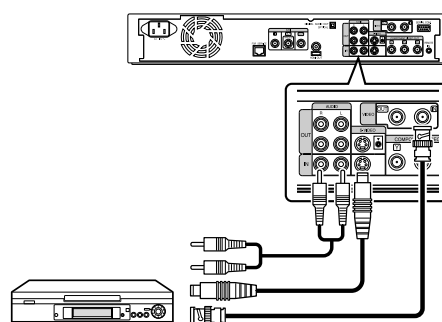
オーディオアンプを接続する

■ 光デジタルケーブルで接続する

メモ:
- ケーブルの保護キャップは、取りはずして接続してください。また、取りはずした保護キャップは無くさないように保管してください。

■ 音声コードで接続する

ビデオデッキなどを接続する

ビデオカメラを接続する

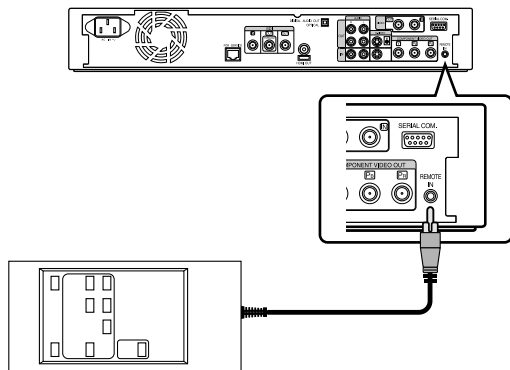
■ i.LINK 端子で接続する

■ USB 端子で接続する

メモ:
- ビデオカメラによっては、バッテリではなく AC アダプタで動作させる必要がある機種もあります。詳しくはビデオカメラの取扱説明書をご確認ください。

ビデオデッキなどを接続する(本機で録画)

メモ:
- S 映像コードで接続するときは、“映像入力設定” を “S 映像” に設定してください。

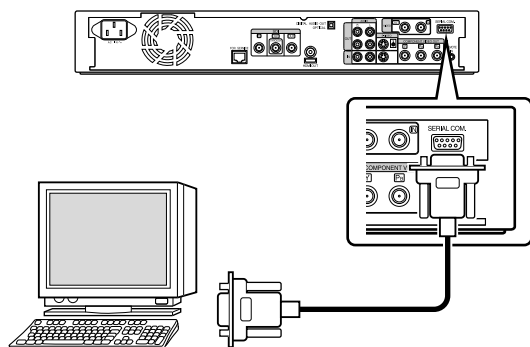
詳しくは"映像入力設定" (☞86 ページ) を参照してください。

- 本機で再生する映像を外部機器(ビデオデッキなど)に録画する場合は、本機の出力端子と外部機器の入力端子に接続してください。

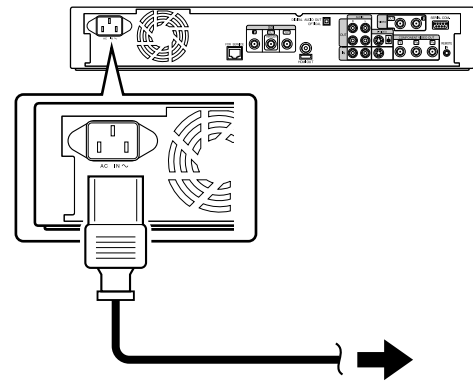
外部操作機器を接続する

ワイヤードリモコンを接続する

有線で接続することにより、安定した外部操作ができます。本体のリモコンコード設定が 1〜4 のどのコードに設定されていても、ワイヤードリモコンで操作できます。

メモ:
- 対応可能なワイヤードリモコンは、現在のところ販売されていません。
- ワイヤードリモコンを作成する場合は、"RS-232C インターフェイス" (☞89 ページ) を参照してください。

RS-232C ケーブルで接続する

RS-232C ケーブルで PC などと接続することにより、外部操作ができます。
外部操作について詳しくは、"RS-232C インターフェイス" (☞89 ページ) を参照してください。

電源を接続する

付属の電源コードを本機に接続します。

1 **付属の電源コードを本機背面の電源端子に接続する**

2 **電源コードを電源コンセントに接続する**

3 **本体またはリモコンの[⏻/I] ボタンを押して"ON"にする**

- 本機に電源が投入され、表示窓に"HELLO"と表示されます。

ご注意:
- 本機に付属された電源コード以外は、使用しないでください。故障の原因になります。

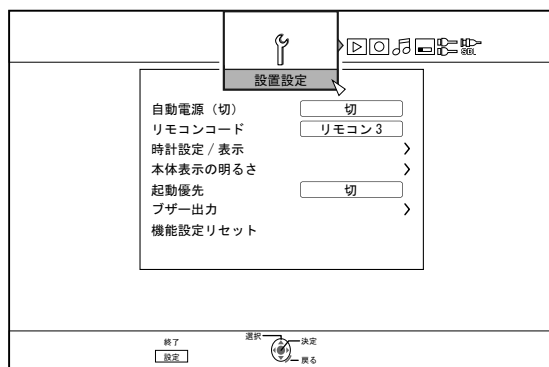
日付･時刻を設定および表示する

内蔵時計の日付･時刻を設定します。ディスクには、ディスクに記録した時の日付･時刻が記録されます。

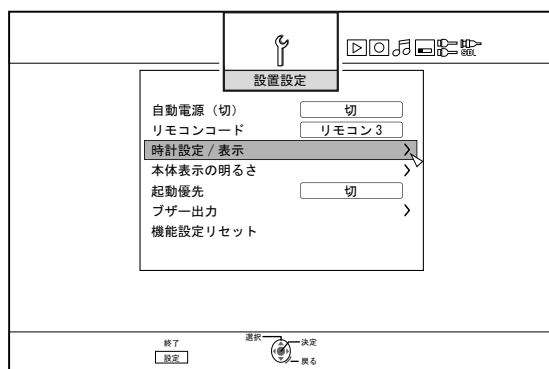
日付･時刻を設定する

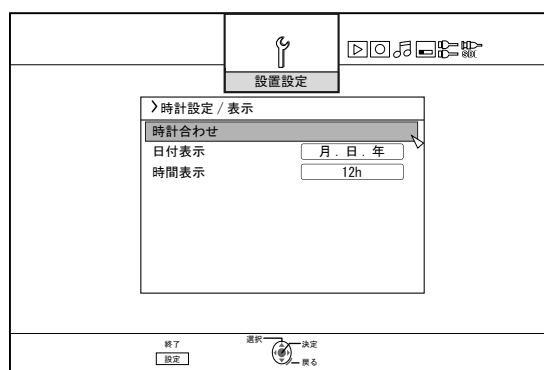
内蔵時計の日付･時刻を設定します。

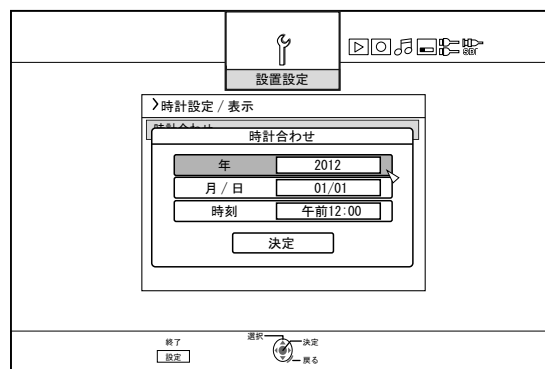
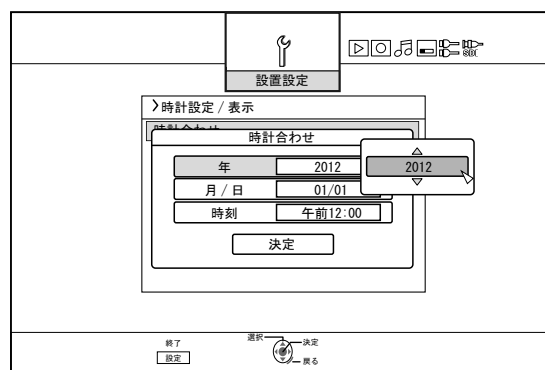
1 リモコンの[設定]ボタンを押す

- 設定のメニュー画面が表示されます。

2 “設置設定” を選び、[決定]ボタンを押す

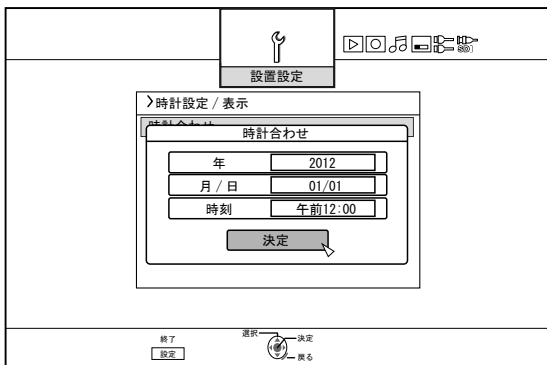
3 “時計設定/表示” を選び、[決定]ボタンを押す

- “時計設定/表示” のメニュー画面が表示されます。

4 “時計合わせ” を選び、[決定]ボタンを押す

- 時計合わせのメニュー画面が表示されます。

5 時刻･日付を設定する

- 以下の手順を繰り返して、時刻･日付を設定します。
  ① [▲]または[▼]ボタンを押して、時計合わせの項目を選び[決定]ボタンを押す。

  ② [▲]または[▼]ボタンを押して、設定値を変更して[決定]ボタンを押す。

日付･時刻を設定および表示する (つづき)

6 **すべての設定が終了した後に、“決定”を選び[決定]ボタンを押す**

- 日付･時刻の設定を終了して、元の画面に戻ります。

メモ:

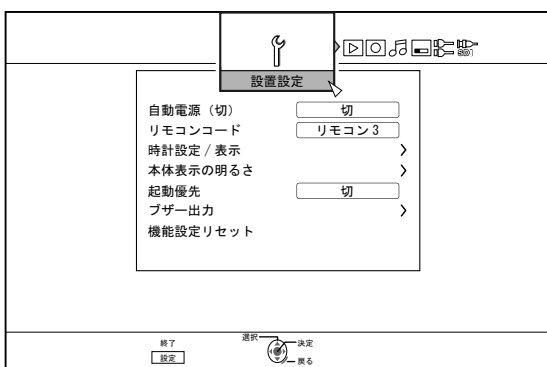
- 時刻の秒は設定できません。分を設定後、時報に合わせて[設定]ボタンを押してください。
- 日付･時刻を設定を中止したい場合は、[戻る]ボタンを押すと、日付･時刻を設定を中止して元の画面に戻ります。
- 年の設定できる範囲は、2012 年から 2037 年です。"2037.12.31 午後 11:59"と設定した場合は、1 分後に"2012.1.1 午前 0:00"となります。

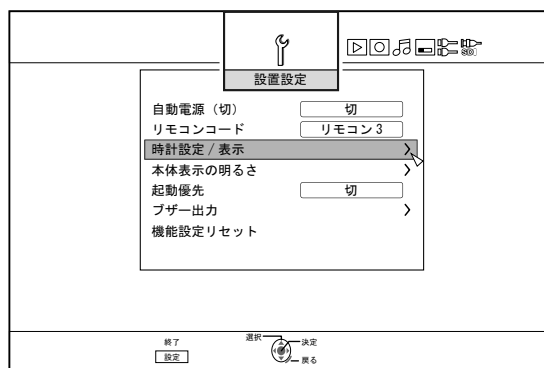
日付表示スタイルを変更する

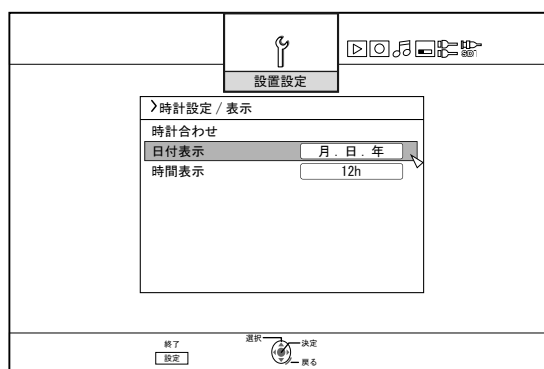
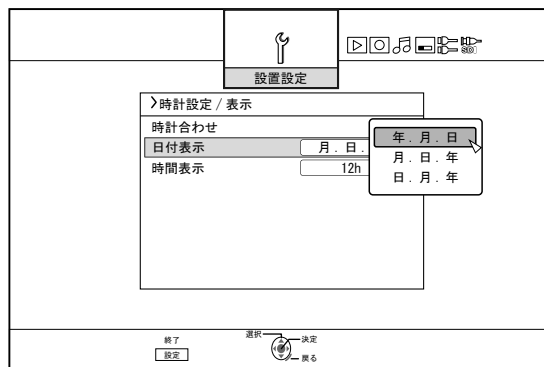
日付の表示スタイルを設定できます。

1 **リモコンの[設定]ボタンを押す**

2 **“設置設定”を選び、[決定]ボタンを押す**

- 設定のメニュー画面が表示されます。

3 **“時計設定/表示”を選び、[決定]ボタンを押す**

- 時計設定/表示のメニュー画面が表示されます。

4 **“日付表示”を選び、[決定]ボタンを押す**

- 日付表示のメニュー画面が表示されます。

5 **日付表示スタイルを選択する。**

- 以下の項目から、日付表示スタイル選択します。

年.月.日　：年/月/日の順に表示します。
月.日.年　：月/日/年の順に表示します。
日.月.年　：日/月/年の順に表示します。

6 **選択した後に、[決定]ボタンを押す**

- 日付表示スタイルの設定を保存します。

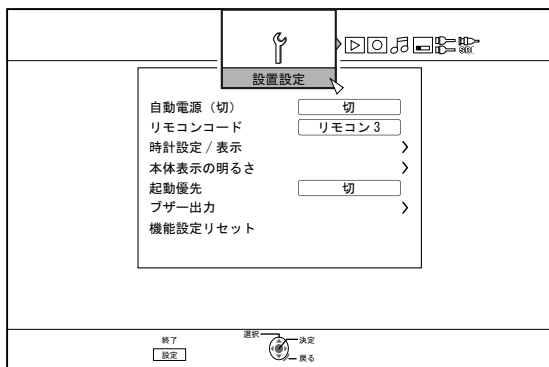
メモ:
日付表示スタイルは下記の情報表示で適用されます。
- 再生ナビで表示されるタイトルの録画日時(タイトル未入力時にはタイトル名の代わりに録画日時が表示されます。)
- タイトル詳細表示画面で表示される日付

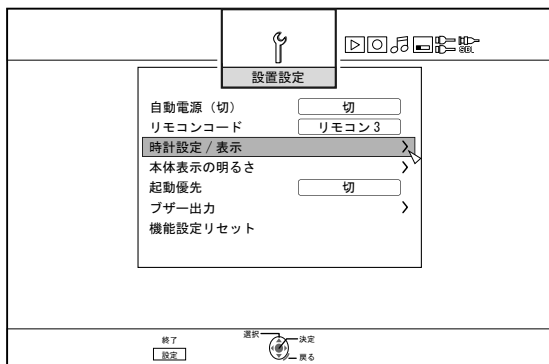
時間表示スタイルを変更する

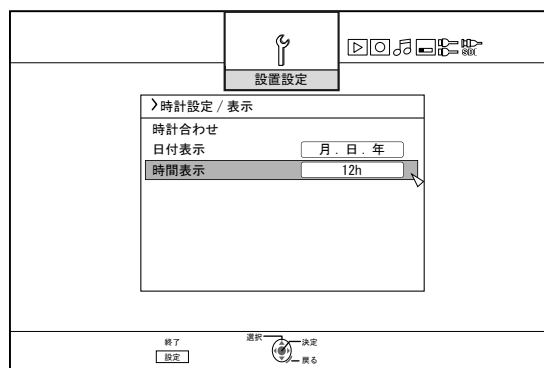
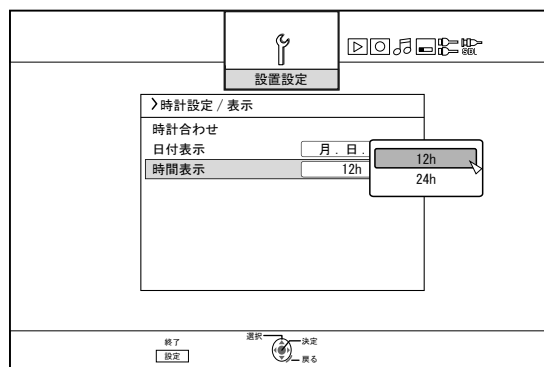
時間の表示スタイルを設定できます。

1 リモコンの[設定]ボタンを押す

2 “設置設定”を選び、[決定]ボタンを押す

- 設定のメニュー画面が表示されます。

3 “時計設定/表示”を選び、[決定]ボタンを押す

- 時計設定/表示のメニュー画面が表示されます。

4 “時間表示”を選び、[決定]ボタンを押す

- 時計表示のメニュー画面が表示されます。

5 時間表示スタイルを選択する

“12h”または“24h”を選択します。

12h： 午前/午後表示で表示します。

24h： 24 時間表示で表示します。

6 選択した後に、[決定]ボタンを押す

- 時間表示スタイルの設定を保存します。

メモ:
- 時間表示スタイルは、下記の情報表示で適用されます。
  - 現在の時刻
  - ディスクに記録された日付･時刻
  - 再生ナビで表示されるタイトルの録画日時(タイトル未入力時にはタイトル名の代わりに録画日時が表示されます。)
  - タイトル詳細表示画面で表示される録画時刻

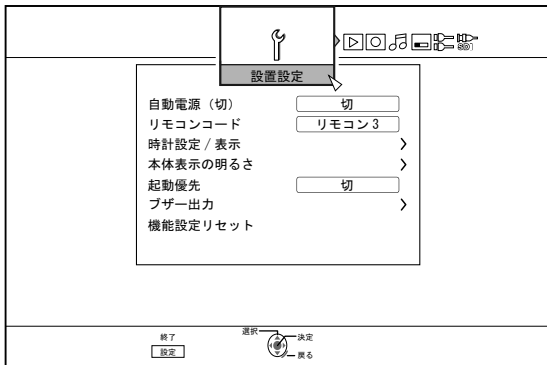
タイムコードの設定をする

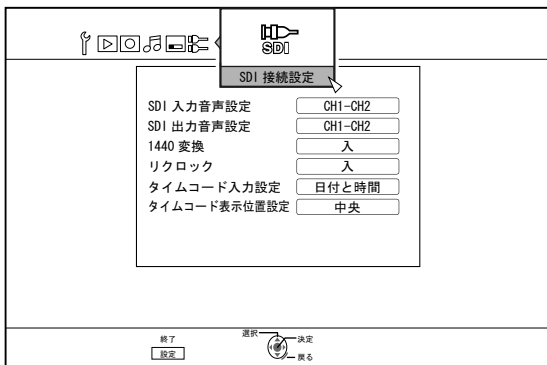
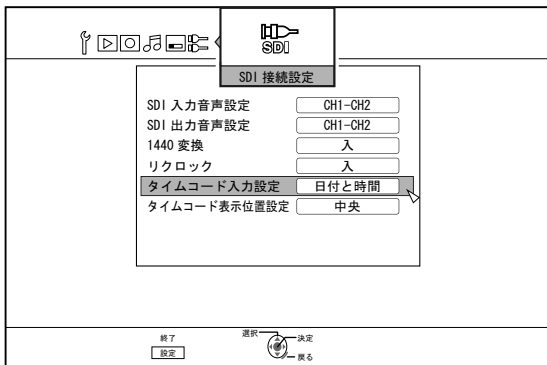
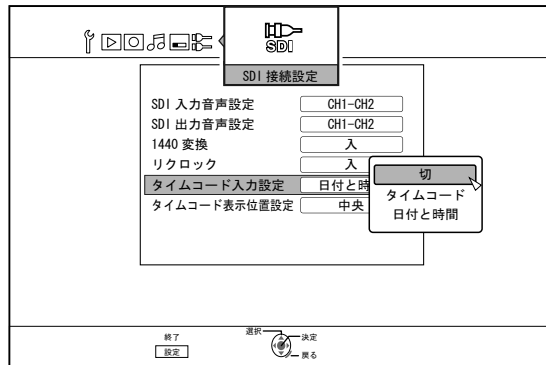
本機で SDI 入力信号を記録時に、タイムコードを付加することができます。

メモ:
- タイムコードを付加して記録した場合は、タイムコードが映像と一緒に記録されます。その場合、記録した動画はタイムコードを非表示にすることができません。

タイムコード入力設定をする

1 リモコンの[設定]ボタンを押す

- 設定のメニュー画面が表示されます。

2 [▶]ボタンを押して、“SDI 接続設定” を選ぶ

“SDI 接続設定” 画面が表示されます。

3 [▲]または[▼]ボタンを押して、“タイムコード入力設定” を選び、[OK]ボタンを押す

4 “タイムコード” または “日付と時間” を選ぶ

タイムコード　：　SDI 機器から多重入力されるタイムコードがある場合、その情報を SDI 入力映像に重ねて表示します。

日付と時間　：　本機の現在の日付・時刻情報を SDI 入力映像に重ねて表示します。

メモ:
- タイムコードを表示したくない場合は、“消灯” を選んでください。

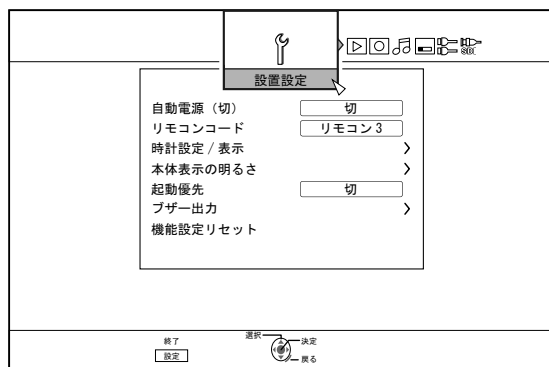
5 選択したあとに[OK]ボタンを押す

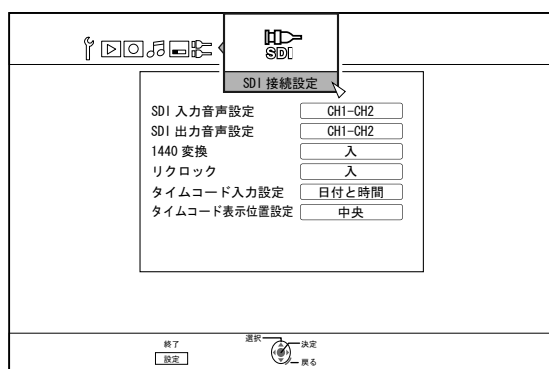
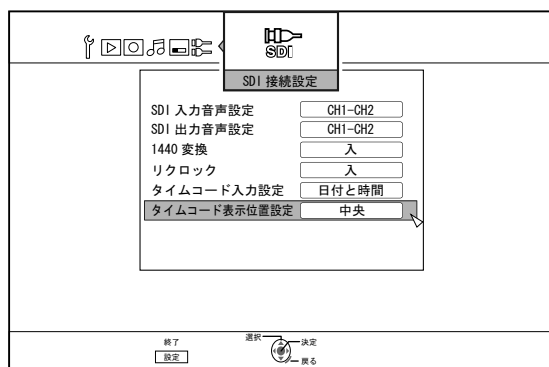
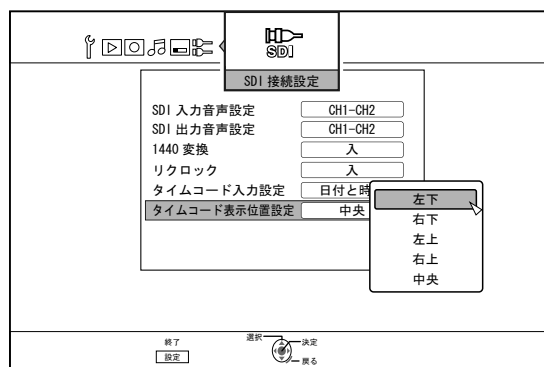
タイムコードの設定が保存されます。

メモ:
- 設定が完了し、SDI 信号に多重入力されたタイムコードが検出されると、“タイムコード” に設定した場合はタイムコード(TC**:**:**:**)が表示されます。
  “日付と時間” に設定した場合は、本機の現在の日付・時刻情報が表示されます。
  例　:　2012.JAN.01 12:34:56
- “タイムコード表示位置設定” の設定について、詳しくは "“タイムコード表示位置設定” を設定する" (☞23 ページ) をご覧ください。

“タイムコード表示位置設定” を設定する

1 リモコンの[設定]ボタンを押す

- 設定のメニュー画面が表示されます。

2 [▶]ボタンを押して、“SDI 接続設定” を選ぶ

“SDI 接続設定” 画面が表示されます。

3 [▲]または[▼]ボタンを押して、“タイムコード表示位置設定” を選び、[OK]ボタンを押す

4 [▲]または[▼]ボタンを押して、表示位置を選ぶ

左下 ： タイムコードの表示位置を左下に設定します。
右下 ： タイムコードの表示位置を右下に設定します。
左上 ： タイムコードの表示位置を左上に設定します。
左上 ： タイムコードの表示位置を右上に設定します。
中央 ： タイムコードの表示位置を中央に設定します。

5 選択したあとに[OK]ボタンを押す

タイムコードの表示位置が保存されます。

メモ:

- 設定が完了しても、SDI 信号に多重入力されたタイムコードが検出されない場合は、“TC--:--:--:--” と表示されます。
- “日付と時間” を選択し、設定が完了しても、日付設定をしていない場合は、“--:--:--:--” と表示されます。
- [SDI OUT THROUGH]端子に接続したモニターの場合、タイムコードは表示されません。

ダビング/取り込みについて

本機 1 台で HDD、BD/DVD 間での双方向ダビングができます。また、ビデオカメラを iLINK 接続や USB 接続することで、HDD に取り込みできます。

HDD(ハードディスク)から BD/DVD へのダビング

■ 高速ダビング

ダビング時間を大幅に短縮したいときに選びます。BD/DVD のディスクは、高速記録に対応したディスクをお使いください。

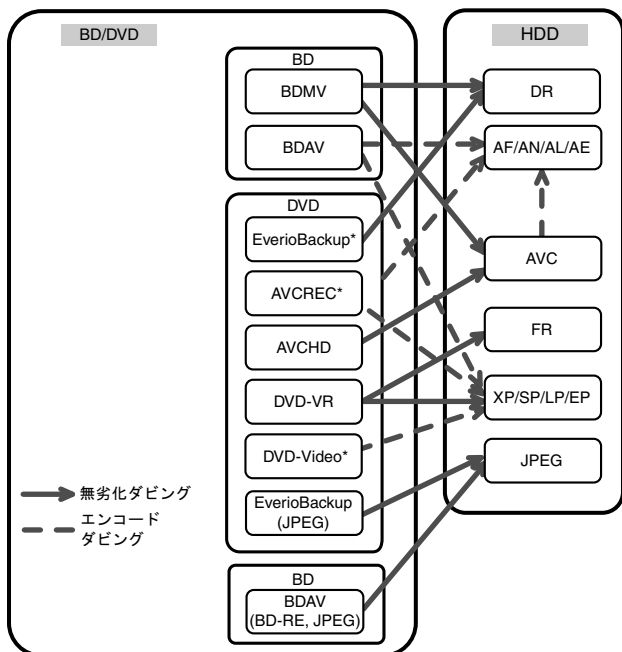
■ 録画モード指定ダビング

録画モードを設定したいときに選びます。"画質を優先したい"、"たくさんのタイトルを保存したい"ときは、お好みの録画モードを選んでダビングができます。
詳しくは"録画モードについて" (☞29 ページ) を参照してください。

メモ:
- 元の録画モードより高画質の録画モード選択しても画質は向上しません。
- 録画モード指定ダビングは再エンコードされます。

その他いろいろな HDD への取り込み

■ BD/DVD から HDD に取り込み

BD/DVD からタイトルを取り込みできます。

DVD-video*：未ファイナライズの“DVD-Video”および
AVCREC*　“AVCREC”は取り込めません。

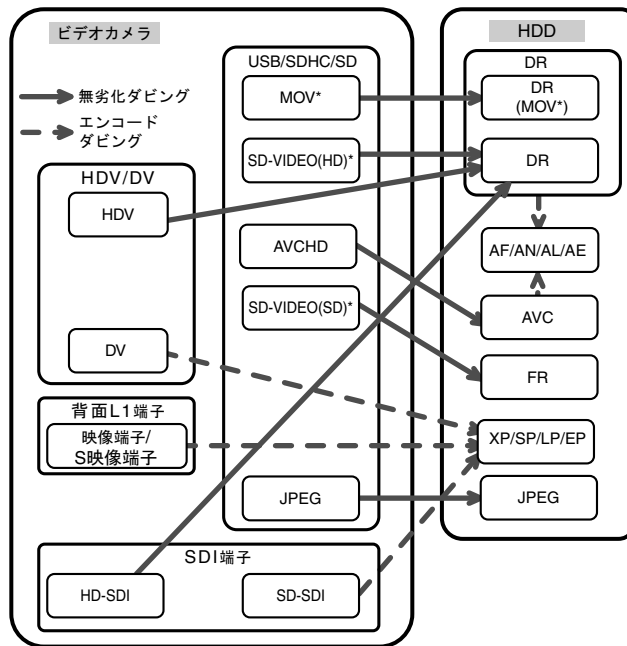
Everio Backup*：Everio 用 DVD ライターで、ハイビジョン映像を MPEG2 方式で記録したデータディスク

■ SDHC/SD から HDD に取り込み

ビデオカメラで撮影し記録された SDHC/SD から、HDD に取り込みできます。

■ ビデオカメラから HDD に取り込み

ビデオカメラで撮影した映像を、HDD に取り込みできます。
ビデオカメラの接続は、iLINK 接続と USB 接続の両方に対応しています。

メモ:
- MOV フォーマットの動画は、JVC ProHD カムコーダー GY-HM750/150 で撮影した MOV 形式(SP および HQ モード)で撮影した映像にのみ対応します。他社製の機器で撮影した動画の取り込みは、保証いたしかねます。

MOV*：JVC ProHD カムコーダー GY-HM750/150 で撮影した MOV 形式(SP モードおよび HQ モード)

SD-VIDEO(HD)*：SD-VIDEO(JVC Everio MPEG2 TS)

SD-VIDEO(SD)*：SD-VIDEO(JVC Everio MPEG2 PS)

■ ビデオデッキから取り込み

外部デッキとコンポジットもしくは S 端子入力接続して、HDD に取り込みできます。
詳しくは"外部入力からの録画について" (☞49 ページ) を参照してください。

メモ:
- コピー制限のかかった映像は取り込めません。
- モーション JPEG には対応していません。

デジタル放送のダビングについて

デジタル放送の録画について
本機では、放送の録画を目的としておりません。著作権保護のため、アナログ外部入力から DVD-RW(VR モード/CPRM 対応)への直接録画は可能ですが、HDD や他のディスクへの録画は出来ません。

ダビング対応表

■ HDD から動画をダビングする

ダビング画質 ＼ コンテンツ画質		フォーマット(BD)			フォーマット(DVD)		
		BDMV (HD 画質)	BDAV (HD 画質)	BDAV (SD 画質)	DVD-VR	DVD-VIDEO	AVCREC
録画モード (HDD)	DR(MOV*)	高速ダビング	高速ダビング/再エンコード	再エンコード	再エンコード	再エンコード	再エンコード
	DR(その他)	-	高速ダビング/再エンコード	再エンコード	再エンコード	再エンコード	再エンコード
	AF/AN/AL/AE	高速ダビング	高速ダビング/再エンコード	再エンコード	再エンコード	再エンコード	高速ダビング/再エンコード
	AVC	高速ダビング	高速ダビング/再エンコード	再エンコード	再エンコード	再エンコード	高速ダビング/再エンコード
	FR	-	-	再エンコード	高速ダビング/再エンコード	再エンコード	-
	XP/SP/LP/EP*	-	-	再エンコード	高速ダビング/再エンコード	高速ダビング/再エンコード	-

メモ:

EP* ： EP モードタイトルの DVD-VIDEO フォーマットディスクへの高速ダビングについて
EP モードのタイトルを DVD-VIDEO フォーマットディスクへ高速ダビングするには、「設定メニュー」の"高速ダビング" (☞81 ページ) 項目を"4:3" に設定してから、録画・取り込みを行なってください。"4:3" 設定以外で録画・取り込まれたタイトルをダビングする場合は、再エンコードダビングのみとなります。

MOV* ： JVC ProHD カムコーダー GY-HM750/150 で撮影した MOV 形式（SP モードおよび HQ モード）

■ HDD から静止画をダビングする

ファイルの取り込み (HDD)	メディア	
	BDAV（BD-RE）	SDHC/SD
JPEG	○	○

メモ:

- モニター(TV)と本機が HDMI ケーブルで接続されており、画面解像度が 1080p 設定されている場合に、再エンコードダビングを行うと以下のときに画面が乱れる場合があります。
  - メニュー画面からダビングに移行するとき
  - ダビングが完了して通常画面に戻るとき
- この症状は故障ではありません。もし気になるようでしたら画面解像度を 1080p 以外の 1080i などに変更ください。

フォーマット(初期化)する

未使用のディスクや SD カードは、フォーマットが必要な場合があります。
その場合は、フォーマットを実行してください。

メモ:
- フォーマット(初期化)すると、データはすべて消去されます。
  録画したタイトルを消去しないよう十分に確認を行なってから操作してください。
- DVD-R をビデオモードで使用する場合は、フォーマットをする必要がありません。

フォーマット対応表

フォーマットする際のディスクの種類とフォーマット形式については、下記の対応表を参照してください。

ご注意:
- 他社製の機器でフォーマットしたディスクを使用する場合は、下記の対応表で対応していてもディスクが読み取れない場合があります。
  その場合は、本機で再フォーマットするか、別のブランクディスクを使用してください。

メモ:
- ディスク再フォーマット時に別のフォーマット形式に変更した場合は、ディスクを一度取り出して再度読み込ませてください。
- BD-R と DVD-R のフォーマットは、1 回しかできません。
- AVCREC モードでフォーマットしたディスクのオンスクリーン表示は、DVD-R または DVD-RW と表示されます。

■ DVD フォーマット対応表

	フォーマット形式	VR フォーマット	ビデオ フォーマット	AVCREC フォーマット
DVD-RW	片面 1 層 (4.7 GB)	○	○	○
DVD-R	片面 1 層 (4.7 GB)	○	○(*)	○
	片面 2 層 (8.5 GB)	○	○ (*)	○

○: フォーマットに対応しています。
* : フォーマット不要。

■ BD フォーマット対応表

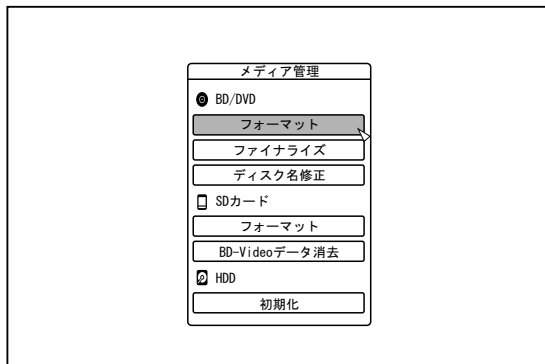
		フォーマット
BD-RE	片面 1 層(25 GB)	○
	片面 2 層(50 GB)	○
BD-R	片面 1 層(25 GB)	○
	片面 2 層(50 GB)	○

○: フォーマットに対応しています。

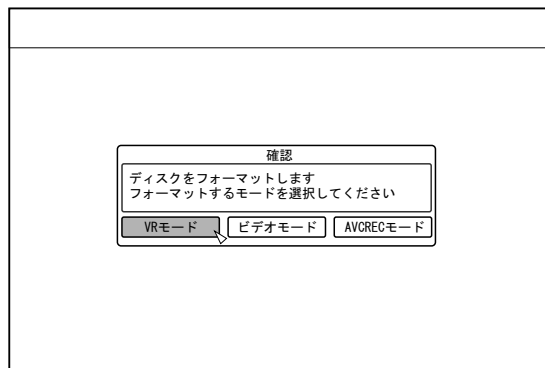
ディスクをフォーマットする

1 **フォーマットする DVD または BD をディスクトレイにセットする**

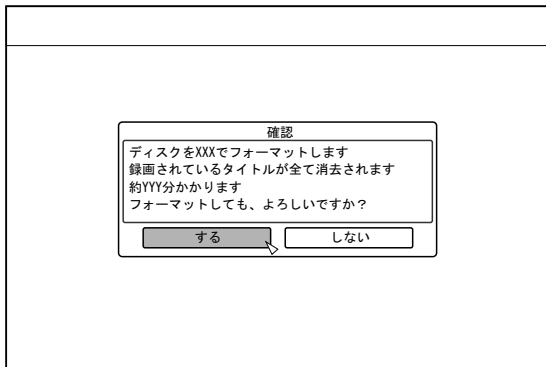
2 **リモコンの[メディア管理]ボタンを押す**

- メディア管理のメニュー画面が表示されます。

3 **"BD/DVD"の"フォーマット"を選ぶ**

DVD : フォーマット選択画面が表示されます。
BD : フォーマット実行の確認画面が表示されます。

4 **フォーマット選択画面で、フォーマット形式を選択する**

DVD-RW : "VR モード"、"ビデオモード"および"AVCREC モード"から"フォーマット形式"を選択します。
DVD-R : "VR モード"または"AVCREC モード"から"フォーマット形式"を選択します。

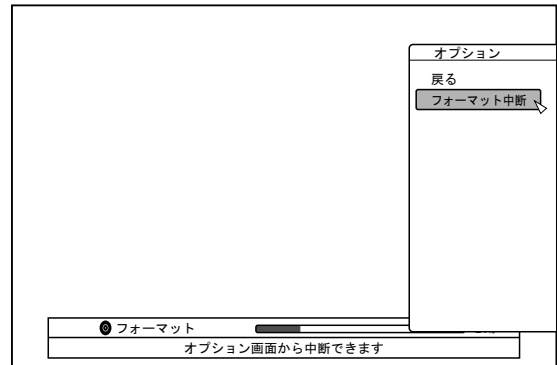
メモ:
- BD ディスクの場合は、この画面が表示されません。

5 **フォーマット確認画面で、“する”を選び、[決定]ボタンを押す**

- フォーマットが実行されます。
- フォーマットが完了した後に、モニターに“フォーマットが完了しました”というメッセージが表示され、通常画面に戻ります。

メモ:
- “フォーマットしない”を選び[決定]ボタンを押すと、フォーマットをしないで元の画面に戻ります。
[戻る]ボタンを押した場合も、フォーマットをしないで元の画面に戻ります。

ご注意:
- “ディスクフォーマット実行中”が表示されているときは、絶対に電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。
- 保護されたタイトルをフォーマットすると、すべてのタイトルが削除されますので注意してください。

■ フォーマットを中止したいときは

1 **フォーマットの実行中に[オプション]ボタンを押す**

2 **“フォーマット中断”を選び[決定]ボタンを押す**
- フォーマット中断の確認画面が表示されます。

3 **フォーマット中断の確認画面で“する”を選び、[決定]ボタンを押す**

- フォーマットを中断して終了します。

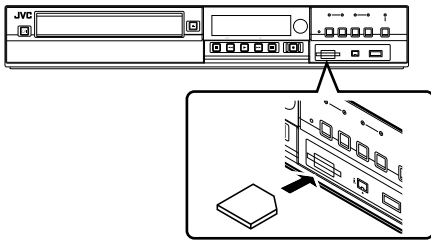
ご注意:
- フォーマットに長く（およそ２分以上）掛かる場合は、フォーマットを中断できます。
- フォーマットが中断できない場合は、[オプション]ボタンを押しても、フォーマット中断の確認画面が表示されません。

フォーマット(初期化)する(つづき)

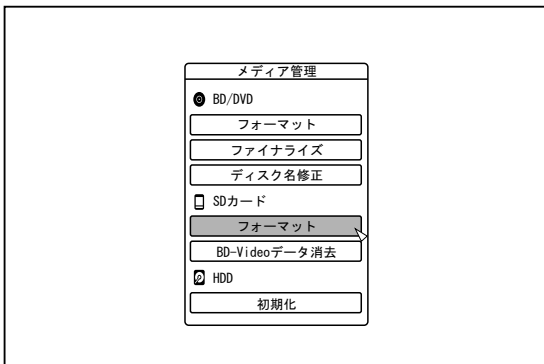
SD カードをフォーマットする

1 **フォーマットする SD カードを[SD]スロットに挿入する**

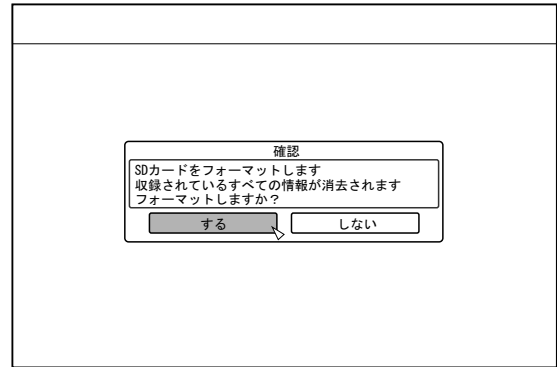
- 端子面を下にして、カチッと音がするまで、まっすぐ差し込んでください。

ご注意:

- SD カードが書込み禁止になってる場合は、フォーマットが実行できません。書込み禁止のロックを解除してから、SD カードを挿入してください。

2 **リモコンの[メディア管理]ボタンを押す**

- メディア管理のメニュー画面が表示されます。

3 **“SD カード”の“フォーマット”を選ぶ**

- フォーマット実行の確認画面が表示されます。

4 **“する”を選び、[決定]ボタンを押す**

- フォーマットが実行されます。
- フォーマットが完了した後に、モニターに“SD カードのフォーマットが完了しました”というメッセージが表示され、通常画面に戻ります。

メモ:

- “しない”を選び[決定]ボタンを押すと、フォーマットをしないで元の画面に戻ります。
  [戻る]ボタンを押した場合も、フォーマットをしないで元の画面に戻ります。

ご注意:

- “SD カードフォーマット実行中”が表示されているときは、絶対に電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。また、SD カードを引き抜いたりしないでください。SD カードが破損する可能性があります。
- 保護されたタイトルをフォーマットすると、すべてのタイトルが削除されますので注意してください。
- SD カードのフォーマットが開始されると、フォーマットが中断できません。

録画モードについて

録画モードによる録画可能時間

用途に合わせて、録画モードが設定できます。映像を高画質にすると記録可能時間が短くなり、映像を低画質にすると長時間の記録ができるようになります。
記録可能時間については、下記の表を参照してください。表内の時間は目安です。

録画モード	画質	BD（片面 1 層）	BD（片面 2 層）	DVD（片面 1 層）	DVD（片面 2 層）	HDD（500 GB）
DR	HD	1.9 時間	3.8 時間	-	-	40 時間（*1）
AF		4 時間	8 時間	0.7 時間(*2)	1.3 時間(*2)	80 時間
AN		6 時間	12 時間	1 時間(*2)	2 時間(*2)	126 時間
AL		9 時間	18 時間	1.6 時間(*2)	3 時間(*2)	189 時間
AE		12 時間	24 時間	2.1 時間(*2)	4.1 時間(*2)	252 時間
XP	SD	5.25 時間	10.5 時間	1 時間	1.7 時間	110 時間
SP		10.5 時間	21 時間	2 時間	3.5 時間	222 時間
LP		21 時間	42 時間	4 時間	7.1 時間	442 時間
EP		42 時間	84 時間	8 時間	14.3 時間	887 時間
DR1	HD	1.8 時間	3.6 時間	-	-	38 時間
DR2		2 時間	4 時間	-	-	42 時間
DR3		2.9 時間	6 時間	-	-	62 時間
DR4		3.9 時間	7.8 時間	-	-	82 時間

*1 ： HDV を取り込んだときの目安です。

*2 ： AVCREC でフォーマットした場合に録画できます。

メモ:

- DR モード
  DirectRecording を意味し、そのまま画質で録画します。
- AF/AN/XP/SP モード
  スポーツなど、動きの速い映像を録画するときにおすすめです。
  - AF/AN モードでは高画質な HD レベルで録画します。
  - XP/SP モードでは高画質な SD レベルで録画します。
- AL/AE/LP モード
  ドラマなどの動きが遅く、あまり明暗のない映像を録画するときにおすすめです。
  - AL/AE モードでは低画質な HD レベルで録画します。
  - LP モードでは低画質な SD レベルで録画します。
- EP モード
  アニメのように輪郭がはっきりしている映像、録画可能時間（残量時間）に余裕がないときにおすすめです。
- DR1/DR2/DR3/DR4 モード
  SDI 入力端子から取り込むときにのみ選択できます。
  DR1 が一番高画質で録画でき、DR4 が一番低画質で録画します。
  録画可能時間は、DR4 が一番長く、DR1 が一番短くなります。
- DR1/DR2/DR3/DR4 の録画モード設定について
  DR1/DR2/DR3/DR4 に録画モードを変更した場合、設定処理にしばらく時間がかかります。その期間は入力中の信号が画面に表示されないことがあります。
- 再生中、ダビング中、編集中以外のときに、リモコンの[OPTION]ボタンを押すと、録画モードを変更できます。
  ① **リモコンの[オプション]ボタンを押す**
  ② **“録画モード”を選択し、リモコンの[OK]ボタンを押す**
  ③ **変更したい“録画モード”を選択し、リモコンの[OK]ボタンを押す**

HD 画質について

- BD を使用すると HD 画質でダビングできます。HDD に取り込んだ HD 画質のタイトルをダビングするときは、BD の使用をおすすめします。
- DVD に HD 画質にダビングしたい場合は、ディスクを AVCREC でフォーマットしてください。

ご注意:

- AVCREC モードで保存した映像は、AVCREC に対応した機器でのみ再生できます。また、対応していない機器に挿入するとディスクがフォーマットされたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。

DR モード

- HDV, MOV*, SD-VIDEO(JVC Everio MPEG2 TS)のタイトルが DR モードで取り込めます。

MOV* ： JVC ProHD カムコーダー GY-HM750/150 で撮影した MOV 形式（SP モードおよび HQ モード）

FR モード

FR モードは以下のような場合の録画モードとして表示されます。

- HDD に取り込んだときの FR モード
  SD-VIDEO(JVC Everio MPEG2 PS)のタイトルを高速ダビングで取り込んだ場合。他機で記録した DVD-VR ディスクから高速ダビングで取り込んだ場合。
- HDD からダビングするときの FR モード
  ディスクの残量にあわせて XP〜EP の間で、最適なモードを自動的に選択する場合。

BD/DVDからHDDへ取り込む

BD/DVD から HDD に取り込みます。

- 取り込みできるファイルフォーマット

動画	:	BD-MV, BD-AV, AVCHD, DVD-VR, DVD-VIDEO, EverioBackup
静止画	:	EverioBackup, BD-AV(BD-RE)

メモ:

- BD-MV、AVCHD、EverioBackup ファイルを、丸ごと取り込みを選択して取り込んだタイトルは、すべて 1 つのタイトルに結合されます。
  本機では、取り込み後の編集でタイトルの結合はできません。結合して取り込みたい場合は、ワンタッチ取り込み、丸ごと取り込みを選択してください。
- “タイトルを指定(動画)”を選択して取り込むときは、日付ごとにタイトルが結合されます。
- 映像サイズなど、録画条件が異なるシーン間ではタイトルは結合されません。

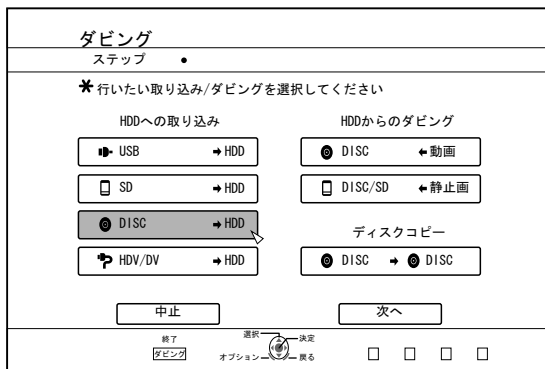
ご注意:

- 著作権が保護されていないタイトルのみ、取り込みできます。
- ディスクに入っているファイル数によって、認識や取り込みに時間がかかります。

■ 準備

1 BD または DVD をディスクトレイにセットする

2 リモコンの[ダビング]ボタンを押す

- 取り込みメニュー画面が表示されます。

3 取り込みメニュー画面で"DISC⇨HDD"を選び、[決定]ボタンを押す

- "DISC⇨HDD"にチェックマークが表示されます。

4 “次へ”を選び、[決定]ボタンを押す

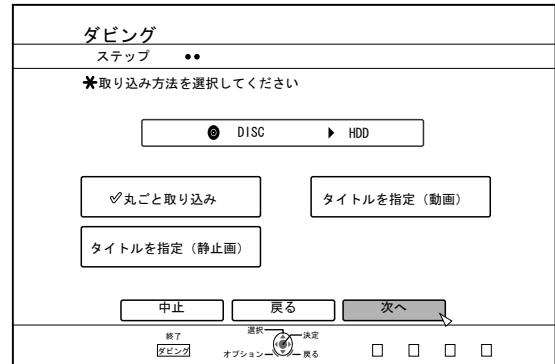
- 取り込み選択画面が表示されます。

メモ:

- DVD-VIDEO を認識した場合は、取り込み選択画面ではなく、録画モード選択画面が表示されます。
  詳しくは"DVD-VIDEO を取り込む" (☞33 ページ) を参照してください。

丸ごと取り込み

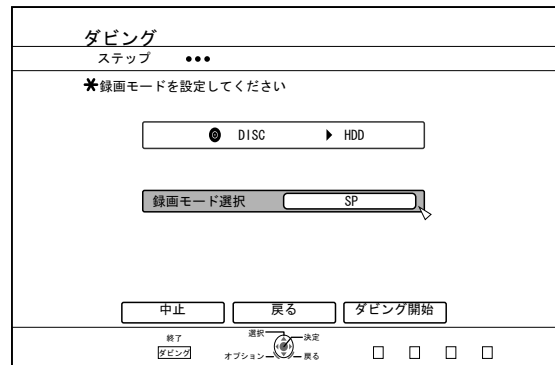
1 取り込み選択画面で“丸ごと取り込み”を選び、[決定]ボタンを押す

- “丸ごと取り込み”にチェックマークが表示されます。

2 “次へ”を選び、[決定]ボタンを押す

- ディスクのフォーマット形式が“BD-AV”および“AVCREC”以外の場合は、メニューに“次へ”ではなく“ダビング開始”が表示されます。手順 5 を実行してください。

3 “録画モード選択”を選び、[決定]ボタンを押す

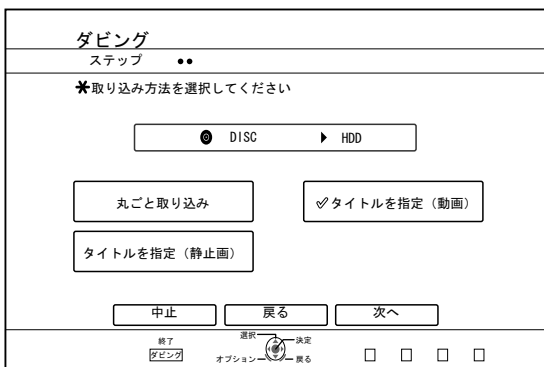
- ポップアップメニューが表示されます。

4 ポップアップメニューから“録画モード”を選択する

詳しくは"録画モードについて" (☞29 ページ) を参照してください。

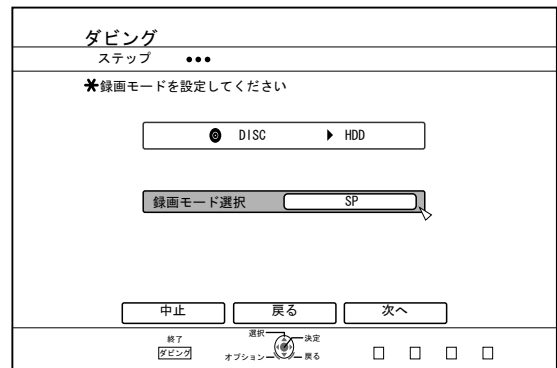
BD/DVDからHDDへ取り込む (つづき)

5 “ダビング開始”を選び、[決定]ボタンを押す
- タイトルの取り込みが開始されます。
- タイトルの取り込みが完了すると、“ダビングが終了しました”とモニターに表示されます。

タイトルを指定

1 取り込み選択画面で“タイトルを指定(動画)”を選び、[決定]ボタンを押す
- “タイトルを指定(動画)”にチェックマークが表示されます。

2 “次へ”を選び、[決定]ボタンを押す

- ディスクのフォーマット形式が“BD-AV”および“AVCREC”の場合は、録画モードの選択画面が表示されます。
- ディスクのフォーマット形式が“BD-AV”と“AVCREC”以外の場合は、取り込みタイトルリスト作成画面が表示されます。手順 5 を実行してください。

3 “録画モード”を選び、[決定]ボタンを押す
- ポップアップメニューが表示されます。

4 ポップアップメニューから“録画モード”を選択する

詳しくは"録画モードについて" (☞29 ページ) を参照してください。

5 “次へ”を選び、[決定]ボタンを押す
- 取り込みタイトルリストの作成画面が表示されます。

6 取り込みタイトルリストを作成する
- 取り込みタイトルリストの作成方法については、以下の手順で行ってください。

  ① “ダビングするタイトルリストの追加”を選び、[決定]ボタンを押す
  タイトルリスト画面に移動します。
  ② 取り込むタイトルを選び、[決定]ボタンを押す
  選択したタイトルをリストに追加します。

メモ:
- [マーク]ボタンを押すと、タイトルにチェックマークが付きます。
  チェックマークが付いてるタイトルは、一括でリストに追加できます。
- ダビングタイトルリストのタイトルを選び、[決定]ボタンを押すと次のような変更ができます。
  - リストから選択したタイトルを削除
- タイトルを選択したときに、ディスクによってはサムネイル表示ができない場合があります。

7 “ダビング開始”を選び、[決定]ボタンを押す

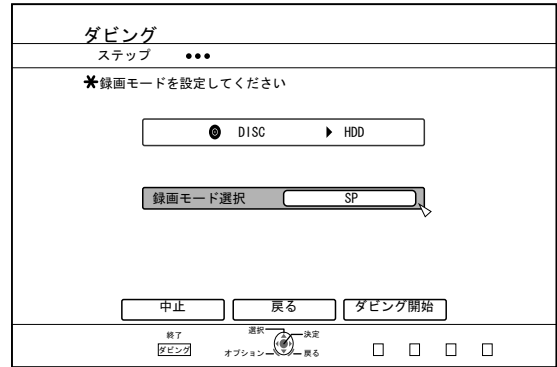
- 作成したタイトルリストの順番で、タイトルの取り込みが開始されます。
- タイトルの取り込みが完了すると、“ダビングが終了しました”とモニターに表示されます。

ご注意:
- 次のような場合は、“ダビング開始”を選択できません。
  - ダビングできないタイトルを選択した
  - HDD の容量が不足する
  - HDD のタイトル数が上限に達している
  - ダビングタイトルリストを作成していない

DVD-VIDEO を取り込む

DVD-VIDEO を認識すると、録画モード選択画面が表示されます。
以下の手順に従って、DVD-VIDEO から HDD に取り込みできます。

1 録画モード選択画面で“録画モード選択”を選び[決定]ボタンを押し、ポップアップメニューから“録画モード”を選択する

- “録画モード”を選択してください。

詳しくは"録画モードについて" (☞29 ページ) を参照してください。

2 “ダビング開始”を選び、[決定]ボタンを押す

- タイトルの取り込みが開始されます。
- タイトルの取り込みが完了すると、“ダビングが終了しました”とモニターに表示されます。

メモ:
- DVD-VIDEO のファーストプレイがトップメニューなどに設定されている場合は、タイトルの再生が開始されません。再生が開始されない場合は、再生ボタンを押すなど、DVD-VIDEO を再生する操作をおこなってください。

取り込みを中止したいときは

■ 取り込み開始前に中止したい場合

- メニューの“中止”を選び[決定]ボタンを押すと、タイトルの取り込みを中止します。
- [戻る]ボタンを押すと、タイトルの取り込みを中止して、元の画面に戻ります。

■ 取り込み中に中止したい場合

- [オプション]ボタンを押し、ポップアップメニューを表示します。
  ポップアップメニューより“ダビング中止”を選び、[決定]ボタンを押します。その場合、中止したところまで HDD に書き込まれます。
- [■]ボタンで再生を止めると、取り込みも停止します。

USB対応機器からHDDへ取り込む

USB 端子に接続された機器から HDD に取り込みます。

- 取り込みできるファイルフォーマット
  AVCHD、SD-VIDEO(JVC Everio MPEG2 TS、PS)、MOV*、JPEG
  MOV* ： JVC ProHD カムコーダー GY-HM750/150 で撮影した MOV 形式(SP モードおよび HQ モード)

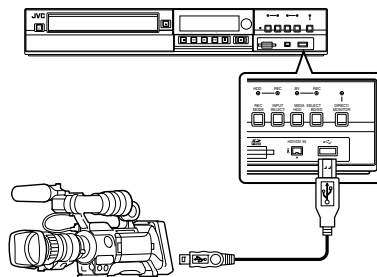
メモ:

- 丸ごと取り込みを選択して取り込んだタイトルは、すべて 1 つのタイトルに結合されます。
  本機では、取り込み後の編集でタイトルの結合はできません。結合して取り込みたい場合は、丸ごと取り込みを選択してください。
- “タイトルを指定(動画)”を選択して取り込むときは、日付ごとにタイトルが結合されます。
- 映像サイズなど、録画条件が異なるシーン間ではタイトルは結合されません。
- MOV ファイルの取り込みは、USB に記録されている映像時間よりも時間が掛かる場合があります。

ご注意:

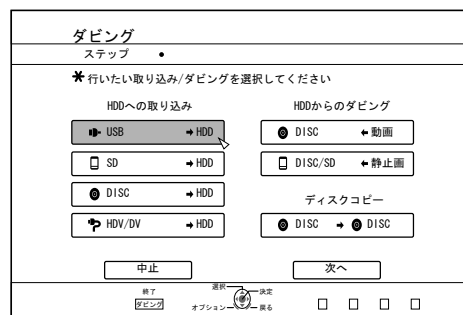
- USB 対応機器を本機に接続する場合は、本機および接続機器の電源を「切」にしてください。
- タイトルの取り込み中に、USB ケーブルを引き抜かないでください。
  タイトルが消失したり、破損する可能性があります。
- 著作権が保護されていないタイトルのみ、取り込みできます。
- MOV フォーマットの動画は、JVC ProHD カムコーダー GY-HM750/150 で撮影した MOV 形式(SP および HQ モード)で撮影した映像にのみ対応します。他社製の機器で撮影した動画の取り込みは、保証いたしかねます。
- USB 対応機器に入っているファイル数によって、認識や取り込みに時間がかかります。
- USB 接続の場合、本機ではカムコーダー側の録画デバイスのうち、1 つのデバイスしか認識しません。
  ビデオカメラによっては、メモリーカードスロットを認識し、内蔵デバイスを認識しない場合があります。
  以下の方法でご利用ください。
  - 内蔵デバイスを認識しない場合:
    カメラの内蔵メモリや内蔵 HDD のデータを、SD カードにコピーしてご利用ください。
  - JVC 製ダブルスロットメモリーカムコーダーをご利用の場合:
    コピーしたいデータが保存されている SD カードを、スロット A でご利用ください。
- USB 接続で目的のデバイスを認識しない場合は、カムコーダーのバーナーなどで、ディスクにダビングしてから本機にダビングしてください。詳しくは"BD/DVD から HDD へ取り込む" (☞31 ページ) を参照してください。
- USB 接続によるカムコーダからの映像取り込みの際、カムコーダーによっては本体内蔵メモリからの読み出しができない場合があります。その際、カムコーダーに内蔵メモリと SD カードの両方がある場合、SD カードを優先して認識することがあるので、SD カードを取り出して本体内蔵メモリから読み出してください。

■ 準備

1 USB 対応機器(Everio など)を USB ケーブルで接続する

メモ:

- USB ケーブルで接続した後に、カメラの電源を入れてカメラのモードを切り換えてください。
  ("PC と接続する"などを選択してください。詳しくはカメラの取扱説明書をご覧ください。)
- USB 機器を認識すると本体表示窓に“USB RDY”と表示されます。

2 リモコンの[ダビング]ボタンを押す

- 取り込みメニュー画面が表示されます。

3 取り込みメニュー画面で"USB⇨HDD"を選び、[決定]ボタンを押す

- "USB⇨HDD"にチェックマークが表示されます。

4 “次へ”を選び、[決定]ボタンを押す

- 取り込み選択画面が表示されます。

丸ごと取り込み

1 取り込み選択画面で“丸ごと取り込み”を選び、[決定]ボタンを押す

- “丸ごと取り込み”にチェックマークが表示されます。

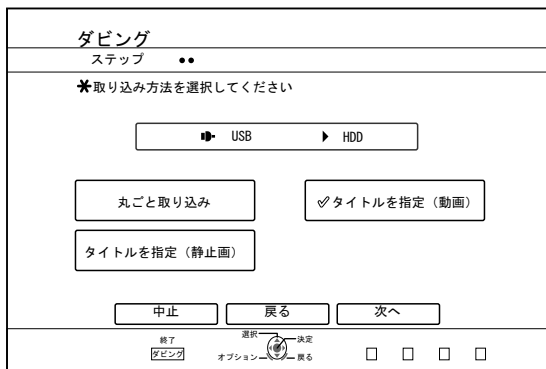
2 “ダビング開始”を選び、[決定]ボタンを押す

- タイトルの取り込みが開始されます。

- タイトルの取り込みが完了すると、“ダビングが終了しました”とモニターに表示されます。

タイトルを指定

1 取り込み選択画面で“タイトルを指定(動画)”を選び、[決定]ボタンを押す

- “タイトルを指定(動画)”にチェックマークが表示されます。

2 “次へ”を選び、[決定]ボタンを押す

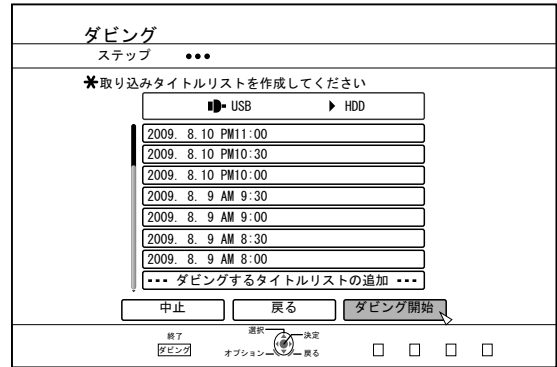
- 取り込みタイトルリストの作成画面が表示されます。

3 取り込みタイトルリストを作成する

- 取り込みタイトルリストの作成方法については、以下の手順で行ってください。

  ① **“ダビングするタイトルリストの追加”を選び、[決定]ボタンを押す**
  タイトルリスト画面に移動します。
  ② **取り込むタイトルを選び、[決定]ボタンを押す**
  選択したタイトルをリストに追加します。

メモ:
- [マーク]ボタンを押すと、タイトルにチェックマークが付きます。
  チェックマークが付いてるタイトルは、一括でリストに追加できます。
- ダビングタイトルリストのタイトルを選び、[決定]ボタンを押すと次のような変更ができます。
  - リストから選択したタイトルを削除
- タイトルを選択したときに、サムネイルは表示されません。

4 “ダビング開始”を選び、[決定]ボタンを押す

- 作成したタイトルリストの順番で、タイトルの取り込みが開始されます。
- タイトルの取り込みが完了すると、“ダビングが終了しました”とモニターに表示されます。

ご注意:
- 次のような場合は、“ダビング開始”を選択できません。
  - ダビングできないタイトルを選択した
  - HDD の容量が不足する
  - HDD のタイトル数が上限に達している
  - ダビングタイトルリストを作成していない

取り込みを中止したいときは

■ 取り込み開始前に中止したい場合

- メニューの“中止”を選び[決定]ボタンを押すと、タイトルの取り込みを中止します。
- [戻る]ボタンを押すと、タイトルの取り込みを中止して、元の画面に戻ります。

■ 取り込み中に中止したい場合

- [オプション]ボタンを押し、取り込み中断メニューより“ダビング中止”を選び、[決定]ボタンを押します。その場合、中止したところまで HDD に書き込まれます。

SD カードから HDD へ取り込む

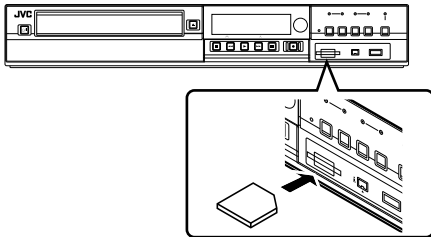
SD カード(SDHC カード)から HDD に取り込みます。

- 取り込みできるファイルフォーマット
  AVCHD、SD-VIDEO(JVC Everio MPEG2 TS、PS)、MOV*、JPEG
  MOV* ： JVC ProHD カムコーダー GY-HM750/150 で撮影した MOV 形式(SP モードおよび HQ モード)

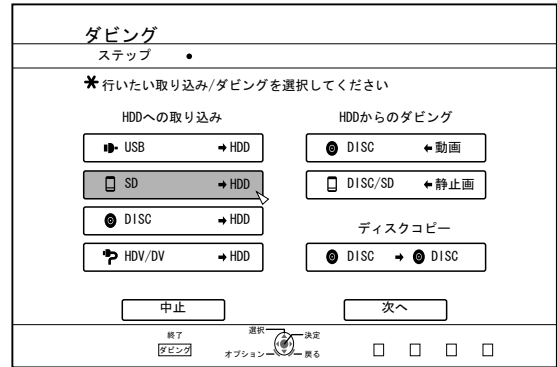
メモ:
- SDXC カードには対応していません。
- 丸ごと取り込みを選択して取り込んだタイトルは、すべて 1 つのタイトルに結合されます。
  本機では、取り込み後の編集でタイトルの結合はできません。結合して取り込みたい場合は、丸ごと取り込みを選択してください。
- “タイトルを指定(動画)”を選択して取り込むときは、日付ごとにタイトルが結合されます。
- 映像サイズなど、録画条件が異なるシーン間ではタイトルは結合されません。
- MOV ファイルの取り込みは、SD カードに記録されている映像時間よりも時間が掛かる場合があります。

ご注意:
- タイトルの取り込み中や取り込み画面で、SD カードを引き抜かないでください。
  タイトルが消失したり、破損する可能性があります。
- MOV フォーマットの動画は、JVC ProHD カムコーダー GY-HM750/150 で撮影した MOV 形式(SP および HQ モード)で撮影した映像にのみ対応します。他社製の機器で撮影した動画の取り込みは、保証いたしかねます。
- 著作権が保護されていないタイトルのみ、取り込みできます。

■ 準備

1 SD カード(SDHC カード)を[SD]スロットに挿入する

メモ:
- SD カードを認識すると本体表示窓に“SD RDY”と表示されます。

2 リモコンの[ダビング]ボタンを押す

- 取り込みメニュー画面が表示されます。

3 取り込みメニュー画面で"SD⇨HDD"を選び、[決定]ボタンを押す

- "SD⇨HDD"にチェックマークが表示されます。

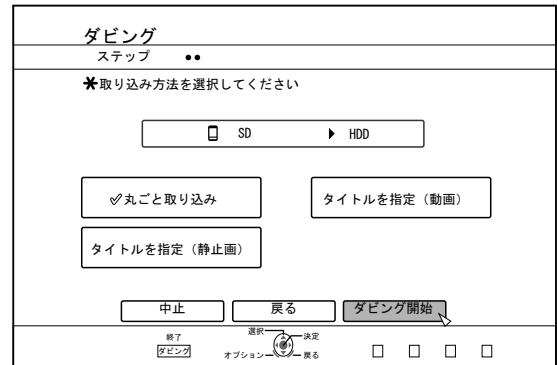
4 “次へ”を選び、[決定]ボタンを押す

- 取り込み選択画面が表示されます。

丸ごと取り込み

1 取り込み選択画面で“丸ごと取り込み”を選び、[決定]ボタンを押す

- “丸ごと取り込み”にチェックマークが表示されます。

2 “ダビング開始”を選び、[決定]ボタンを押す

- タイトルの取り込みが開始されます。
- タイトルの取り込みが完了すると、“ダビングが終了しました”とモニターに表示されます。

メモ:
- メニューの“戻る”を選び[決定]ボタンを押すと、1 つ前の画面に戻ります。

タイトルを指定

1 **取り込み選択画面で“タイトルを指定(動画)”を選び、[決定]ボタンを押す**

- “タイトルを指定(動画)”にチェックマークが表示されます。

2 **“次へ”を選び、[決定]ボタンを押す**

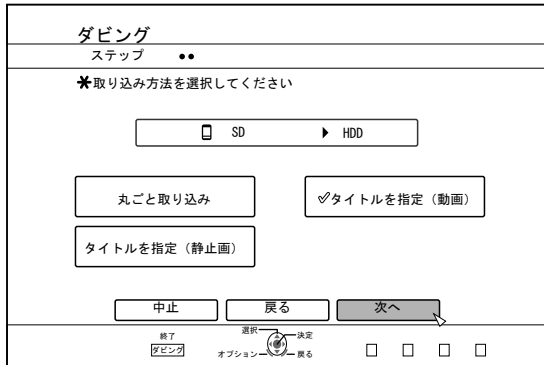
- 取り込みタイトルリストの作成画面が表示されます。

3 **取り込みタイトルリストを作成する**

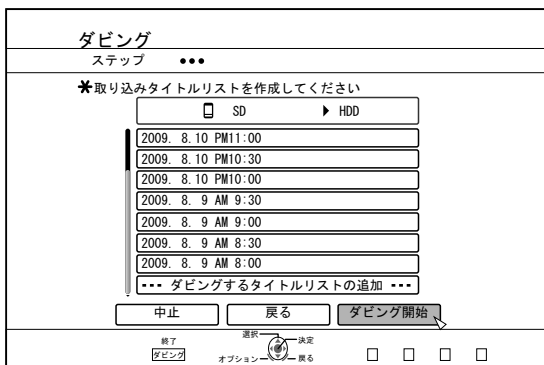
- 取り込みタイトルリストの作成方法については、以下の手順で行ってください。

① **“ダビングするタイトルリストの追加”を選び、[決定]ボタンを押す**
タイトルリスト画面に移動します。

② **取り込むタイトルを選び、[決定]ボタンを押す**
選択したタイトルをリストに追加します。

メモ:

- [マーク]ボタンを押すと、タイトルにチェックマークが付きます。
チェックマークが付いてるタイトルは、一括でリストに追加できます。
- ダビングタイトルリストのタイトルを選び、[決定]ボタンを押すと次のような変更ができます。
  - リストから選択したタイトルを削除
- SD カードに複数フォーマット(AVCHD, SD-VIDEO, MOV*)のファイルが含まれている場合、[青]ボタンを押して、表示したいフォーマットを選びます。

MOV* ： JVC ProHD カムコーダー GY-HM750/150 で撮影した MOV 形式(SP モードおよび HQ モード)

4 **“ダビング開始”を選び、[決定]ボタンを押す**

- 作成したタイトルリストの順番で、タイトルの取り込みが開始されます。
- タイトルの取り込みが完了すると、“ダビングが終了しました”とモニターに表示されます。

メモ:

- メニューの“戻る”を選び[決定]ボタンを押すと、1 つ前の画面に戻ります。

ご注意:

- 次のような場合は、“ダビング開始”を選択できません。
  - ダビングできないタイトルを選択した
  - HDD の容量が不足する
  - HDD のタイトル数が上限に達している
  - ダビングタイトルリストを作成していない
- タイトルを選択したときに、サムネイルは表示されません。

取り込みを中止したいときは

■ 取り込み開始前に中止したい場合

- メニューの“中止”を選び[決定]ボタンを押すと、タイトルの取り込みを中止します。
- [戻る]ボタンを押すと、タイトルの取り込みを中止して、元の画面に戻ります。

■ 取り込み中に中止したい場合

- [オプション]ボタンを押し、取り込み中断メニューより“ダビング中止”を選び、[決定]ボタンを押します。その場合、中止したところまで HDD に書き込まれます。

i.LINK対応機器からHDDへ取り込む

i.LINK 端子に接続された機器から HDD に取り込みます。

- 取り込みできる動画フォーマット
  DV コンテンツ、HDV コンテンツ

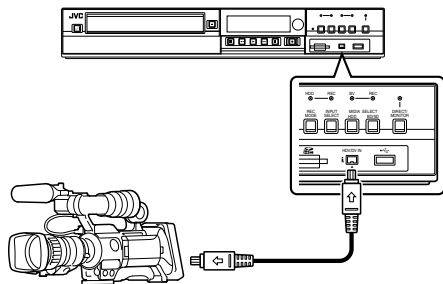
メモ:

- 著作権が保護されていないタイトルのみ、取り込みできます。
- D-VHS やデジタル放送チューナなど著作権対応機器は接続できません。本機はテープメディアのみ、取り込みできます。
- HDV/DV カメラにテープが挿入されていない場合は、取り込みが実行されません。
- HDV から DV に切り換わったとき、または DV から HDV に切り換わったときに、取り込みが中止されます。
- HDV 記録と DV 記録の両方に対応しているカムコーダの場合は、HDV または DV 固定モードで記録、再生して使用してください。
- PC との接続による編集には対応していません。
- 本機に接続できる i.LINK 機器は 1 台のみです。

ご注意:

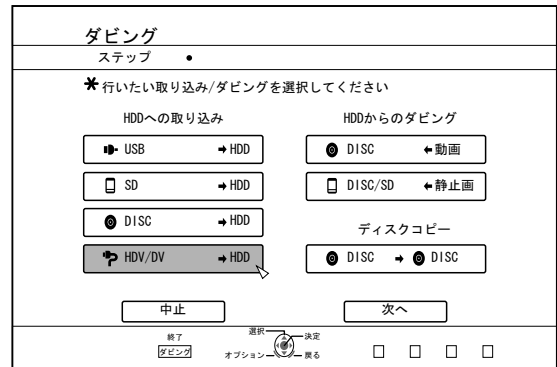
- i.LINK 対応機器を本機に接続する場合は、本機および接続機器の電源を「切」にしてください。
- HDD への取り込み中に、i.LINK ケーブルを引き抜いたりしないでください。
  タイトルが消失したり、破損する可能性があります。
- 例えば、JVC GY-HD100 から i.LINK 接続で HDV コンテンツを丸ごと取り込む場合は、GY-HD100 を以下のように設定しないと画像先頭が取り込めない場合があります。
  (1) GY-HD100 本体後部の[IEEE1394]スイッチを記録されたコンテンツに合わせて、[HDV]または[DV]に設定する。
  (2) GY-HD100 本体の[MENU]/[VIDEO FORMAT]/[PB TAPE]を[HDV]または[DV]に設定する。
  (上記(1) と同様に記録されたコンテンツに設定を合わせる。[AUTO]設定は禁止。)
  (3) GY-HD100 本体側面の[HDV] ランプまたは[DV] ランプの点灯を確認する。
  (上記(1)、(2) 設定と同じランプの点灯を確認する。)
  HDV 記録/DV 記録が混在したテープから取り込む場合は、記録モードごとにビデオカメラの設定を変えて、上記(3)のモードランプを確認しながら、今の位置から取り込むを選択してください。

■ 準備

1 機器(カメラなど)を i.LINK ケーブルで接続する

メモ:

- i.LINK ケーブルで接続した後に、機器(カメラなど)の電源を入れてカメラを再生モードに切り換えてください。(詳しくは機器(カメラなど)の取扱説明書をご覧ください。)
- i.LINK 機器を認識すると本体表示窓に"HDV/DV RDY"と表示されます。

2 リモコンの[ダビング]ボタンを押す

- 取り込みメニュー画面が表示されます。

3 取り込みメニュー画面で"HDV/DV⇨HDD"を選び、[決定]ボタンを押す

- "HDV/DV⇨HDD"にチェックマークが表示されます。

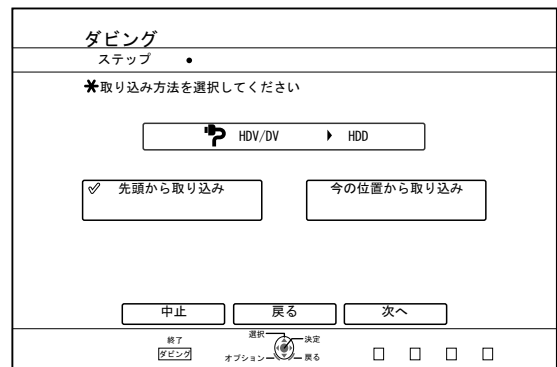
4 "次へ"を選び、[決定]ボタンを押す

- 取り込み選択画面が表示されます。

先頭から取り込み

テープの先頭から最後までの映像を取り込みます。テープの位置が途中の場合は、テープを巻き戻して先頭から取り込みを開始します。

1 "先頭から取り込み"を選び、[決定]ボタンを押す

- "先頭から取り込み"にチェックマークが表示されます。

2 "次へ"を選び、[決定]ボタンを押す

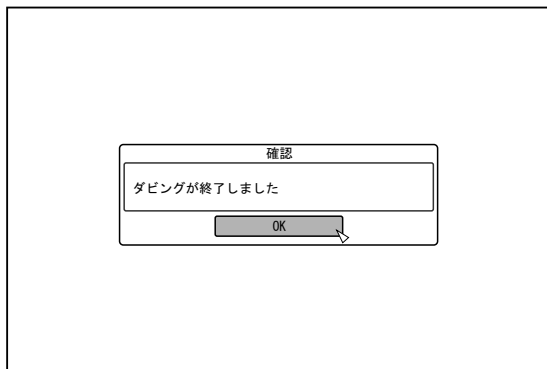
- 録画モード選択画面が表示されます。

3 "録画モード選択"を選び[決定]ボタンを押し、ポップアップメニューから選択する

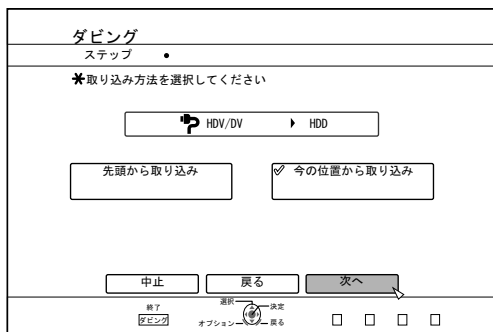
- “録画モード”を、"XP"、"SP"、"LP"および"EP"いずれかから選択する。

メモ:
- HDV コンテンツを取り込む場合は、録画モードが DR で取り込まれます。

詳しくは"録画モードについて" (☞29 ページ) を参照してください。

4 “ダビング開始”を選び、[決定]ボタンを押す
- タイトルの取り込みが開始されます。
- タイトルの取り込みが完了すると、“ダビングが終了しました”とモニターに表示されます。

今の位置から取り込み

テープの今の位置から最後までの映像を取り込みます。

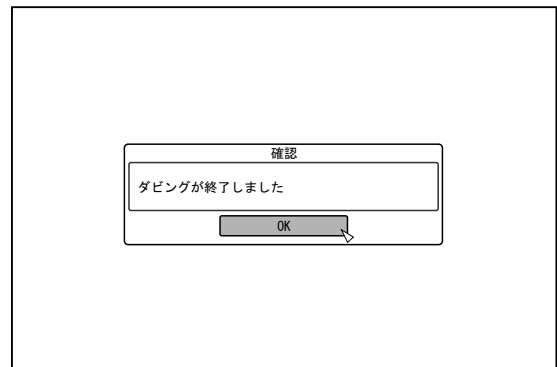
1 “今の位置から取り込み”を選び、[決定]ボタンを押す
- “今の位置から取り込み”にチェックマークが表示されます。

2 “次へ”を選び、[決定]ボタンを押す

- 録画モード選択画面が表示されます。

3 “録画モード選択”を選び、[決定]ボタンを押し、ポップアップメニューを表示する
- “録画モード”を、"XP"、"SP"、"LP"および"EP"いずれかから選択する。

メモ:
- HDV コンテンツを取り込む場合は、録画モードが DR で取り込まれます。

詳しくは"録画モードについて" (☞29 ページ) を参照してください。

4 “ダビング開始”を選び、[決定]ボタンを押す
- タイトルの取り込みが開始されます。
- タイトルの取り込みが完了すると、“ダビングが終了しました”とモニターに表示されます。

取り込みを中止したいときは

■ 取り込み開始前に中止したい場合
- メニューの“中止”を選び[決定]ボタンを押すと、タイトルの取り込みを中止します。
- [戻る]ボタンを押すと、タイトルの取り込みを中止して、元の画面に戻ります。

■ 取り込み中に中止したい場合
- [オプション]ボタンを押し、取り込み中断メニューより“ダビング中止”を選び、[決定]ボタンを押します。その場合、中止したところまで HDD に書き込まれます。

タイトルをHDDからBD/DVDへダビングする

内蔵 HDD 内にあるタイトルを BD/DVD へダビングします。

メモ:
- 本機にダビングできるディスクは、BD-RE、BD-R、DVD-RW または DVD-R のいずれかになります。

詳しくは"ダビング/再生できるディスク" (☞9 ページ) を参照してください。

- 部分削除した HD コンテンツは、BDMV へダビングできません。ダビングする場合は、シームレス変換を実行してからダビングしてください。

詳しくは"モード変換する" (☞77 ページ) を参照してください。

ご注意:
- 以下のような高ビットレートで撮影したファイルを BD へダビングすると、Blu-ray Disc 規格を満たさない場合があります。
  - JVC GY-HM750/150 SP および HQ モードで撮影したコンテンツを取り込んで、BDAV/BDMV ディスクを作成(高速ダビング)した場合
  - JVC GZ-HD7/6 など FHD モードで撮影したコンテンツを取り込んで、BDAV ディスクを作成(高速ダビング)した場合
  - その他のビデオカメラで撮影したビットレートがピークで 28.8Mbps を超えるコンテンツを取り込んで、BDAV/BDMV ディスクを作成した場合
- 規格を満たさなかった場合、他のプレーヤーで再生できない場合が有り得ますので、確実に規格に満たすためには、録画モード変換後高速ダビングするか、録画モード指定でダビングしてください。

HDD(ハードディスク)から BD/DVD へのダビング

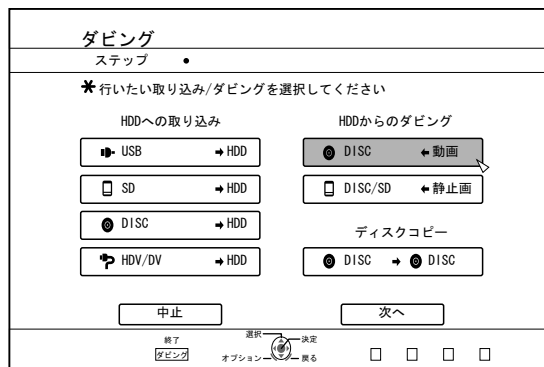
■ 準備する

1 BD または DVD をディスクトレイにセットする

メモ:
- 下記の書き込みができないディスクの場合は、モニターにメッセージが表示されます。メッセージに従って対応してください。
  - 未対応のディスクがセットされている
  - セットされているディスクの容量が不足している
  - ファイナライズされたディスクがセットされている

2 リモコンの[ダビング]ボタンを押す

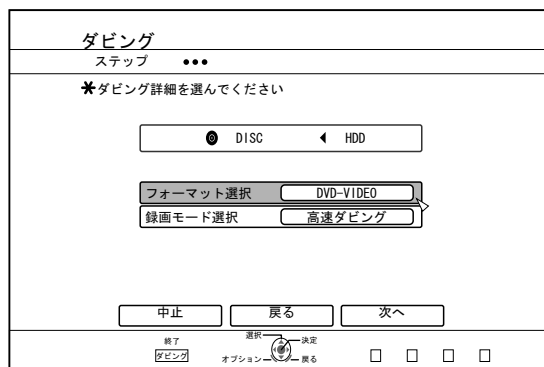
- ダビングメニュー画面が表示されます。

3 ダビングメニュー画面で、"DISC⇦ 動画"を選ぶ

- "DISC⇦ 動画"にチェックマークが表示されます。

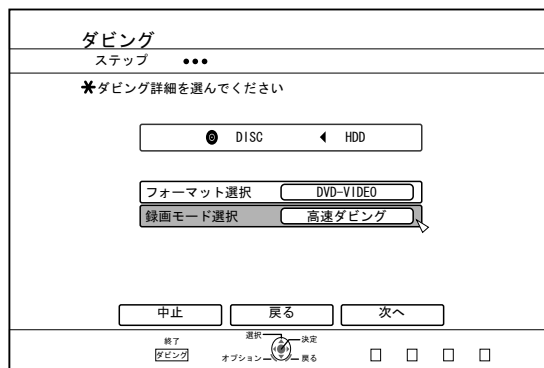
4 "次へ"を選び、[決定]ボタンを押す

メモ:
再生ナビ画面からでもダビングが実行できます。
① **ダビングしたいタイトルを選び、[オプション]ボタンを押す**
② **"ダビングする"を選び、[決定]ボタンを押す**
③ **"準備する"の手順 3~4 を実行する**

■ タイトルをダビングする

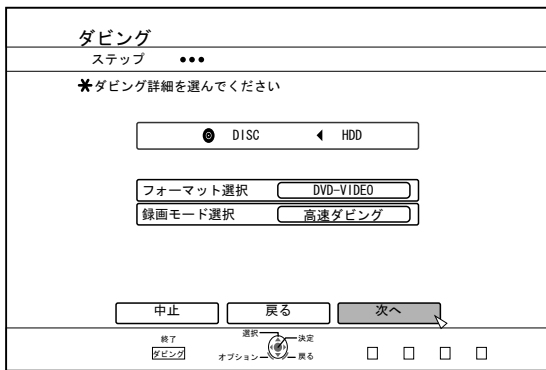
1 "フォーマット選択"を選び、[決定]ボタンを押す

- フォーマットを選択します。

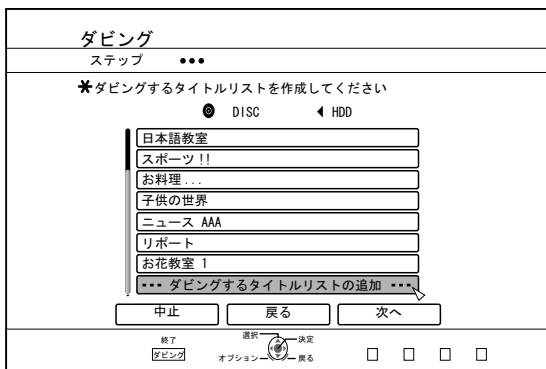
詳しくは"フォーマット対応表" (☞26 ページ) を参照してください。

2 "録画モード選択"を選び、[決定]ボタンを押す

- "高速ダビング"か、お好みの録画モードを選択します。

メモ:
- 高速ダビング
  ダビング時間を大幅に短縮したいときに選びます。
  高速記録に対応したディスクをお使いください。
- AF/AN/AL/AE
  BD-R、BD-RE の場合に選択できます。HD 画質でダビングします。
  DVD-R、DVD-RW の場合は、AVCREC フォーマットした場合に選択できます。
- XP/SP/LP/EP
  SD 画質でダビングします。
  AVCREC フォーマットした場合には選択できません。
- FR
  ディスクの残量にあわせて XP〜EP の間で、最適なモードが自動的に選択されます。
  AVCREC フォーマットした場合には選択できません。

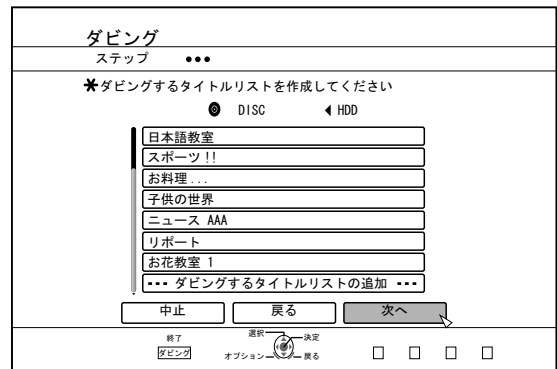
詳しくは"ダビング対応表" (☞25 ページ) および"録画モードについて" (☞29 ページ) を参照してください。

3 “次へ”を選び、[決定]ボタンを押す

- ダビングタイトルリストの作成画面が表示されます。

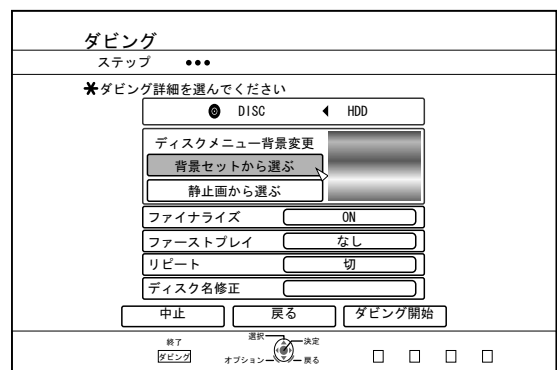
4 ダビングタイトルリストを作成する

- ダビングタイトルリストの作成方法については、以下の手順で行ってください。
  ① **“ダビングするタイトルリストの追加”を選び、[決定]ボタンを押す**
  ② **ダビングするタイトルを選び、[決定]ボタンを押す**

メモ:
- [マーク]ボタンを押すと、タイトルにチェックマークが付きます。
  チェックマークが付いてるタイトルは、一括でリストに追加できます。
- ダビングタイトルリストのタイトルを選び、[決定]ボタンを押すとオプションメニューが表示され、次のような変更ができます。
  - リストから選択したタイトルを削除
  - リスト順番の移動
  - 選択したタイトル名の変更

  “タイトル名修正”を選び、[決定]ボタンを押すとダビング元のタイトル名が変更できます。変更したタイトル名でダビングされます。

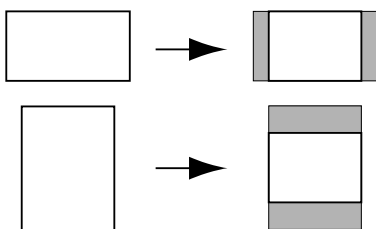
5 “次へ”を選び、[決定]ボタンを押す

ご注意:
- 次のような場合は、“次へ”を選択できません。
  - ダビングできないタイトルを選択した
  - ディスク容量が不足する
  - ダビングタイトルリストを作成していない

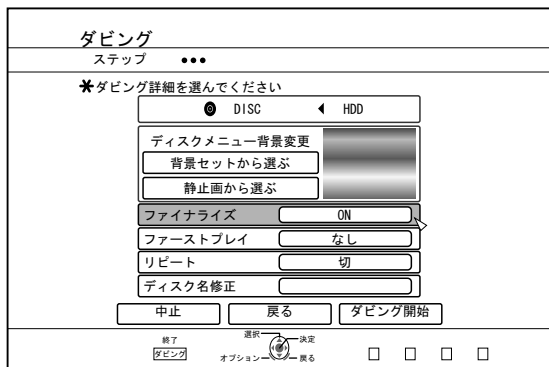
メモ:
- "BDAV"または"DVD-VR"フォーマットの場合は、手順 6〜 7 は表示されません。手順 8 を実行してください。

6 ディスクメニューの背景画像を選ぶ

- "背景セット"または"静止画"から、ディスクメニューの背景画像を選択します。
  - “背景セットから選ぶ”
    初期登録されている背景セットをディスクメニューとして使用します。

タイトルをHDDからBD/DVDへダビングする (つづき)

- “静止画から選ぶ”
  HDD にある静止画をディスクメニューとして使用します。背景に使用する静止画は 5120x3840 が最大サイズになります。

メモ:
- DVD-VIDEO、BD-MV の場合のみ、ディスクメニューの背景画像が選択できます。
- 静止画の画像サイズは、以下の画像サイズを推奨します。
  BD　: 1920 x 1080
  DVD : 720 x 480
- 静止画を設定した場合、ダビングする動画の画質(アスペクト比)より、縦横のサイズの小さい方に合わせて両端を切り取ります。

静止画のサイドカット例

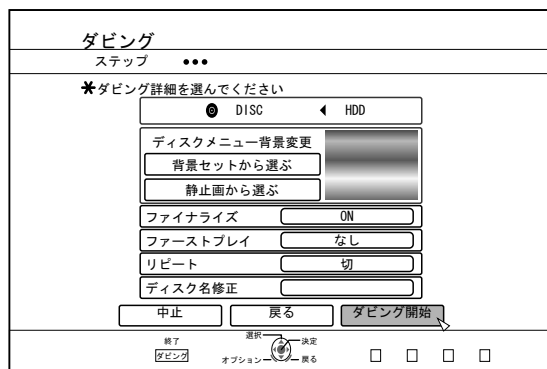
7 ファイナライズを設定する

- “ファイナライズ”を“ON”に設定すると、ダビング終了後にファイナライズします。
  ダビングするディスクが BD-MV の場合は、“ファイナライズ”を“OFF”に設定できません。また、ダビングした BD-MV ディスクには追記できません。
- ダビングするディスクが DVD-VIDEO または BD-MV の場合は、“ファーストプレイ”、“リピート”と“ディスク名修正” の項目が設定できます。

  ① **“ファーストプレイ”を選び、“なし”、“トップメニュー”または“タイトル 1”のいずれかを選択する**
  - “なし”
    ファイナライズしたディスクを他の機器に入れたときに、自動再生されません。
  - “トップメニュー”
    ファイナライズしたディスクを他の機器に入れたときに、メニューが自動で再生されます。
  - “タイトル 1”
    ファイナライズしたディスクを他の機器に入れたときに、タイトル 1 が自動で再生されます。

メモ:
- BD-MV の場合は、“ファーストプレイ”の“なし”が選択できません。

  ② **“リピート”を選び、“切”または“入”のどちらかを選択する**
  - “切”
    すべてのタイトルが再生されたあとに、メニューで停止します。
  - “入”
    すべてのタイトルが再生されたあとに、タイトル 1 から自動でリピート再生します。

  ③ **“ディスク名修正”を選び、[決定]ボタンを押す**
  ディスク名の入力画面が表示されます。入力したディスク名でファイナライズが実行されます。

8 “ダビング開始”を選び、[決定]ボタンを押す

- ダビングが実行されます。ダビング実行中はプログレスバーが表示されます。
- ダビングが完了すると、“ダビングが終了しました”とモニターに表示されます。

メモ:
- メニューの“戻る”を選び[決定]ボタンを押すと、1 つ前の画面に戻ります。

■ ダビングを中止したいときは

ダビング開始前に中止したい場合
- メニューの“中止”を選び[決定]ボタンを押すと、ダビングを中止します。
- [戻る]ボタンを押すと、ダビングを中止して、元の画面に戻ります。

ダビング中に中止したい場合
- [オプション]ボタンを押し、ダビング中止メニューより“ダビング中止”を選び、[決定]ボタンを押します。その場合、中止したところまでディスクに書き込まれます。

メモ:
- BD-R、DVD-R へのダビングの場合、中止したところまで書き込まれるためディスク残量は減少します。

静止画をHDDからダビングする

内蔵 HDD 内にある静止画を BD-RE または SD カードへダビングします。

メモ:
- 静止画のフォーマットは"JPEG"のみ対応します。

詳しくは"ダビング対応表" (☞25 ページ) を参照してください。

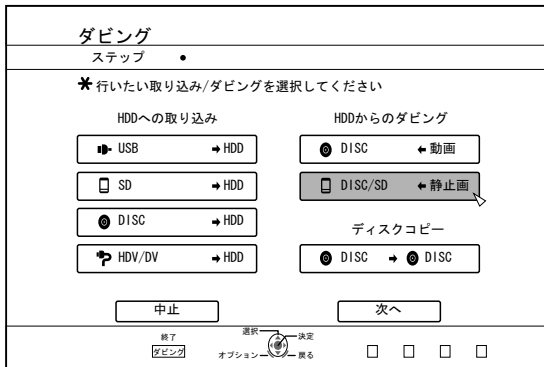
■ ダビングする前に

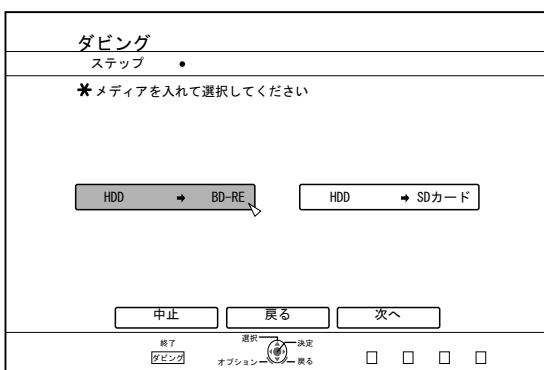
- ディスクにダビングする場合
  ダビングする BD-RE をディスクトレイにセットする
- SD カードにダビングする場合
  ダビングする SD カードを[SD]スロットに挿入する

■ 静止画をダビングする

1 リモコンの[ダビング]ボタンを押す

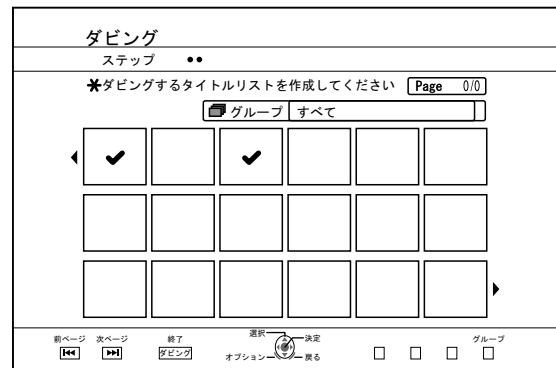
- ダビングメニュー画面が表示されます。

2 ダビングメニュー画面で、"DISC/SD⇦ 静止画"を選ぶ

3 メディア選択画面で、ダビング先のメディアを選ぶ

- 選択したメディアにチェックマークが追加されます。

4 "次へ"を選び、[決定]ボタンを押す

メモ:
- ダビングができない場合は、メッセージがモニターに表示されます。書き込み可能なディスクまたは SD カードに交換してください。
  - 未対応のディスクまたは SD カードがセットされている
  - セットされているディスクまたは SD カードの容量が不足している
  - フォーマットされてないディスクまたは SD カードがセットされている

詳しくは"ディスクをフォーマットする" (☞26 ページ) または"SD カードをフォーマットする" (☞28 ページ) を参照してください。

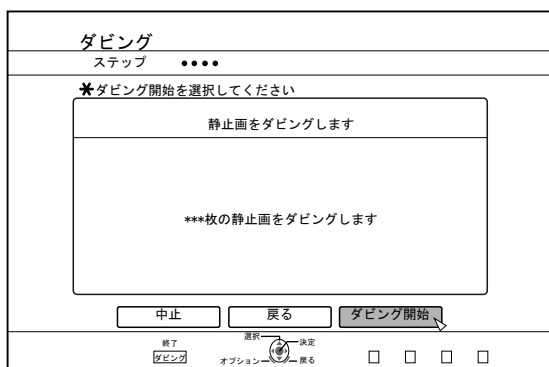
5 ダビングする静止画を選び、[マーク]ボタンを押す

- [マーク]ボタンを押すとチェックマークを追加されます。チェックマークを追加した静止画は、すべてダビングされます。

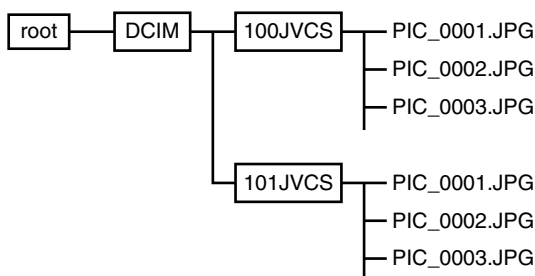
メモ:
- チェックマークがついている静止画を選び[マーク]ボタンを押すと、チェックマークが解除されます。
- [オプション]ボタンを押すと、ポップアップメニューが表示されます。
  ポップアップメニューで、以下のメニューを実行できます。

戻る	:	ポップアップメニューを終了し、元の画面に戻る。
すべて選択	:	同じグループ内の静止画をすべて選択する。
すべて選択解除	:	同じグループ内で、チェックマークをつけた静止画をすべて解除する。

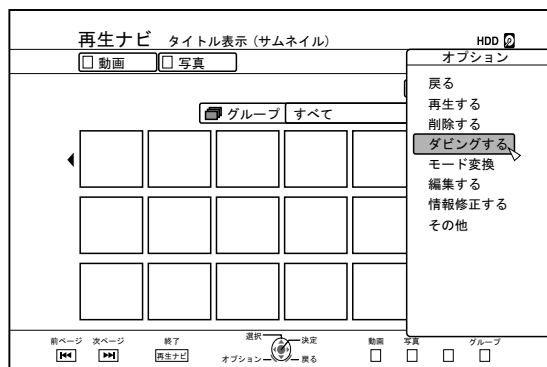
ご注意:
- 選択した静止画がディスクに入らない場合は、メッセージが表示されます。ディスク容量が不足する場合は、静止画にチェックマークの追加ができません。

静止画をHDDからダビングする (つづき)

6 **“ダビング開始”を選び、[決定]ボタンを押す**

- ダビングが実行されます。ダビング実行中はプログレスバーが表示されます。
- ダビングが完了すると、“ダビングが終了しました”とモニターに表示されます。

メモ:
- メディアには下図の構成でディレクトリが作成され、ファイル名"PIC_0001.jpg"から"PIC_9999.jpg"で書き込みます。

■ 再生ナビ画面からダビングする

再生ナビ画面からでもダビングが実行できます。

1 **ダビングしたい静止画を選び、[オプション]ボタンを押す**

2 **“ダビングする”を選び、[決定]ボタンを押す**

3 **"静止画をダビングする"の手順 3～5 を実行する**

メモ:
- 再生ナビで付けていたチェックマークは、静止画の選択画面でもチェックマークが付いたままになります。

■ ダビングを中止したいときは

ダビング開始前に中止したい場合
- メニューの“中止”を選び[決定]ボタンを押すと、ダビングを中止します。
- [戻る]ボタンを押すと、ダビングを中止して、元の画面に戻ります。

ダビング中に中止したい場合
- [オプション]ボタンを押し、ダビング中止メニューより“ダビング中止”を選び、[決定]ボタンを押します。その場合、中止したところまでディスクに書き込まれます。

他の機器で再生できるようにする(ファイナライズ)

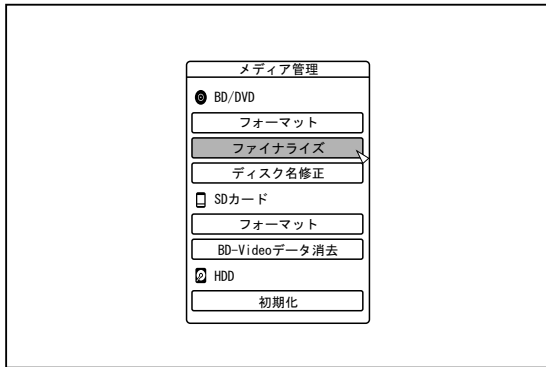
DVD-R または DVD-RW を他の DVD プレーヤーで再生するには、ファイナライズをする必要があります。

メモ:
- ビデオモードのディスクは、タイトルメニュー付きの DVD ビデオになります。
- DVD ビデオを機器に入れたときのディスク動作を設定して、ファイナライズできます。
- ファイナライズを行うと、録画や編集などはできなくなります。
- VR モードで記録した DVD をファイナライズした場合は、VR モード対応の機器でのみ再生できます。

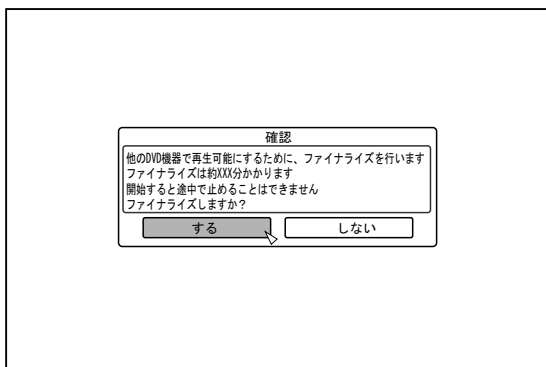
ファイナライズを実行する

1 ファイナライズする BD または DVD をディスクトレイにセットする

2 リモコンの[メディア管理]ボタンを押す

- メディア管理のメニュー画面が表示されます。

3 "BD/DVD"の"ファイナライズ"の項目を選ぶ

4 "する"を選び[決定]ボタンを押す

- トップメニュー設定の画面が表示されます。

メモ:
- "しない"に合わせて[決定]ボタンを押すと、ファイナライズの実行を中止します。

5 トップメニューの各項目を設定する

- ファイナライズする前に"ファーストプレイ"、"リピート"および"ディスクメニュー背景変更"を設定します。下記手順に従って設定してください。

① "ファーストプレイ"を選び、ファーストプレイ設定の項目を選ぶ

- ファイナライズしたディスクを他の機器に入れたときのディスク動作を設定します。

なし　　　　　: ファイナライズしたディスクを他の機器に入れたときに、自動再生されません。

トップメニュー: ファイナライズしたディスクを他の機器に入れたときに、メニューが自動で再生されます。

タイトル 1　　: ファイナライズしたディスクを他の機器に入れたときに、タイトル 1 が自動で再生されます。

② "リピート"を選び、リピート設定の項目を選ぶ

- すべてのタイトルが再生された後のディスク動作を設定します。

切 : すべてのタイトルが再生されたあとに、メニューで停止します。

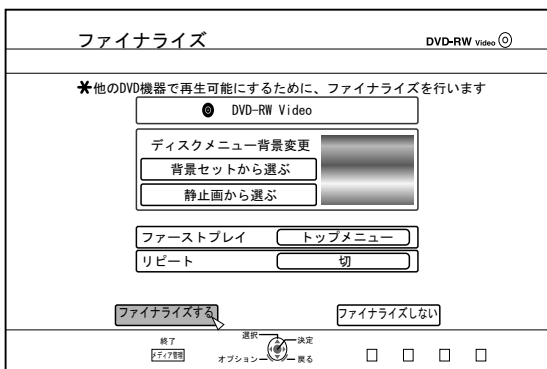
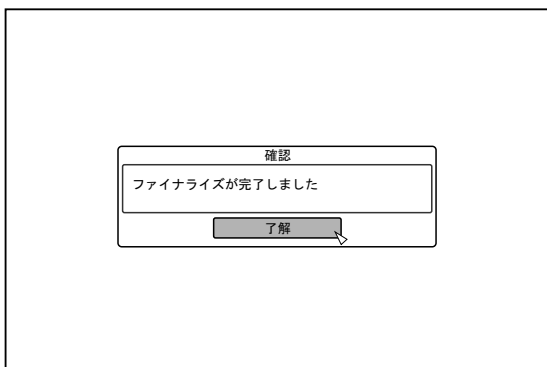
入 : すべてのタイトルが再生されたあとに、タイトル 1 から自動でリピート再生します。

他の機器で再生できるようにする(ファイナライズ) (つづき)

③“ディスクメニュー背景変更”を選び、トップメニューの背景画像を選ぶ

- お好みの背景画像を登録して、使用することができます。

メモ:
- “ファーストプレイ”、“リピート”および“ディスクメニュー背景変更”の項目は、"タイトルを HDD から BD/DVD へダビングする" (☞40 ページ) ときにも設定することができます。

6 “ファイナライズする”を選び、[決定]ボタンを押す

- ファイナライズが実行されます。
- ファイナライズが完了すると、“ファイナライズが完了しました”のメッセージがモニターに表示されます。

ファイナライズを解除する

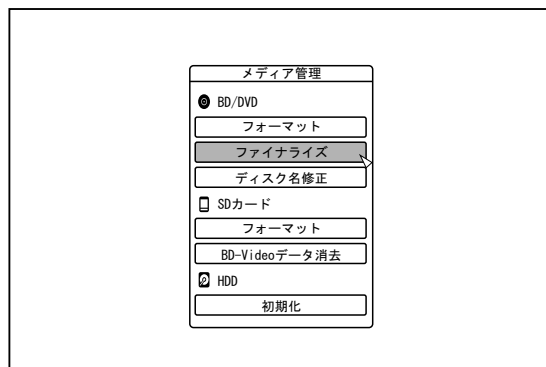
本機でファイナライズした DVD-RW に限り、ファイナライズを解除することができます。
ファイナライズを解除すると、新たにタイトルの追加および編集が可能になります。

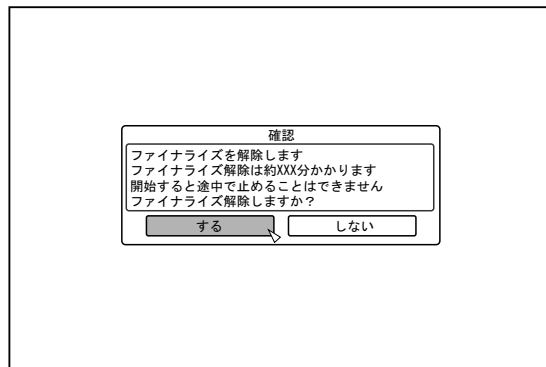
ご注意:
- DVD-RW(VR モード)以外のディスクは、ファイナライズの解除ができません。

■ ファイナライズを解除するには

1 本機でファイナライズした DVD-RW をディスクトレイにセットする

2 リモコンの[メディア管理]ボタンを押す

- メディア管理のメニュー画面が表示されます。

3 “BD/DVD”の“ファイナライズ”の項目を選ぶ

4 “する”に合わせて[決定]ボタンを押す

- ファイナライズの解除が実行されます。
- ファイナライズの解除が終了すると、“ファイナライズ解除が完了しました”とモニターに表示されます。

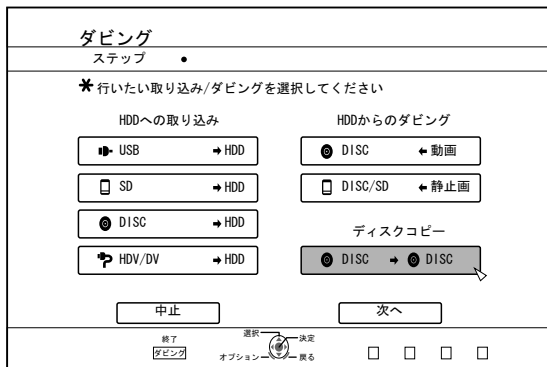
丸ごとディスクコピーする

丸ごとディスクコピーは、BD(BDMV)および DVD(AVCHD, DVD-Video)のコンテンツをすべて別のディスクにコピーできます。

ご注意:

- フォーマットされた BD-R および DVD-R にコピーできません。フォーマットされてないディスクを使用してください。
- コピー元のディスクが BD のときは、コピーするディスクは BD-R または BD-RE を使用してください。DVD のときは、DVD-R または-RW を使用してください。
- コピーするディスクはコピー実行時にフォーマットされます。BD-RE、DVD-RW を使用するときは記録済みでないか、消去してもよいディスクかを確認してから使用してください。
- BD の場合は、ボリュームラベルがコピーされません。
- 未対応のディスクをセットした場合は、モニターに"このディスクは取り込みできません"または"このディスクにはコピーできません 別のディスクを入れてください"と表示されます。本機に対応したディスクを使用してください。
- 本機に対応したディスクについて、詳しくは"ダビング/再生できるディスク" (☞9 ページ) および"再生のみできるディスク" (☞9 ページ) を参照してください。

1 リモコンの[ダビング]ボタンを押す

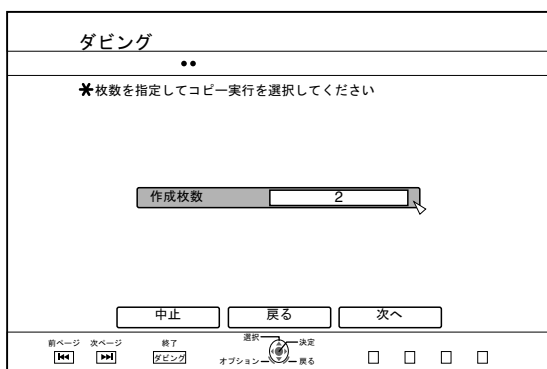
- ダビング画面が表示されます。

2 "DISC⇨DISC"を選び、[決定]ボタンを押す

- 丸ごとディスクコピーのメニュー画面が表示されます。

メモ:

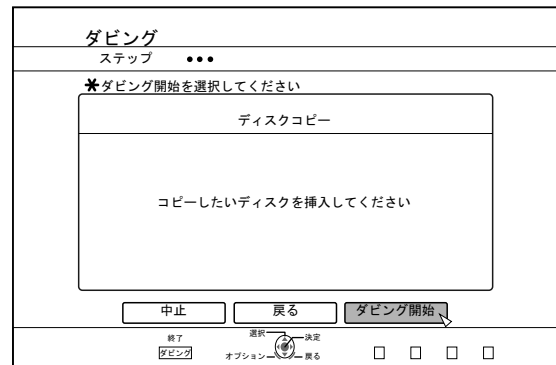
- 丸ごとディスクコピーは内蔵 HDD へ一時的にコピーします。
- 著作権が保護されていないディスクのみ、コピーできます。

3 コピーする枚数を[▲ / ▼]ボタンで設定する

- 最大で 10 枚まで設定できます。

4 "次へ"を選び、[決定]ボタンを押す

- ディスクトレイが自動で開きます。

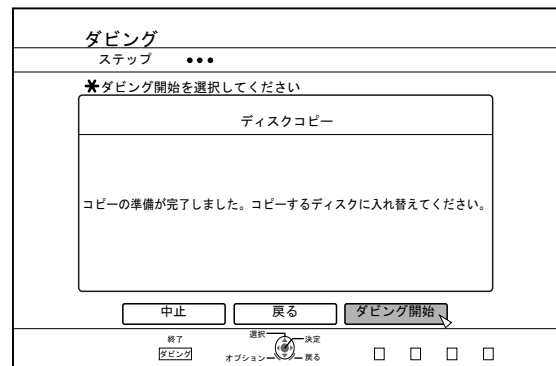
5 コピー元の BD または DVD をディスクトレイにセットする

6 "ダビング開始"を選び、[決定]ボタンを押す

- ディスクトレイを自動で閉じます。コピー元の BD または DVD を認識して、内蔵 HDD へのコピーを実行します。
- コピーが完了するとディスクトレイが自動で開き、"コピーの準備が完了しました。コピーするディスクに入れ替えてください。"とモニターに表示されます。

メモ:

- コピーが中断した場合は、内蔵 HDD の空き容量を確認してください。

7 コピーしたい BD または DVD をディスクトレイにセットする

8 "ダビング開始"を選び、[決定]ボタンを押す

- ディスクトレイを自動で閉じます。BD または DVD を認識して、HDD にコピーした内容を、ディスクにコピーします。

メモ:

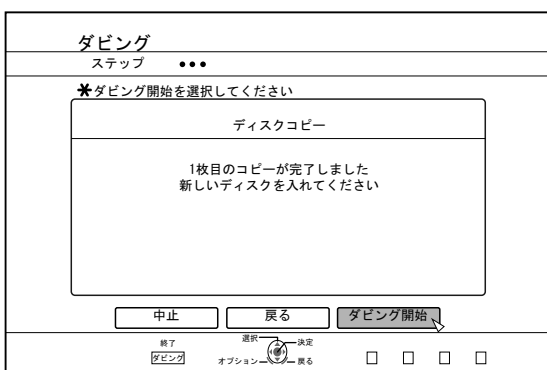
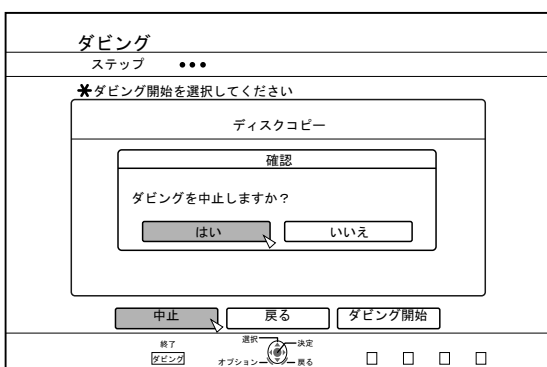
- コピーするディスクの空き容量が足りない場合は、コピーが実行されません。

丸ごとディスクコピーする(つづき)

9 丸ごとディスクコピーを終了する

- コピーが完了するとトレイが自動的に開き、丸ごとディスクコピーを終了します。

メモ:

- 手順 3 で設定した枚数のコピーが完了するまで、ディスク入れ換えの画面が繰り返して表示されます。ディスクトレイの BD または DVD を入れ換えて、“ダビング開始”を選び[決定]ボタンを押してください。

- コピーが完了すると、HDD にコピーしたデータは消去されます。
- メニューの“中止”を選び[決定]ボタンを押すと、ディスクコピーを中止します。

ディスクに直接記録する

Optical disc に直接、外部機器からの映像を録画することができます。

1 リモコンの[BD/SD]ボタンを押し、録画先に“BD”を指定する

2 本体またはリモコン[⏏]ボタンを押し、DISC をトレイにセットする

3 DISC をフォーマットする

- フォーマットについて、詳しくは"フォーマット(初期化)する" (☞26 ページ) をご覧ください。

4 本体またはリモコンの[INPUT SELECT]ボタンを押し、録画したい映像を出力する

5 本体またはリモコンの[●]ボタンと[▶]ボタンを同時に押し、録画を開始する

メモ:

- 対応 DISC は BD-R/RE、DVD-R/RW です。
- BD-R/RE は、BDAV フォーマットをしてください。
- BDMV フォーマットのディスクには記録できません。
- DVD-R/RW は、VR フォーマットをしてください。
- DVD-Video フォーマットのディスクには記録できません。

外部入力からの録画について

外部入力(SDI または HDV/DV または L-1)からの映像を HDD および BD/DVD へ記録できます。

メモ:

- 著作権が保護されていないタイトルのみ、録画/取り込みできます。
- 記録メディアにより録画可能な外部入力に制限があります。詳しくは"録画可能メディア" (☞50 ページ) を参照してください。

1 再生先を選択する

2 リモコンの[入力切換]ボタンを押し、外部入力(SDI または HDV/DV または L-1)を選択する

3 [録画モード]ボタンを押し、録画モードを選択する

4 リモコンの[●]ボタンと[▶]ボタンを同時に押し、録画を開始する

- 本体の[●]ボタンを押しても、録画を開始します。

5 i.LINK(HDV/DV)、映像/S映像入力(L1)または SDI 入力に外部機器を操作して、録画したい映像を出力する

6 本体またはリモコンの[■]ボタンを押して表示されるポップアップ画面で、“録画停止”を選び[決定]ボタンを押す

- 録画を終了します。

メモ:

- ビデオカメラを i.LINK に接続して映像を録画する場合、ビデオカメラが撮影モードで、ビデオカメラに DV テープが入っていると、録画が停止する場合があります。その場合は DV テープを取り出して録画してください。
- 最大録画時間に到達した場合、またはメディアが容量不足になった場合は、録画を停止します。
- HDV コンテンツの場合は、選択した録画モードではなく "DR"で録画されます。
- 連続最大録画時間

  HDD　　：24 時間(*1)

  DVD-RW：8 時間

  BD-RE　：8 時間

  *1: 8 時間ごとにタイトルが自動で分割されます。分割点の数秒間は録画されません。

  録画モードによる録画可能時間については、"録画モードによる録画可能時間" (☞29 ページ) を参照してください。

■ SDI 入力信号が録画可能かを確認するには

1 リモコンの[OPTION]ボタンを押し、“SDI 入力信号”を選択する

SDI 入力信号の詳細画面が表示されます。

2 “録画”に“可能”と表示されていることを確認する

“不可能”と表示されているときは録画できません。

メモ:

- ボタンを押してから録画が開始されるまでに若干の時間がかかります。

外部入力からの録画について(つづき)

■ 録画可能メディア

録画モード	録画可能メディア		
	HDD	DVD-R/RW （VR フォーマット）	BD-R/RE （BD-AV フォーマット）
DR	HDV	-	HDV
AF（HD）	-	-	-
AN（HD）	-	-	-
AL（HD）	-	-	-
AE（HD）	-	-	-
XP（SD）	SD-SDI/DV/L-1	SD-SDI/DV/L-1	SD-SDI/L-1
SP（SD）	SD-SDI/DV/L-1	SD-SDI/DV/L-1	SD-SDI/L-1
LP（SD）	SD-SDI/DV/L-1	SD-SDI/DV/L-1	SD-SDI/L-1
EP（SD）	SD-SDI/DV/L-1	SD-SDI/DV/L-1	SD-SDI/L-1
DR1(HD)	HD-SDI	-	HD-SDI
DR2(HD)	HD-SDI	-	HD-SDI
DR3(HD)	HD-SDI	-	HD-SDI
DR4(HD)	HD-SDI	-	HD-SDI

■ 記録可能な入力 SDI 信号と出力可能な SDI 信号

画像解像度	入力		出力	
	HD-SDI	SD-SDI	HD-SDI	SD-SDI
720x480/59.94i	-	✓	-	✓
1280x720/59.94p	✓	-	✓	-
1920x1080/23.98p	✓	-	-	-
1920x1080/23.98psf	✓	-	-	-
1920x1080/59.94i	✓	-	✓	-

メモ:
- 入力信号が、“23.98p/23.98psf”の場合、出力信号は“59.94i”となります。
- 入力信号が、“23.98p/23.98psf”の場合、“59.94i”として録画されます。

再生について

内蔵の HDD に保存した映像や編集した映像、ディスクや SD カードに保存された映像を本機で再生して確認できます。
本機で再生可能なメディアについては、下記を参照してください。

- 内蔵の HDD に保存した動画・静止画
- 各種ディスクに記録されている動画
- "Everio ライター"で作成したバックアップディスクの動画・静止画；
- SD カードに記録されている動画・静止画

本機に搭載された"再生ナビ"を使用すると、簡単に再生する事ができます。
"再生ナビ"については、"再生ナビを使用する" (☞51 ページ) を参照してください。

メモ:
- 本機は DivX 動画には対応しておりません。
- AVCHD をサムネイルで表示したときに、動画の解像度によっては左右が縮小され黒帯のつく場合があります。
- SD カードに記録された MOV*ファイルを、再生ナビで表示する場合は、リスト表示をお使いください。サムネイル表示では表示されません。
  SD カードからは直接再生できませんので、再生する場合はファイルを HDD に取り込んでください。
- SD カードから MOV* ファイルを取り込む場合は、"SD カードから HDD へ取り込む" (☞36 ページ) を参照してください。

MOV* ： JVC ProHD カムコーダー GY-HM750/150 で撮影した MOV 形式（SP モードおよび HQ モード）

再生ナビ画面での表示マーク

アイコン	マーク名	説明
	保護マーク	保護設定したタイトルなどに表示されます。
	モード変換予約マーク	モード変換予約されているタイトルに表示されます。
	未視聴マーク	未視聴のタイトルや未視聴タイトルが入っているグループに表示されます。
	部分削除マーク	部分削除またはチャプター削除されたタイトルに表示されます。
	グループマーク	グループに表示されます。
	プレイリストマーク	プレイリストに表示されます。
	再生不可マーク	再生できないタイトルに表示されます。
	？マーク	サムネイルを表示できないタイトルに表示されます。再生できない場合があります。

再生ナビを使用する

本機に搭載された"再生ナビ"を使用すると、簡単に再生でき、動画を確認できます。

再生ナビ画面を表示する

1 再生先を選択する

- リモコンの[HDD]ボタンを押す
  HDD に保存された映像や静止画を再生したいときに、実行します。
- リモコンの[BD/SD]ボタンを押す。
  BD/DVD または SD カードに保存された映像や静止画を再生したいときに、実行します。

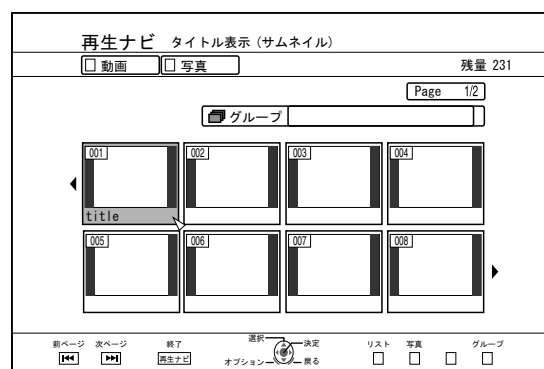
2 リモコンの[再生ナビ]ボタンを押す

- 再生ナビ画面が表示されます。

メモ:
- [BD/SD]ボタンを押すたびに、BD/DVD と SD に再生先が切り換わります。
- 再生ナビ画面が表示されているときに、[HDD]または[BD/SD]ボタンを押しても、再生先を切り換えられます。

再生ナビを操作する

■ 動画/静止画を再生する

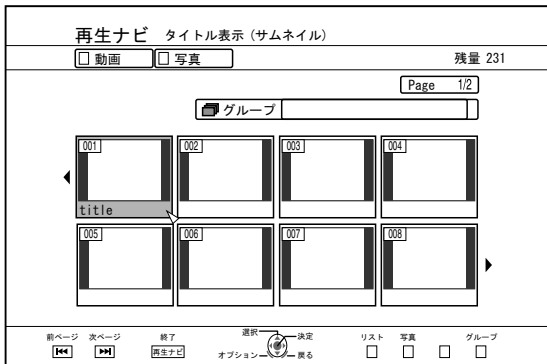
選んだ動画/静止画を再生します。

- 再生するタイトルを選び、[決定]または[▶]ボタンを押すと、選んだ動画/静止画が再生します。

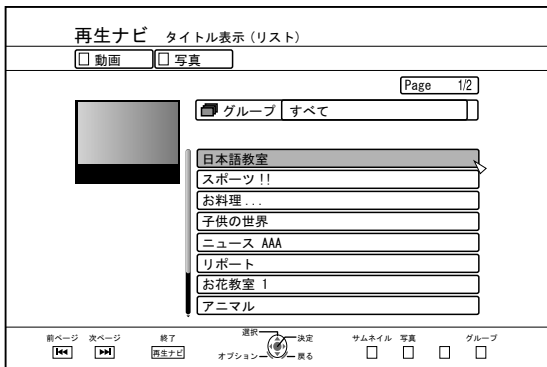
メモ:
- グループを選び[決定]ボタンを押すと、グループに含まれているタイトルが表示されます。

再生ナビを使用する (つづき)

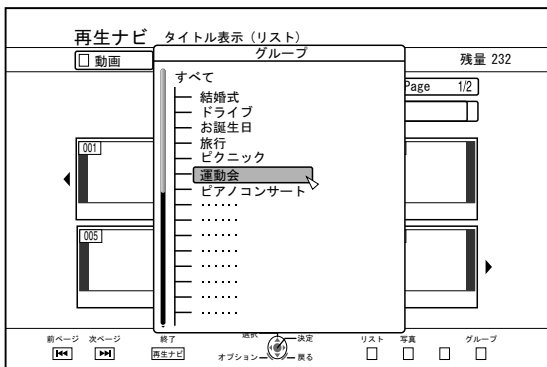
■ サムネイル表示とリスト表示を切り換える

動画のサムネイル表示とリスト表示を切り換えられます。

- 動画サムネイル一覧画面の場合

[青]ボタンを押すと、タイトルリスト一覧画面が表示されます。

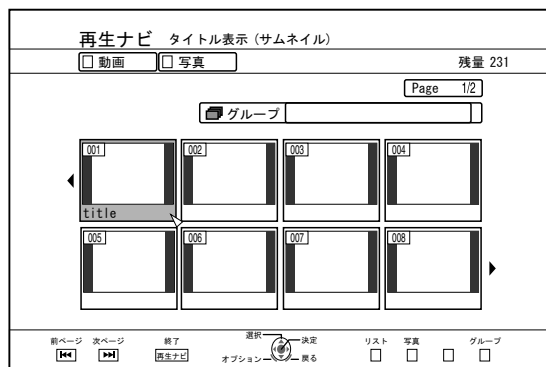
- タイトルリスト一覧画面の場合

[青]ボタンを押すと、動画サムネイル一覧画面が表示されます。

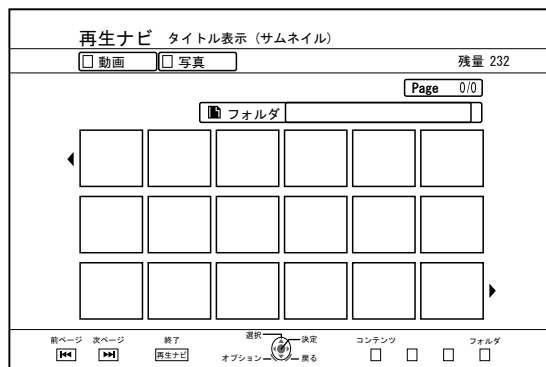
■ グループ/フォルダを表示する

グループ/フォルダ画面を表示できます。

[黄]ボタンを押すと、グループ/フォルダ画面が表示されます。

■ 動画と静止画の表示を切り換える

動画サムネイル一覧画面と静止画サムネイル画面を切り換えられます。

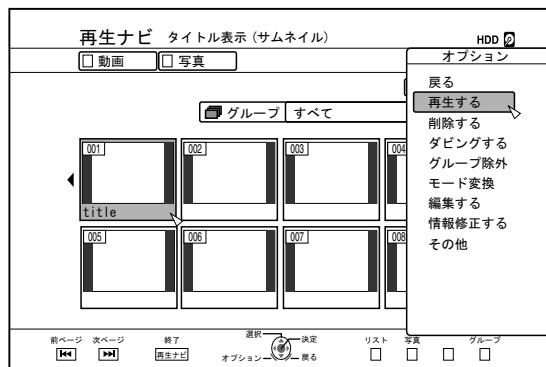
- 動画サムネイル一覧画面の場合

[赤]ボタンを押すと、静止画サムネイル一覧画面が表示されます。

- 静止画サムネイル一覧画面の場合

[青]ボタンを押すと、動画サムネイル一覧画面が表示されます。

■ オプションメニューを表示する

オプションメニューを表示し、選択しているタイトル/グループの“戻る”、“再生する”、“削除する”、“ダビングする”、“グループ化”、“グループ解除”、“グループ除外”、“モード変換”、“編集する”、“情報修正する”および“その他”の操作ができます。

1 タイトル/グループを選び、[オプション]ボタンを押す

- オプションメニューが表示されます。

2 操作する項目を選び、[決定]ボタンを押す

- 操作ができない項目は、グレーで表示され選択できません。

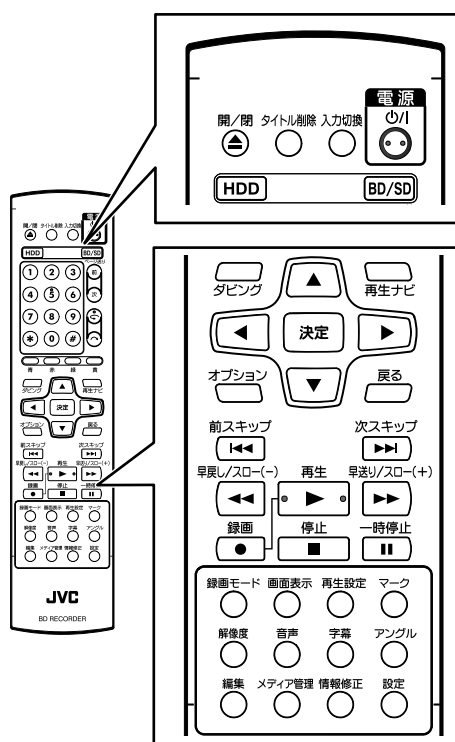
オプションメニューの項目については、"オプションメニュー一覧" (☞53 ページ) を参照してください。

オプションメニュー一覧

- 戻る
  元の画面に戻ります。
- 再生する
  選択しているタイトル/グループを再生します。
  再生中のボタン操作については、"動画再生を操作する" (☞54 ページ) を参照してください。
- 削除する
  選択しているタイトル/グループを削除します。
  詳しくは、"タイトル/グループを削除する" (☞66 ページ) を参照してください。
- ダビングする
  選択しているタイトル/グループをダビングします。
  詳しくは、"ダビング/取り込みについて" (☞24 ページ) を参照してください。
- グループ化
  選択しているタイトル/グループをグループ化します。
  詳しくは、"グループ化する" (☞64 ページ) を参照してください。
- グループ解除
  選択しているグループをグループ解除します。
  詳しくは、"グループを解除する" (☞64 ページ) を参照してください。
- グループ除外
  選択しているタイトルをグループ除外します。
  詳しくは、"グループから除外する" (☞65 ページ) を参照してください。
- モード変換
  選択しているタイトル/グループのモードを変換します。
  詳しくは、"モード変換する" (☞77 ページ) を参照してください。
- チャプター表示
  選択しているタイトルのチャプターを表示します。
- 編集する
  サブ項目のメニュー画面に切り換わります。
  - チャプター編集
    選択しているタイトルのチャプター編集画面に切り換わります。
    詳しくは、"チャプターを編集する" (☞71 ページ) を参照してください。
  - プレイリスト編集
    選択しているタイトルのプレイリスト編集画面に切り換わります。
    詳しくは、"プレイリストを作成する" (☞69 ページ) を参照してください。
  - 部分削除
    選択しているタイトルの部分削除画面に切り換わります。
    詳しくは、"部分削除する" (☞74 ページ) を参照してください。
  - 分割
    選択しているタイトルの分割画面に切り換わります。
    詳しくは、"分割する" (☞73 ページ) を参照してください。
- 情報修正する
  サブ項目のメニュー画面に切り換わります。
  - タイトル名変更/グループ名変更
    選択しているタイトル名/グループ名の修正画面に切り換わります。
    詳しくは、"タイトル/グループの名前を変更する" (☞66 ページ) を参照してください。
  - サムネイル修正
    選択しているタイトルのサムネイル修正画面に切り換わります。
    詳しくは、"サムネイルの編集をする" (☞70 ページ) を参照してください。
  - 撮影日時変更
    選択しているタイトルの録画日変更の画面に切り換わります。
    詳しくは、"撮影日時の変更をする" (☞76 ページ) を参照してください。
  - 保護
    選択しているタイトル/グループの保護画面に切り換わります。
    詳しくは、"タイトル/グループを保護する" (☞67 ページ) を参照してください。
  - 保護解除
    選択しているタイトル/グループの保護解除の画面に切り換わります。
    詳しくは、"タイトル/グループの保護を解除する" (☞68 ページ) を参照してください。
- その他

その他項目のメニュー画面に切り換わります。

  - チャプター表示
  - 詳細情報
  - サムネイル
  - リスト
  - 動画
  - 写真
  - グループ選択
  - フォルダ選択
  - コンテンツ

動画再生を操作する

よく使用するボタン操作

■ [▶]ボタン

- 停止位置(リジュームポイント)が記憶されている映像のタイトルに合わせてボタンを押すと、停止位置(リジュームポイント)から再開して動画を再生します。
  メディアおよび設定によってリジュームしない場合があります。詳しくは、"リジューム" (☞81 ページ) を参照してください。
- 一時停止(スチル)の場合は、ボタンを押すと再生します。

■ [■]ボタン

- ボタンを押すと、停止位置(リジュームポイント)を記憶して再生を停止します。
- 再生を停止した後に続けてボタンを押すと、停止位置(リジュームポイント)を消去します。

■ [❚❚]ボタン

- ボタンを押すと、再生を一時停止します。

■ [▶▶]ボタン

- 再生中にボタンを 1 回押すと、1.3 倍速の音声付き再生に切り換わります。
- 1.3 倍速再生中または早送り中にボタンを押すと、早送りします。
  サーチ速度はボタンを押すたびに切り換わります。
  (5 倍速 ⇨10 倍速 ⇨30 倍速 ⇨60 倍速)

メモ:
- サーチ、スロー速度は目安です。

- 一時停止中にボタンを押すと、コマ送りします。
- 一時停止中にボタンを長押しすると、スロー再生します。
  スロー再生中にボタンを押すと、再生速度がボタンを押すたびに切り換わります。
  (1/24 倍速 ⇨1/16 倍速 ⇨1/8 倍速 ⇨1/2 倍速)

■ [◀◀]ボタン

- 通常再生中、1.3 倍速再生中、早送り中または早戻し中にボタンを押すと、早戻しします。
  サーチ速度はボタンを押すたびに切り換わります。
  (1 倍速 ⇨5 倍速 ⇨10 倍速 ⇨30 倍速)
- 一時停止中にボタンを押すと、逆コマ送りします。
- 一時停止中にボタンを長押しすると、逆スロー再生します。
  スロー再生中にボタンを押すと、再生速度がボタンを押すたびに切り換わります。
  (1/24 倍速 ⇨1/16 倍速 ⇨1/8 倍速 ⇨1/2 倍速)

メモ:
- サーチ、スロー速度は目安です。

■ [▶▶❙] / [❙◀◀]ボタン

- ボタンを押すと、チャプターの位置に移動します。

■ [マーク]ボタン

- ボタンを押すと、タイトルにチャプターマークを追加できます。

■ [ ]ボタン

- 通常再生中、1.3 倍速再生中、スロー再生中、早送りまたは早戻し中にボタンを押すと、再生位置を約 30 秒、先に移動させます。
  続けてボタンを押すと、押した回数分移動します。
- 移動後に通常再生になります。1.3 倍速再生中に押した場合は、移動後に 1.3 倍速再生を続けます。
  ディスクやコンテンツによっては、通常再生になる場合があります。
- 一時停止中にボタンを押すと、一時停止位置を約 30 秒、先に移動させて一時停止を継続します。

■ [ ]ボタン

- 通常再生中、1.3 倍速再生中、スロー再生中、早送りまたは早戻し中にボタンを押すと、再生位置を約 7 秒、前に移動させます。
  続けてボタンを押すと、押した回数分移動します。
- 移動後に通常再生になります。1.3 倍速再生中に押した場合は、移動後に 1.3 倍速再生を続けます。
  ディスクやコンテンツによっては、通常再生になる場合があります。
- 一時停止中にボタンを押すと、一時停止位置を約 7 秒、前に移動させて一時停止を継続します。

■ [HDD]ボタン

- "BD/DVD"または"SD カード"の動画を再生している場合は、ボタンを押すと再生中の動画を停止して、HDD モードに切り換わります。
  再生ナビ画面でボタンを押すと、HDD モードの再生ナビ画面に切り換わります。

■ [BD/SD]ボタン

- "BD/DVD"または"SD カード"の動画を再生している場合は、ボタンを押すと再生中の動画を停止して、"BD/DVD"と"SD カード"を切り換えます。
  再生ナビ画面でボタンを押すと、切り換え先の再生ナビ画面に切り換わります。"HDD"の動画を再生している場合は、ボタンを押すと再生中の動画を停止して、BD/DVD モードに切り換わります。

メモ:
- 再生可能な動画または静止画が記録された SD カードが挿入されている場合のみ、SD モードに切り換わります。

知っておくと便利なボタン操作

■ [再生設定]ボタン

- 再生設定画面が表示され、設定の変更ができます。
  詳しくは"再生設定を変更する"を参照してください。

■ [オーディオ]ボタン

- 音声チャネルを切り換えができます。

■ [字幕]ボタン

- 字幕の切り換えができます。

■ [アングル]ボタン

- アングルの切り換えができます。

メモ:
- 再生する動画に収録されてない場合は、[オーディオ]、[字幕]または[アングル]ボタンを押しても切り換えができません。

BD/DVDの動画を再生する

BD/DVD をセットすると、オート再生が始まります。
オート再生が設定されて無い場合は、再生ナビを使用して、タイトルを再生します。

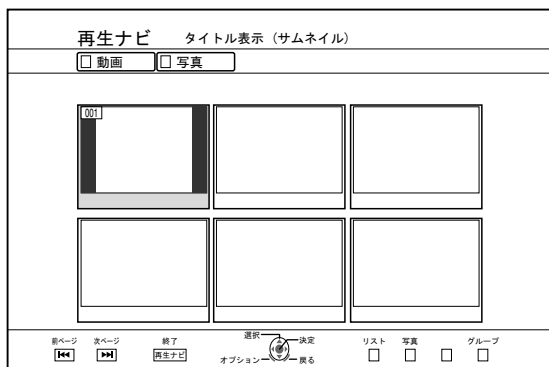
メモ:
- 再生中のボタン操作については、"動画再生を操作する" (☞54 ページ) を参照してください。

オート再生が設定されているディスクを再生する

1 BD または DVD をディスクトレイにセットする
- オート再生が始まります。

オート再生が設定されていないディスクを再生する

1 BD または DVD をディスクトレイにセットする

2 [再生ナビ]ボタンを押す
- 再生ナビ画面が表示されます。

3 タイトルを選び、[決定]ボタンで再生する
- 選んだタイトルが再生されます。

メモ:
- 再生先が HDD または SD の場合は、リモコンの[BD/SD]ボタンを押して再生先を BD/DVD に切り換えてください。
- 再生ナビを起動しなくても再生できます。
  [▶]ボタンを押すと、ディスクを停止位置（リジュームポイント）から再生します。
  停止位置(リジュームポイント)が記憶されていない場合、および "リジューム" の設定が "切" の場合は、ディスクの先頭から再生します。

EverioBackup ディスク*を再生する

EverioBackup ディスク* ： Everio 用 DVD ライターで、ハイビジョン映像を MPEG2 方式で記録したデータディスク

1 ディスクをディスクトレイにセットする

2 [再生ナビ]ボタンを押す
- 再生ナビ画面が表示されます。

3 タイトルを選び、[決定]ボタンで再生する
- 選んだタイトルが再生されます。
  選んだタイトルが最後まで再生すると、次のタイトルがオート再生されます。

メモ:
- 再生先が HDD または SD カードの場合は、リモコンの[BD/SD]ボタンを押して再生先を BD/DVD に切り換えてください。
- 再生ナビを起動しなくても再生できます。
  [▶]ボタンを押すと、撮影日付の古い順にタイトルを再生します。

PC で作成した動画ディスクを再生する

PC で作成した動画を保存したディスクは、再生ナビを使用してタイトルを再生します。

1 ディスクをディスクトレイにセットする

2 [再生ナビ]ボタンを押す
- 再生ナビ画面が表示されます。

3 タイトルを選び、[決定]ボタンで再生する
- 選んだタイトルが再生されます。

メモ:
- 再生できるフォーマットは、BDAV、BDMV、DVD-Video および DVD-VR（CPRM 対応）です。
- 再生先が HDD または SD カードの場合は、リモコンの[BD/SD]ボタンを押して再生先を BD/DVD に切り換えてください。
- 再生ナビを起動しなくても再生できます。
  [▶]ボタンを押すと、ディスクを停止位置（リジュームポイント）から再生します。
  停止位置(リジュームポイント)が記憶されていない場合、および "リジューム" の設定が "切" の場合は、ディスクの先頭から再生します。
- 互換性の問題により再生できない場合があります。

HDDの動画を再生する

再生ナビを使用して、HDD に保存されたタイトルを再生します。
"タイトル"、"グループ"および"プレイリスト"から再生したい動画を選択できます。

メモ:

- 再生中のボタン操作については、"動画再生を操作する" (☞54 ページ) を参照してください。

HDD に保存されたタイトルを再生する

1 [再生ナビ]ボタンを押す

- 再生ナビ画面が表示されます。

2 再生するタイトルを選び、[▶]ボタンを押す

- 選んだタイトルが再生されます。

メモ:

- 再生先が“BD/DVD”または“SD カード”の場合は、リモコンの[HDD]ボタンを押して再生先を“HDD”に切り換えてください。
- グループに含まれる個別のタイトルを再生したい場合は、グループに合わせて[決定]ボタンを押し、個別のタイトルを選択してください。
- 再生ナビを起動しなくても再生できます。
  [▶]ボタンを押すと、一番最近に再生されたタイトルを再生します。
  再生されたタイトルがない場合は、撮影日が一番新しいタイトルを再生します。

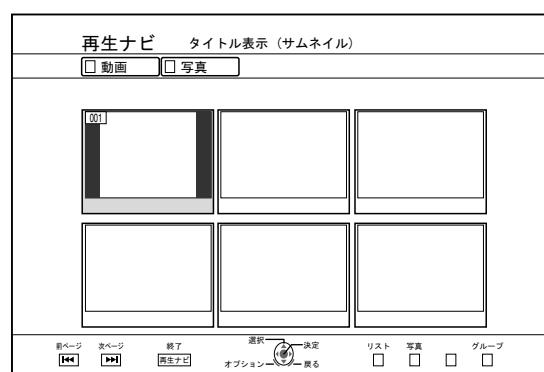
SDカードの動画を再生する

再生ナビを使用して、SD カードに保存されたタイトルを再生します。
"タイトル"から再生したい動画を選択できます。

1 SD カードを[SD]スロットに挿入する

- SD カードを認識すると、再生先を“SD カード”に切り換わります。

2 [再生ナビ]ボタンを押す

- 再生ナビ画面が表示されます。

3 タイトルを選び、[決定]ボタンで再生する

- 選んだタイトルが再生されます。

メモ:

- SD カードに記録された AVCHD ファイルの再生ナビでの表示は、シーン(チャプター)ごとではなく、まとまったタイトル単位で表示されます。日付ごと、録画モードの切変わり目、シーン数等でタイトル単位にまとめられます。タイトルの表示にはサムネイル表示をお使いください。リスト表示では表示されません。
- 再生できるフォーマットは、AVCHD と SD-VIDEO です。AVCHD をサムネイルで表示したときに、動画の解像度によっては左右が縮小され黒帯のつく場合があります。
- SD カードに複数フォーマット(AVCHD, SD-VIDEO, MOV*)のファイルが含まれている場合、[青]ボタンを押して、表示したいフォーマットを選びます。
  MOV*：JVC ProHD カムコーダー GY-HM750/150 で撮影した MOV 形式（SP モードおよび HQ モード）
- 再生ナビを起動しなくても再生できます。
  [▶]ボタンを押すと、停止位置（リジュームポイント）から再生します。
  停止位置（リジュームポイント）が記憶されていない場合は、再生可能なコンテンツの先頭から再生します。
  “起動優先”を“切”に設定した場合は、電源を"OFF"にするとリジュームポイントが消えます。
- 再生中のボタン操作については、"動画再生を操作する" (☞54 ページ) を参照してください。

静止画(JPEG)を再生する

再生ナビを使用して、HDD/BD/DVD/SD カードに保存された静止画を再生します。

静止画を再生する

1 再生先を選択する

HDD : 再生先が"BD/DVD"または"SD カード"の場合は、リモコンの[HDD]ボタンを押して再生先を"HDD"に切り換えてください。

BD/DVD : 再生先が"HDD"または"SD カード"の場合は、リモコンの[BD/SD]ボタンを押して再生先を"BD/DVD"に切り換えてください。

SD : 再生先が"HDD"または"BD/DVD"の場合は、リモコンの[BD/SD]ボタンを押して再生先を"SD カード"に切り換えてください。

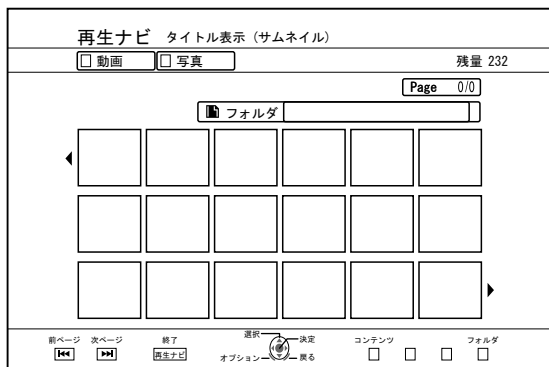
2 メディアをセットする

- "HDD"以外を再生したい場合は、静止画が保存されているメディアをセットしてください。

BD/DVD : BD または DVD をディスクトレイにセットします

SD : SD カードを[SD]スロットに挿入します

3 再生する静止画を選び、[▶]ボタンを押す

- 選んだ静止画がスライドショーで表示されます。

メモ:
- スライドショーはファイルの日付順に再生します。
- フォルダがある場合は、選択したフォルダ内を再生します。
- 再生設定メニューで"リピート"、"スライドショー間隔"、"スライドショー効果"を設定できます。
  詳しくは"再生設定"の"リピート" (☞59 ページ) 、"スライドショー間隔" (☞59 ページ) および"スライドショー効果" (☞60 ページ) を参照してください。

静止画の再生中に可能なボタン操作について

■ [▶]ボタン

- タイトル/グループに合わせて押すと、タイトル/グループの静止画をスライドショーを開始します。

■ [■]ボタン

- ボタンを押すと、スライドショーを停止して、再生ナビの画面に移動します。

■ [❚❚]ボタン

- ボタンを押すと、スライドショーを一時停止します。

■ [|◀◀] / [▶▶|]ボタン

- ボタンを押すと、1 つ前/1 つ後ろの静止画を表示します。

■ [⏻/I]ボタン

- ボタンを押すと、静止画の再生を終了して、電源を「切」にします。

メモ:
- 一時停止中は、以下のボタンで静止画をズームや回転させて見ることができます。
  - [↶] / [黄]ボタン
    静止画を反時計回りに 90°回転します。
  - [↷] / [緑]ボタン
    静止画を時計回りに 90°回転します。
  - [決定] / [赤]ボタン
    静止画を拡大します。
  - [戻る] / [青]ボタン
    拡大した静止画を縮小します。
  - [▲ / ▼ / ◀ / ▶]ボタン
    拡大した静止画の表示位置をボタンの向きに移動します。
- 本機には静止画の編集機能がありません。ズームや回転させた状態で、静止画を保存できません。
- "BD/DVD"と"SD カード"では、再生可能な静止画が入っている方が優先して表示されます。
  "BD/DVD"と"SD カード"の両方に入っている場合は、最後に起動した方が優先して表示されます。

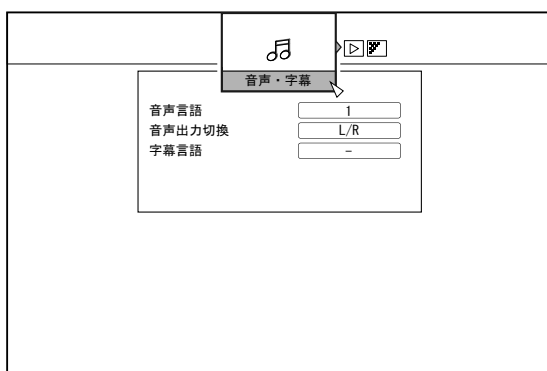
再生設定を変更する

再生設定メニューを表示する

1 タイトルの再生中にリモコンの[再生設定]ボタンを押す

- 設定メニュー画面が表示されます。
- 再生設定メニューは、タイトルの再生中でのみ表示できます。
- 再生設定メニューは、再生されているタイトルに対応した項目のみが設定できます。
グレーで表示された項目は設定できません。

再生設定メニュー

音声・字幕

メモ:
- “音声・字幕”は映像コンテンツに含まれているときにのみ、表示されます。また、設定値はコンテンツによって異なります。コンテンツに含まれてない項目は、設定できません。

■ 音声言語

■ 音声出力切換

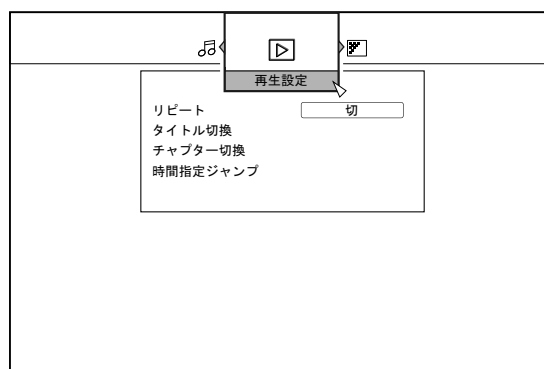
■ 信号切換 （BD-ROM）

- プライマリビデオ
- プライマリオーディオ
- セカンダリビデオ
- セカンダリビデオ出力
- セカンダリオーディオ
- セカンダリオーディオ出力

■ 字幕言語

■ 字幕スタイル

■ アングル切換

再生設定

■ リピート

以下の項目が設定できます。
設定できない場合は、項目が表示されません。

設定値	内容
切	リピートを使用しません。
タイトル	再生中のタイトルでリピートします。
チャプター	再生中のチャプターでリピートします。
トラック	再生中のトラックでリピートします。
フォルダ	再生中のフォルダ内でリピートします。
オール	ディスク全体でリピートします。
A-B	設定した始点と終点を区間リピートします。 [決定]ボタンを押すと、表示されているシーンが始点（A点）に入力されます。早送りして[決定]ボタンを押すと、表示されているシーンが終点（B点）に入力されます。

■ タイトル切換

数値入力でタイトルを切り換えることができます。タイトルの数より大きい値は、入力できません。

■ チャプター切換

数値入力でチャプターを切り換えることができます。チャプターの数より大きい値は、入力できません。

■ 時間指定ジャンプ

時間入力で再生位置を移動することができます。再生できない時間を入力した場合は、移動しません。

■ スライドショー間隔

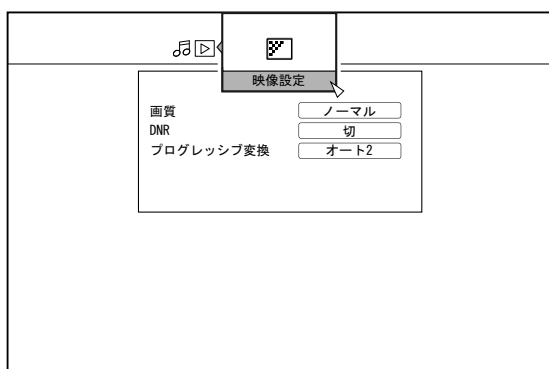
以下の項目が設定できます。
3 秒、5 秒、10 秒、20 秒または 30 秒

再生設定メニュー (つづき)

■ スライドショー効果

以下の項目が設定できます。

設定値	内容
切	スライドショー効果を使用しません。
入	スライドショー効果を使用します。スライドを切り換える時に、"フェードアウト"と"フェードイン"の処理を行います。

映像設定

■ 画質

以下の項目が設定できます。

設定値	内容
ノーマル	標準画質です。
シネマ	映画などの再生時に有効です。
ファイン	輪郭を強調させ、くっきりとした画像に調整します。
ソフト	ノイズが目立つ映像のときノイズを低減します。
ユーザー設定	詳細設定を有効にします。詳しくは"詳細設定"を参照してください。

■ 詳細設定

以下の項目が設定できます。
項目を選択し、[決定]ボタンを押すと各項目の値を設定できます。

設定値	内容
コントラスト	"-7"～"+7"までの値で設定できます。
ブライトネス	"0"～"15"までの値で設定できます。
シャープネス	"-6"～"+6"までの値で設定できます。
カラー	"-7"～"+7"までの値で設定できます。
ガンマ	"0"～"5"までの値で設定できます。

■ DNR

以下の項目が設定できます。

設定値	内容
切	DNR(デジタルノイズリダクション)を使用しません。
入	長時間モードで録画された映像などで見られるノイズを低減します。

■ プログレッシブ変換

以下の項目が設定できます。

設定値	内容
オート 1	フィルム素材に合わせて変換した映像が表示されます。
オート 2	"オート 1"に加え、30 コマ／秒で記録されたプログレッシブ映像にも対応します。
ビデオ	ビデオ映像(テレビ放送など)に最適です。動きの激しい映像やアニメ映像を再生するときに選択してください。

編集について

編集する前に

本機は HDD に保存した映像の編集をメインとしております。ディスクや SD カードに保存された映像を編集したい場合は、一度 HDD に取り込んでから編集してください。
ファイナライズされたディスクは編集できません。ファイナライズしたディスクを編集する場合は、ファイナライズを解除するか、HDD に取り込んでから編集してください。

メモ:
- ファイナライズの解除は、本機でファイナライズしたディスクのみ可能です。

メディアと編集可能な項目の対応について

映像が保存されているメディアによって、編集可能な項目が異なります。詳しくは下記のメディア対応表を参照してください。

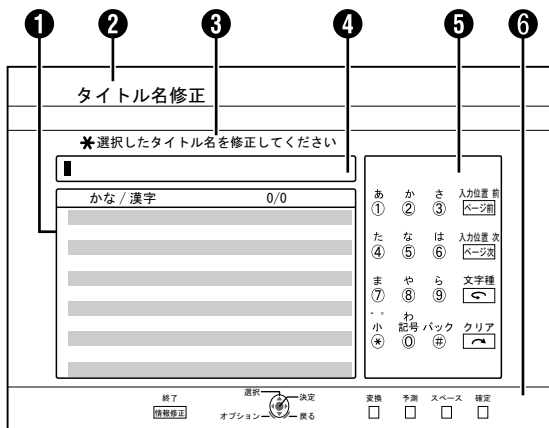
■ メディア対応表

編集項目	HDD	BD-R (BDAV)	BD-RE (BDAV)	DVD-RW/ DVD-R	SD	HDD/BD-RE/SD 静止画
グループ化する	○	-	-	-	-	-
タイトル/グループの名前を変更する	○	○	○	○	-	-
タイトル/グループを削除する	○	○	○	○	-	○
タイトル/グループを保護する	○	○	○	*1	-	○
タイトル/グループの保護を解除する	○	○	○	*1	-	-
プレイリストを作成する	○	-	-	-	-	-
サムネイルの編集をする	○	○	○	○	-	-
チャプターを編集する	○	*2	*2	*1, *2	-	-
分割をする	○	-	-	-	-	-
部分削除をする	○	-	-	-	-	-
ディスク名を変更する	-	○	○	○	-	-
撮影日時の変更をする	○	-	-	-	-	-

メモ:
*1 : "VR"モードおよび"AVCREC"モードのみ対応します。
*2 : チャプター分割および結合のみ対応します。

文字を入力する

保存した映像やグループ化したグループに名前を付けたり、名前の変更ができます。
文字入力は、モニターで確認しながらできます。

文字入力画面

❶ 予測変換候補窓

入力した文字に対する予測変換の候補が表示されます。

❷ 機能名欄

❸ 画面説明

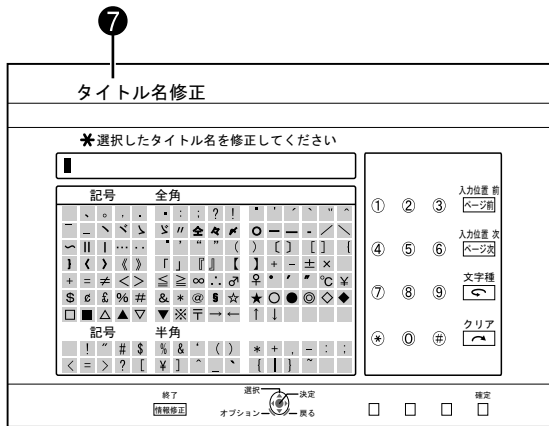
❹ 入力窓

入力した文字が入力窓に表示されます。

❺ 操作ガイド1

[0]-[9], [✱], [#], [ページ送り 前], [ページ送り 次], [ ]ボタンおよび[ ]ボタンの操作が表示されます。

❻ 操作ガイド2

[▲/▼/◀/▶], [決定], [戻る], [オプション], [青], [赤], [緑]ボタンおよび[黄]ボタンの操作が表示されます。

❼ 文字入力キーボード

記号入力のときに、文字入力キーボードが表示されます。
キーボードから文字を選択して、入力できます。

文字を入力する

1 [ ]ボタンを押して、"文字種"を選択する

2 [0]-[9]、[✱]または[#]ボタンで文字を入力する

- 濁点または半濁点は、文字の後に[✱]ボタンを押すと入力できます。

各ボタンと入力文字の対応については、"文字一覧表" (☞63ページ) を参照してください。

3 文字入力が完了したら、[黄]ボタンを押す

メモ:

- 文字種は、[ ]ボタンを押すたびに、以下の順番でループします。

  "漢字/かな" ⇨ "カナ" ⇨ "英数" ⇨ "記号" ⇨
- [ ]ボタンを押して"文字種"を切り換えると、未確定の入力文字が確定されます。
- [ ]ボタンを押すと、入力した文字を 1 文字削除します。
  [ ]ボタンを長押しすると、入力した位置より左の文字をすべて削除します。
- ひらがなを漢字に変換するには、[赤]または[青]ボタンを押して"予測候補"/"変換候補"のどちらかを選択します。
  [▲/▼/◀/▶]ボタンで選び、[決定]ボタンを押して決定します。
- スペースを入力するには、[緑]ボタンを押します。"文字種"によって、全角スペースと半角スペースのどちらかが入力されます。

"漢字/かな", "カナ"	:	全角スペース
"英数"	:	半角スペース
"記号"	:	文字入力キーボードのカーソル位置が半角の場合は、半角スペースが挿入される。 文字入力キーボードのカーソル位置が全角の場合は、全角スペースが挿入される。

- [戻る]ボタンを押すと、文字入力中止の確認画面が表示されます。
  "中断"を選び[決定]ボタンを押すと、文字入力を中止して、元の画面に戻ります。
  "戻る"を選び[決定]ボタンを押すと、文字入力画面に戻ります。
- BDMV や DVD-VIDEO のディスクメニューに表示できる文字数は、英数字の場合、20 文字前後です。(文字により表示できる文字数が変わります。)

ご注意:

- 文字入力が確定する前に画面を切り換える場合は、メッセージ画面が表示されます。
  "中断"を選び[決定]ボタンを押すと、文字入力を中止して、元の画面に戻ります。
  "戻る"を選び[決定]ボタンを押すと、文字入力画面に戻ります。
- 文字入力を変換して入力文字数がオーバーする場合は、メッセージ画面が表示されます。
  メッセージ画面が表示された後に、オーバーした分の文字が削除されて入力されます。
- 文字数が上限のときは、それ以上の文字入力ができません。

文字一覧表

• ひらがな

[1]	あ	い	う	え	お	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	1		
[2]	か	き	く	け	こ	2							
[3]	さ	し	す	せ	そ	3							
[4]	た	ち	つ	て	と	っ	4						
[5]	な	に	ぬ	ね	の	5							
[6]	は	ひ	ふ	へ	ほ	6							
[7]	ま	み	む	め	も	7							
[8]	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	ょ	8						
[9]	ら	り	る	れ	ろ	9							
[0]	わ	を	ん	ゎ	0	、	。	ー	・	～	！	？	*1
[∗]	、	。	ー	・	～	！	？	*1	*2				

• カタカナ

[1]	ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	1		
[2]	カ	キ	ク	ケ	コ	2							
[3]	サ	シ	ス	セ	ソ	3							
[4]	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ	4						
[5]	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	5							
[6]	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	6							
[7]	マ	ミ	ム	メ	モ	7							
[8]	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ	8						
[9]	ラ	リ	ル	レ	ロ	9							
[0]	ワ	ヲ	ン	ヮ	0	、	。	ー	・	～	！	？	*1
[∗]	、	。	ー	・	～	！	？	*1	*2				

• 半角英数

[1]	.	@	-	_	/	:	˜	1									
[2]	a	b	c	A	B	C	2										
[3]	d	e	f	D	E	F	3										
[4]	g	h	i	G	H	I	4										
[5]	j	k	l	J	K	L	5										
[6]	m	n	o	M	N	O	6										
[7]	p	q	r	s	P	Q	R	S	7								
[8]	t	u	v	T	U	V	8										
[9]	w	x	y	z	W	X	Y	Z	9								
[0]	0	.	@	-	_	/	:	!	?	˜	(	)	*	#	+	,	^
	;	<	=	>	$	¥	%	&	[	]	'	`	{	¦	}	"	*3
[∗]	,	.	-	˜	!	?	*3										

*1:　全角スペース
*2:　濁点または半濁点は、文字の後に[∗]ボタンを押すと入力できます。
*3:　半角スペース
*4:　[#]ボタンを押すと、一つ前の入力文字に戻ります。

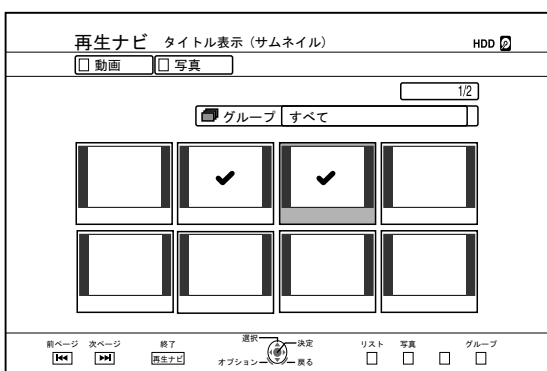
グループ化する

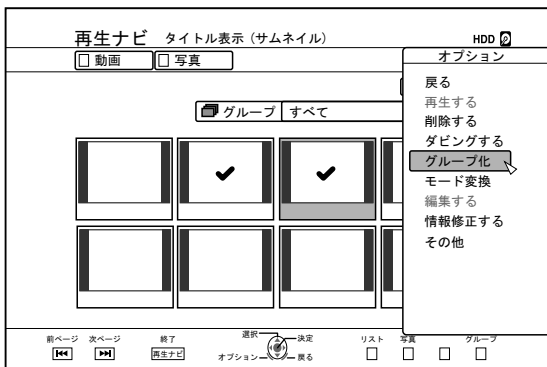
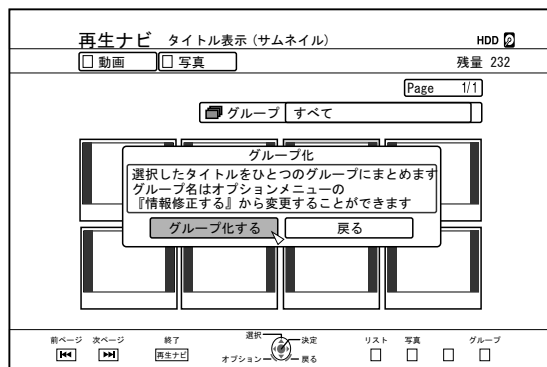
保存した複数のタイトルを1つのグループにまとめることができます。

メモ:
- HDDに保存された映像のみ、グループ化できます。

グループ化する

1 リモコンの[再生ナビ]ボタンを押す
- 再生ナビ画面が表示されます。

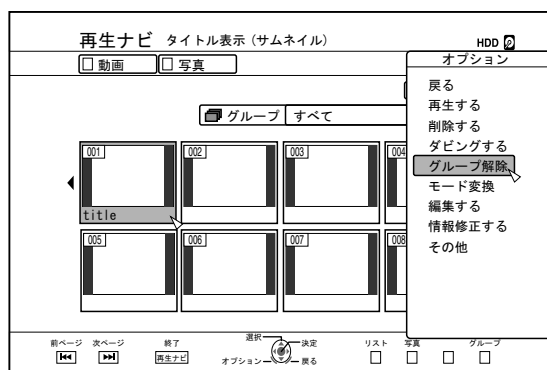
2 グループ化するタイトルやグループを選び、[マーク]ボタンを押す
- [マーク]ボタンを押すと、チェックマークが追加されます。チェックマークを追加したタイトルやグループが、すべてグループ化されます。

3 リモコンの[オプション]ボタンを押す
- オプションリストがポップアップ表示されます。

4 "グループ化"を選び、[決定]ボタンを押す
- グループ化の確認画面が表示されます。

5 "グループ化する"を選び、[決定]ボタンを押す
- 選択したタイトルやグループが1つのグループにまとまります。

メモ:
- "戻る"を選び[決定]ボタンを押すと、グループ化を中止します。
- [戻る]ボタンを押すと、グループ化を中止して、元の画面に戻ります。

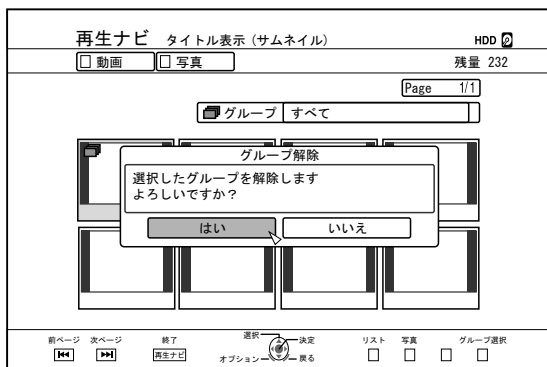
グループを解除する

1 リモコンの[再生ナビ]ボタンを押す
- 再生ナビ画面が表示されます。

2 グループ解除するグループを選び、[オプション]ボタンを押す
- オプションリストがポップアップ表示されます。

3 "グループ解除"を選び、[決定]ボタンを押す
- グループ解除の確認画面が表示されます。

メモ:
- 複数のグループを同時にグループ解除できません。複数のグループが選択されている場合は、オプションリストに"グループ解除"の項目が表示されません。

4 “はい”を選び、[決定]ボタンを押す

- 選択したグループに含まれたすべてのタイトルが、グループ解除されます。

メモ:
- “いいえ”を選び[決定]ボタンを押すと、グループ解除を中止します。
- [戻る]ボタンを押すと、グループ解除を中止して、元の画面に戻ります。

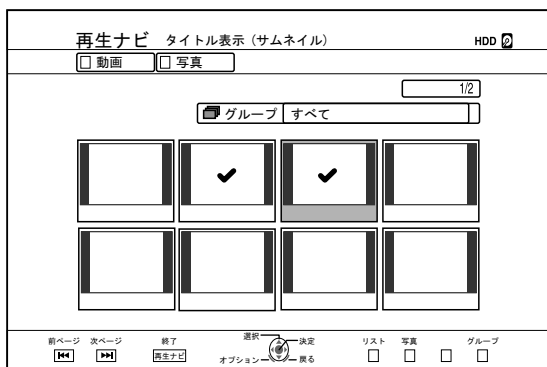
グループから除外する

グループ化されているタイトルを選択し、グループから除外できます。

1 リモコンの[再生ナビ]ボタンを押す

- 再生ナビ画面が表示されます。

2 グループから除外したいタイトル選び、[マーク]ボタンを押す

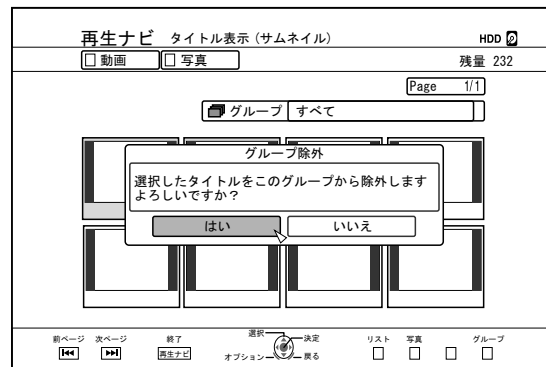
- [マーク]ボタンを押すと、チェックマークが追加されます。チェックマークを追加したすべてのタイトルが、グループから除外されます。

3 リモコンの[オプション]ボタンを押す

- オプションリストがポップアップ表示されます。

4 “グループ除外”を選び、[決定]ボタンを押す

- グループ除外の確認画面が表示されます。

5 “はい”を選び、[決定]ボタンを押す

- 選択したタイトルが、グループから除外されます。

メモ:
- “いいえ”を選び[決定]ボタンを押すと、グループ除外を中止します。
- [戻る]ボタンを押すと、グループ除外を中止して、元の画面に戻ります。

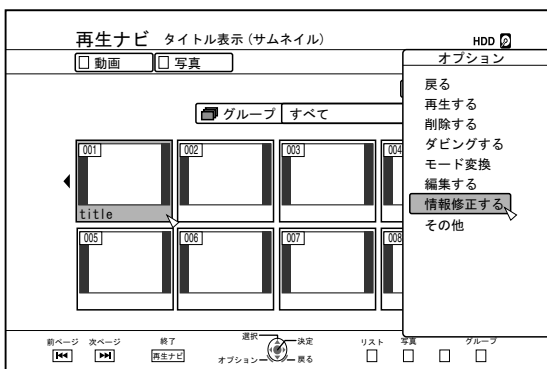
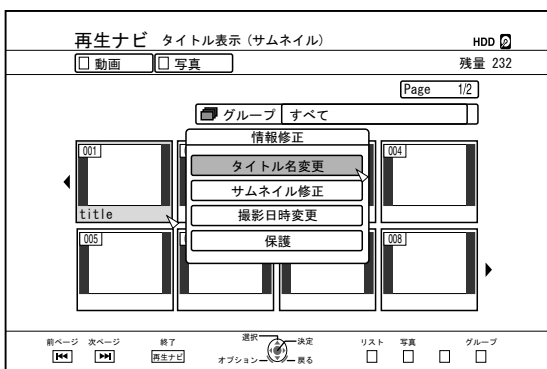
タイトル/グループの名前を変更する

保存したタイトル/グループの名前を変更できます。

メモ:
- HDD および BD-RE、BD-R、DVD-RW および DVD-R に保存された映像は、タイトル名/グループ名を付けたり、名前の変更ができます。
- VIDEO モードで保存した DVD-RW および DVD-R に保存された映像は、タイトル名/グループ名の変更ができません。

1 リモコンの[再生ナビ]ボタンを押す
- 再生ナビ画面が表示されます。

2 名前を変更したいタイトル/グループを選び、[オプション]ボタンを押す
- オプションリストがポップアップ表示されます。

3 "情報修正する"を選び、[決定]ボタンを押す
- 情報修正画面が表示されます。

4 "タイトル名変更"または"グループ名変更"を選び、[決定]ボタンを押す
- タイトル名/グループ名修正画面が表示されます。

5 タイトル名/グループ名を修正する
- 修正したタイトル名/グループ名が保存されます。

メモ:
- 文字の入力方法については、"文字を入力する" (☞62 ページ) を参照してください。

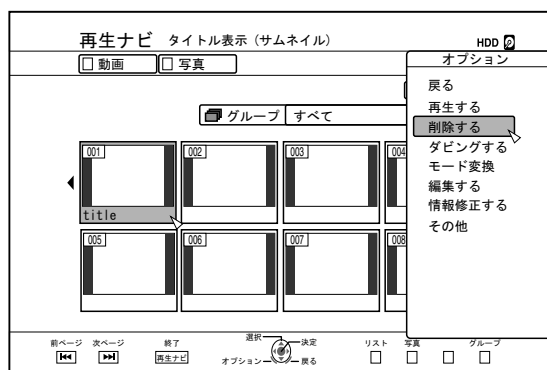
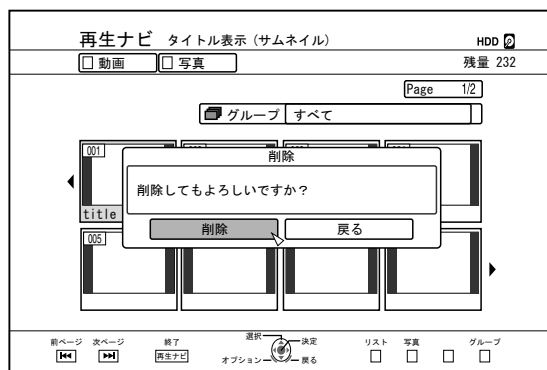
タイトル/グループを削除する

タイトル/グループを削除できます。グループを削除すると、グループ化されたタイトルがすべて削除されます。

メモ:
- HDD、BD-RE または DVD-RW に保存されたタイトル/グループを削除すると、削除した分だけディスクの空き容量が増えます。
  BD-R または DVD-R の場合は、削除してもディスクの空き容量は増えません。

1 リモコンの[再生ナビ]ボタンを押す
- 再生ナビ画面が表示されます。

2 削除するタイトル/グループを選び、[オプション]ボタンを押す
- オプションリストがポップアップ表示されます。

3 "削除する"を選び、[決定]ボタンを押す
- タイトル/グループ削除の確認画面が表示されます。

4 "削除"を選び、[決定]ボタンを押す
- タイトル/グループが削除されます。

メモ:
- "戻る"を選び[決定]ボタンを押すと、タイトル/グループの削除を中止します。
- [戻る]ボタンを押すと、タイトル/グループの削除を中止して、元の画面に戻ります。

タイトル/グループを保護する

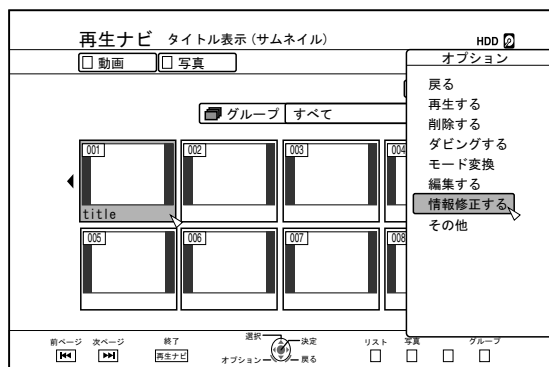
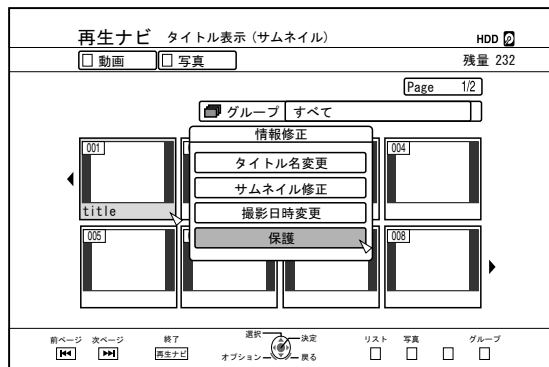
タイトル/グループを保護できます。
保護されたタイトル/グループは、編集・削除ができなくなります。

- HDD、BD-RE(BDAV)、BD-R(BDAV)および DVD-RW(VR、AVCREC)に保存された映像は、タイトル/グループを保護できます。

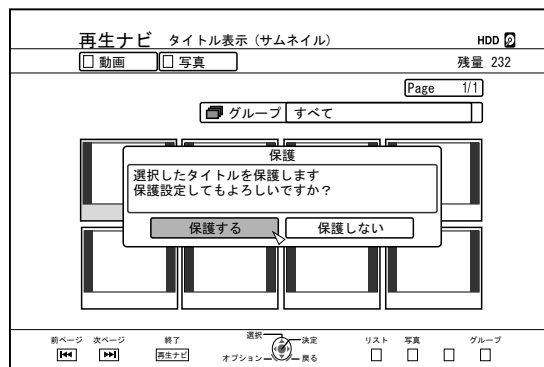
1 リモコンの[再生ナビ]ボタンを押す

- 再生ナビ画面が表示されます。

2 保護するタイトル/グループを選び、[オプション]ボタンを押す

- オプションリストがポップアップ表示されます。

3 “情報修正する”を選び、[決定]ボタンを押す

- 情報修正画面が表示されます。

4 “保護”を選び、[決定]ボタンを押す

- 手順 2 でタイトルを 1 つのみ選んだ場合は、タイトル保護の確認画面が表示されます。

- 手順 2 で複数のタイトルまたはグループを選んだ場合は、“保護する”の他に“保護解除”の項目も表示されます。

5 “保護する”を選び、[決定]ボタンを押す

- タイトル/グループが保護されます。

メモ:

- 複数タイトルまたはグループを選択した場合は、選択したすべてのタイトルおよびグループが保護されます。
- “保護しない”を選び[決定]ボタンを押すと、タイトル/グループの保護を中止します。
- [戻る]ボタンを押すと、タイトル/グループの保護を中止して、元の画面に戻ります。

タイトル/グループの保護を解除する

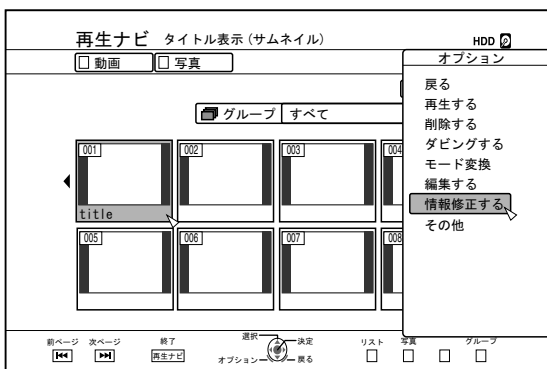
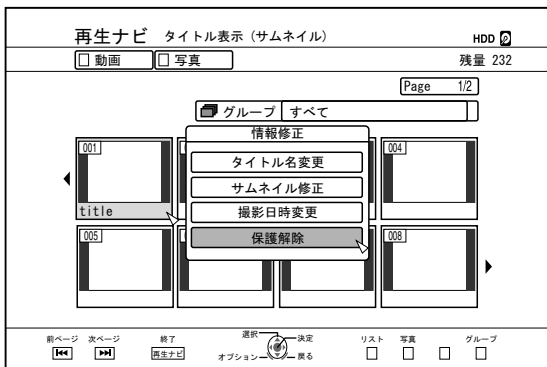
タイトル/グループの保護を解除できます。
保護を解除すると、タイトル/グループの編集・削除ができるようになります。

- HDD、BD-RE(BDAV)、BD-R(BDAV)および DVD-RW(VR、AVCREC)に保存された映像は、タイトル/グループの保護が解除できます。

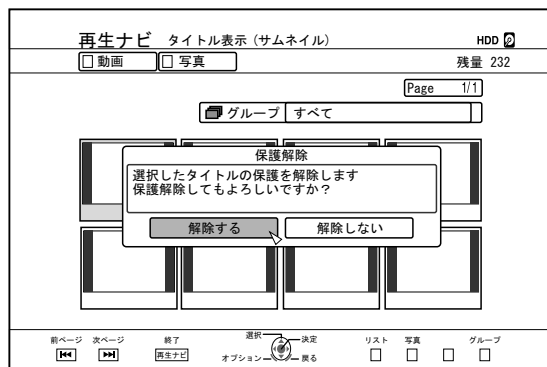
1 リモコンの[再生ナビ]ボタンを押す

- 再生ナビ画面が表示されます。

2 保護を解除するタイトル/グループを選び、[オプション]ボタンを押す

- オプションリストがポップアップ表示されます。

3 “情報修正する”を選び、[決定]ボタンを押す

- 情報修正画面が表示されます。

4 “保護解除”を選び、[決定]ボタンを押す

- 手順 2 でタイトルを 1 つのみ選んだ場合は、保護解除の確認画面が表示されます。

- 手順 2 で複数のタイトルまたはグループを選んだ場合は、“解除する”の他に“保護する”の項目も表示されます。

5 “解除する”を選び、[決定]ボタンを押す

- タイトル/グループの保護が解除されます。

メモ:

- 複数タイトルまたはグループを選択した場合は、選択したすべてのタイトルおよびグループの保護が解除されます。
- “解除しない”を選び[決定]ボタンを押すと、タイトル/グループ保護の解除を中止します。
- [戻る]ボタンを押すと、保護の解除を中止して、元の画面に戻ります。

プレイリストを作成する

HDD 内の動画タイトルからプレイリストを作成します。

- HDD に保存されたタイトルのみ、プレイリストの作成ができます。

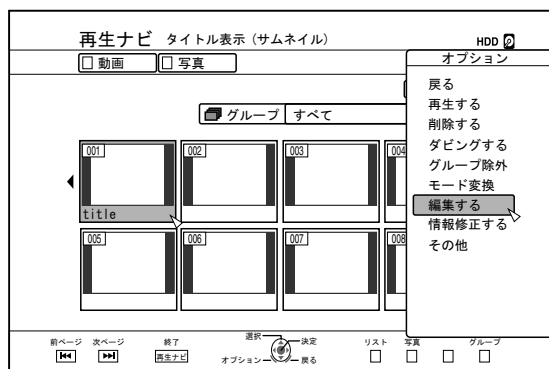
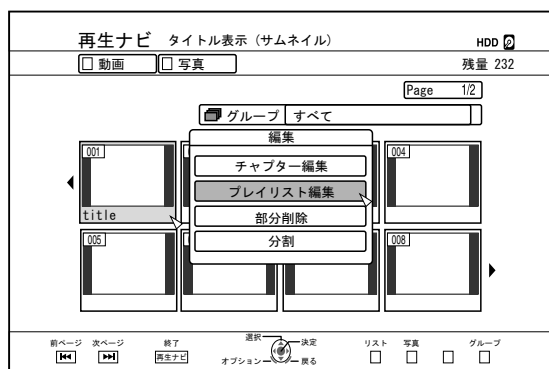
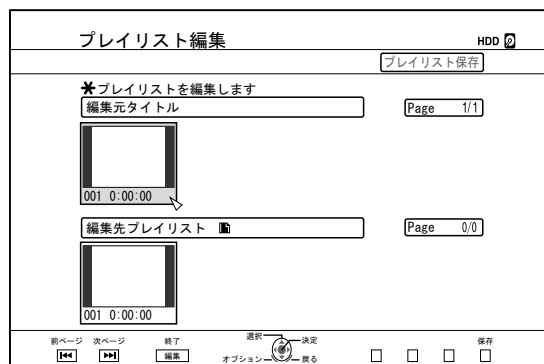
プレイリスト: 指定した 1 つのタイトルからお好みのチャプターを選択し、再生の順番を編集したプログラムが作成できます。

メモ:
- プレイリストを作成すると、再生やディスクへのダビングで活用できます。

プレイリストを作成する

1 リモコンの[再生ナビ]ボタンを押す
- 再生ナビ画面が表示されます。

2 プレイリストを作成したいタイトルを選び、[オプション]ボタンを押す

3 “編集する”を選び、[決定]ボタンを押す
- 編集メニュー画面が表示されます。

4 “プレイリスト編集”を選び、[決定]ボタンを押す
- プレイリスト編集画面が表示されます。

5 編集元タイトルからお好みのチャプターを選び、プレイリストを編集する
- プレイリストを編集します。
  詳しくは、"プレイリストを編集する" (☞69 ページ) を参照してください。

6 リモコンの[黄]ボタンを押す
- プレイリストが作成されます。

プレイリストを編集する

■ チャプターの挿入

① 挿入したいチャプターを“編集元タイトル”のサムネイルより選び、[決定]ボタンを押す

② “編集先プレイリスト”の挿入する場所を選び、[決定]ボタンを押す

■ チャプターの削除

① 削除したいチャプターを“編集先プレイリスト”のサムネイルより選び、[決定]ボタンを押す

② “削除する”を選び、[決定]ボタンを押す

■ プレイリスト名の入力

① “編集先プレイリスト”を選び、[決定]ボタンを押す。

② プレイリスト名を入力し、[決定]ボタンを押す

メモ:
- 文字の入力方法については、"文字を入力する" (☞62 ページ) を参照してください。

ご注意:
- 編集元のタイトルを削除するとプレイリストも削除されます。
  編集元のタイトルを編集・録画モード変換してもプレイリストが削除される場合があります。

サムネイルの編集をする

サムネイル(見出し画像)をお好みの静止画に変更できます。

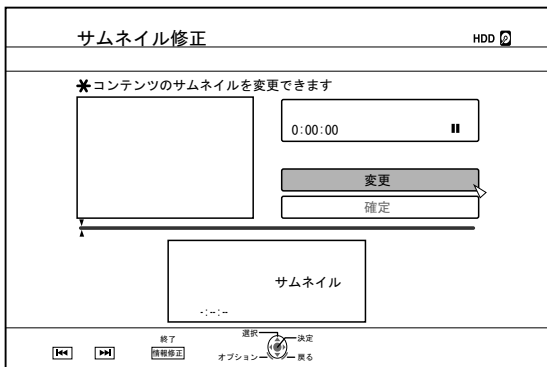
メモ:
- HDD および BD-RE、BD-R、DVD-RW および DVD-R に保存されたタイトルは、サムネイルの編集ができます。
- SD カードに保存されたタイトルおよび、ファイナライズされたディスクに保存されたタイトルは、サムネイルの編集ができません。

1 リモコンの[情報修正]ボタンを押す

- 情報修正画面が表示されます。

2 “サムネイル修正”を選び、[決定]ボタンを押す

- サムネイル修正の画面が表示されます。

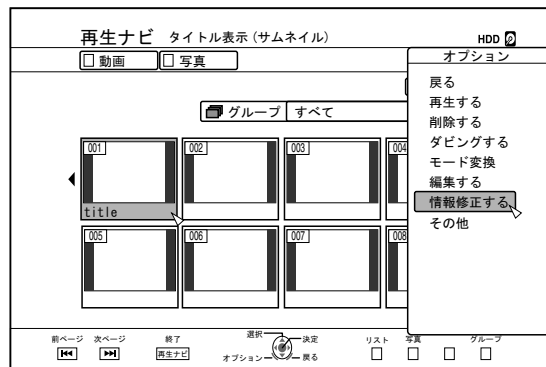
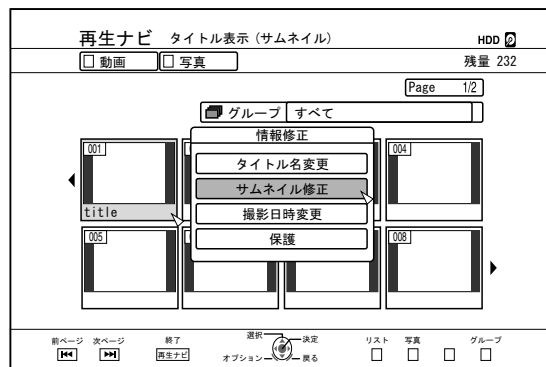
3 映像を再生し、サムネイルで表示したいシーンで [❚❚]ボタンを押す

メモ:
- 再生中のボタン操作については、"動画再生を操作する" (☞54 ページ) を参照してください。

4 “変更”を選び、[決定]ボタンを押す

- 表示されている静止画に、サムネイルが変更されます。

5 “確定”を選び、[決定]ボタンを押す

- サムネイルの編集を終了します。

メモ:
- 再生ナビ画面からでもサムネイル修正の画面を表示できます。
  ① **サムネイルを変更したいタイトルを選び、[オプション]ボタンを押す**
  ② **“情報修正する”を選び、[決定]ボタンを押す**
  - 情報修正画面が表示されます。

  ③ **“サムネイル修正”を選び、[決定]ボタンを押す**
  - サムネイル修正の画面が表示されます。

チャプターを編集する

保存したタイトルにチャプターマークを作成すると、タイトル内の好きなシーンを簡単に頭出しできます。

メモ:
- HDD に保存されたタイトルは、すべてのチャプター編集ができます。
  BD-RE(BDAV)、BD-R(BDAV)、DVD-R(VR、AVCREC)およびDVD-RW(VR、AVCREC)に保存された映像に保存されたタイトルは、チャプターの分割と結合のみ編集できます。
- SD カードに保存されたタイトルおよび、ファイナライズされたディスクに保存されたタイトルは、チャプターの編集ができません。
- 保護されたタイトルは、チャプターの編集ができません。タイトルの保護を解除してからチャプター編集してください。

タイトルの保護解除については、"タイトル/グループの保護を解除する" (☞68 ページ) を参照してください。

チャプター編集項目

- チャプターマークの挿入(チャプター分割)
  チャプターマークを挿入してチャプターを分割します。
- チャプターマークの削除(チャプター結合)
  チャプターマークを削除してチャプターを結合します。
- チャプター削除
  指定したチャプターを削除します。

チャプター編集する

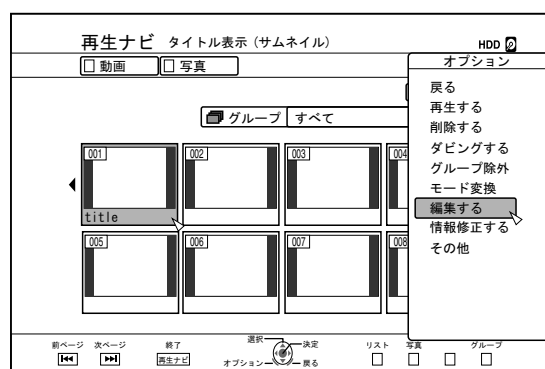
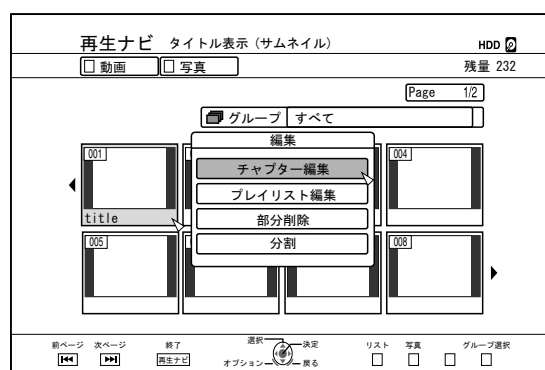
1 リモコンの[編集]ボタンを押す

- 編集メニュー画面が表示されます。

2 “チャプター編集”を選び、[決定]ボタンを押す

- タイトル表示画面が表示されます。

3 タイトルを選び、[決定]ボタンを押す

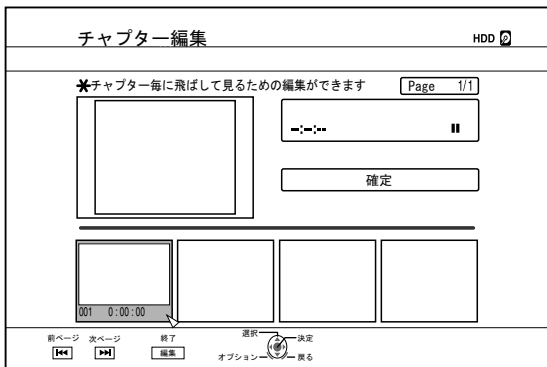
メモ:
- 再生ナビ画面からでもチャプター編集画面を表示できます。
  ① **チャプター編集したいタイトルを選び、[オプション]ボタンを押す**
  ② **“編集する”を選び、[決定]ボタンを押す**

  ③ **“チャプター編集”を選び、[決定]ボタンを押す**

- 再生中のボタン操作については、"動画再生を操作する" (☞54 ページ) を参照してください。
- チャプター編集画面でのコマ送りは、"スチルモード" (☞81 ページ) の設定にかかわらず、フレーム単位となります。

チャプターを編集する (つづき)

■ チャプターマークの挿入（チャプター分割）

1 映像を再生し、チャプターマークを追加したいシーンで[❚❚]ボタンを押す

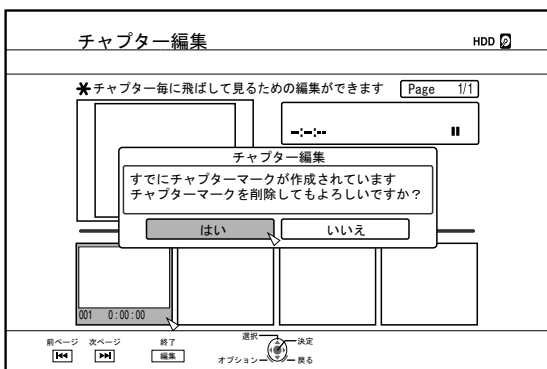
2 リモコンの[マーク]ボタンを押す

- 一時停止したシーンにチャプターマークを挿入します。

メモ:
- チャプターマークの位置で、チャプターが前後に分割されます。

■ チャプターマークの削除（チャプター結合）

1 映像を再生し、[❚❚]および[◀ / ▶]ボタンで削除したいチャプターマークのシーンを表示する

2 リモコンの[マーク]ボタンを押す

- チャプターマーク削除確認画面が表示されます。

3 "はい"を選び、[決定]ボタンを押す

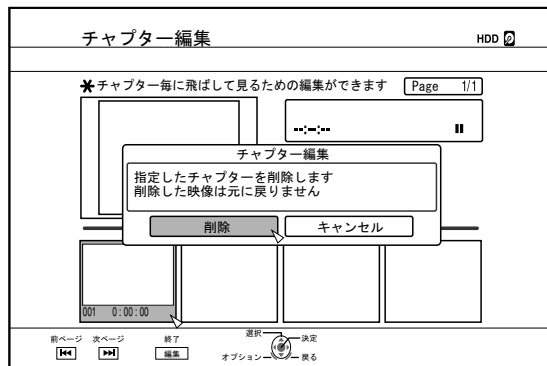
- 選択したシーンのチャプターマークが削除されます。

メモ:
- チャプターマークの位置で、前後のチャプターが結合されます。
- [▶▶I / I◀◀]ボタンを押すと、次/前ページが表示されます。

■ チャプター映像の削除

1 チャプター編集画面より、削除するチャプター映像を選ぶ

2 リモコンの[タイトル削除]ボタンを押す

- チャプター映像の削除確認画面が表示されます。

3 “削除”を選び、[決定]ボタンを押す

- 選択したチャプター映像が削除されます。

ご注意:
- 削除した映像は元に戻りません。
- チャプター範囲が小さい場合は、削除できない事があります。

チャプターオプション

チャプター編集画面でリモコンの[オプション]ボタンを押すと、以下の編集ができます。

■ 前のチャプターと結合

- 選択したチャプターと 1 つ前のチャプターを結合します。
  ① **チャプターを選択し、"前と結合"を選び、[決定]ボタンを押す**
  - チャプターが結合されます。

■ 後ろのチャプターと結合

- 選択したチャプターと 1 つ後ろのチャプターを結合します。
  ① **チャプターを選択し、"後ろと結合"を選び、[決定]ボタンを押す**
  - チャプターが結合されます。

■ すべてのチャプターを結合

- すべてのチャプターを結合します。
  ① **“全てを結合”を選び、[決定]ボタンを押す**
  - すべてのチャプター結合の確認画面が表示されます。

  ② **"はい"を選び[決定]ボタンを押す**
  - すべてのチャプターが結合されます。

分割する

保存した１つのタイトルを選び、２つのタイトルに分割できます。

メモ:
- HDD に保存されたタイトルのみ、分割できます。
- 保護されたタイトルは、分割ができません。タイトルの保護を解除してから、実行してください。

タイトルの保護解除については、"タイトル/グループの保護を解除する" (☞68 ページ) を参照してください。

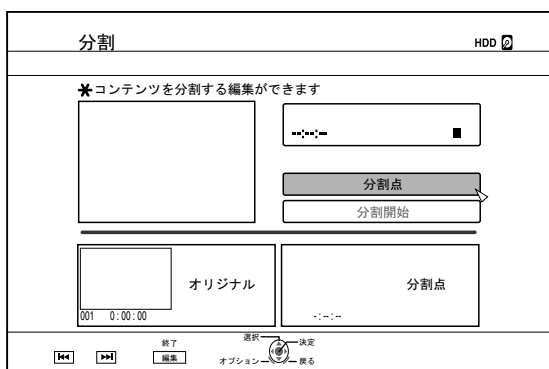
分割する

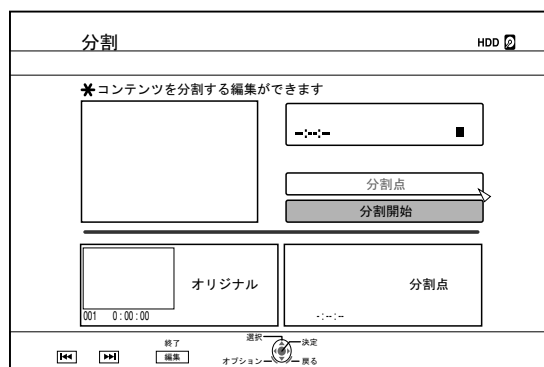
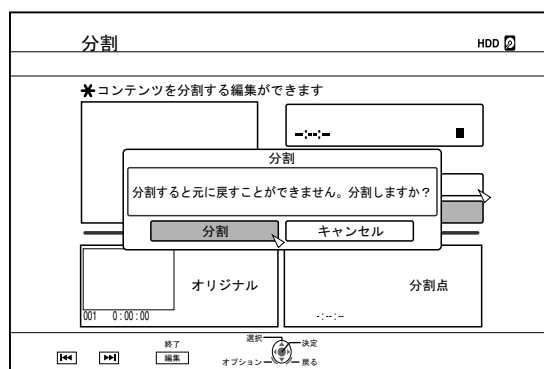
1 リモコンの[編集]ボタンを押す
- 編集メニュー画面が表示されます。

2 “分割”を選び、[決定]ボタンを押す
- タイトル表示画面が表示されます。

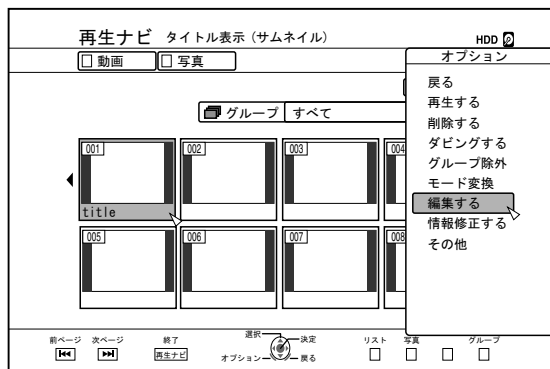
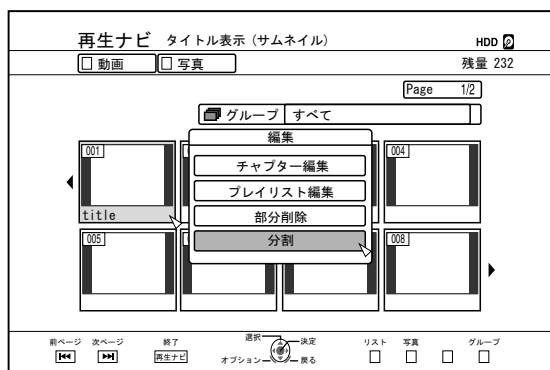
3 タイトルを選び、[決定]ボタンを押す

4 映像を再生し、分割したいシーンで[❚❚]ボタンを押す

5 “分割点”を選び、[決定]ボタンを押す

メモ:
- 再生中のボタン操作については、"動画再生を操作する" (☞54 ページ) を参照してください。
- チャプター編集画面でのコマ送りは、"スチルモード" (☞81 ページ) の設定にかかわらず、フレーム単位となります。

6 “分割開始”を選び、[決定]ボタンを押す
- 分割の確認画面が表示されます。

7 “分割”を選び、[決定]ボタンを押す
- 分割が実行されます。

分割する (つづき)

メモ:
- “キャンセル”を選び[決定]ボタンを押すと、分割を中止します。
- [戻る]ボタンを押すと、分割を中止して、元の画面に戻ります。
- 再生ナビ画面からでも分割編集画面を表示できます。

① 分割したいタイトルを選び、[オプション]ボタンを押す
② “編集する”を選び、[決定]ボタンを押す

③ “分割”を選び、[決定]ボタンを押す

部分削除する

保存したタイトルの不要な部分を指定して、部分削除ができます。
部分削除をすると、削除した分だけディスクの空き容量が増えます。

メモ:
- HDD に保存されたタイトルのみ部分削除ができます。
- 保護されたタイトルは部分削除ができません。タイトルの保護を解除してから実行してください。

タイトルの保護解除については、"タイトル/グループの保護を解除する" (☞68 ページ) を参照してください。

- 部分削除した HD コンテンツは、BDMV へダビングできません。ダビングする場合は、シームレス変換を実行してからダビングしてください。

詳しくは、"モード変換する" (☞77 ページ) を参照してください。

部分削除する

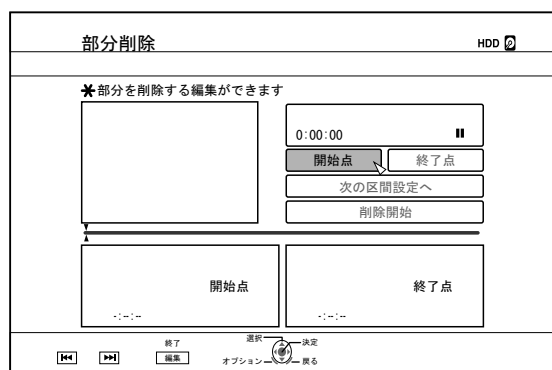
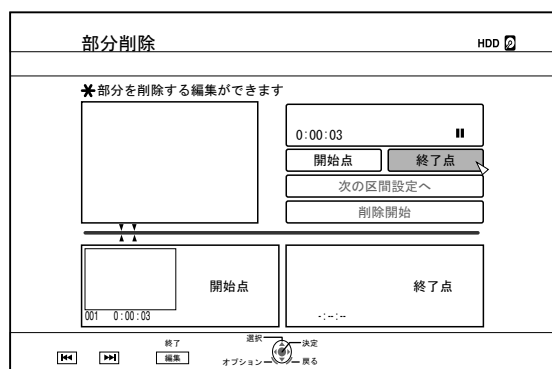
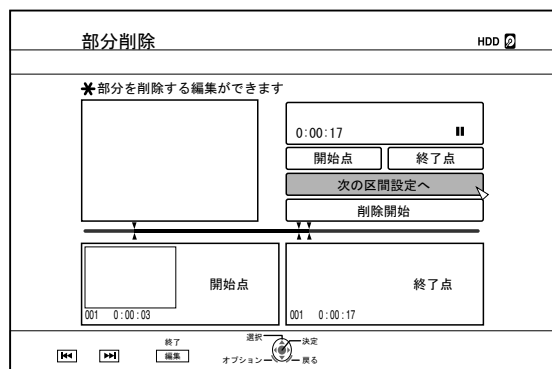
1 リモコンの[編集]ボタンを押す
- 編集メニュー画面が表示されます。

2 “部分削除”を選び、[決定]ボタンを押す
- タイトル表示画面が表示されます。

3 タイトルを選び、[決定]ボタンを押す

4 部分削除の編集をする

部分削除の編集方法については、以下の手順で行ってください。

① 映像を再生し、削除の開始点で[❚❚]ボタンを押す
② “開始点”を選び、[決定]ボタンを押す

③ 映像を再生し、削除の終了点で[❚❚]ボタンを押す
④ “終了点”を選び、[決定]ボタンを押す

⑤ 続けて削除箇所を設定する場合は、“次の区間設定へ”を選び[決定]ボタンを押す

⑥ 手順 1～4 を繰り返して、削除箇所を設定する

メモ:

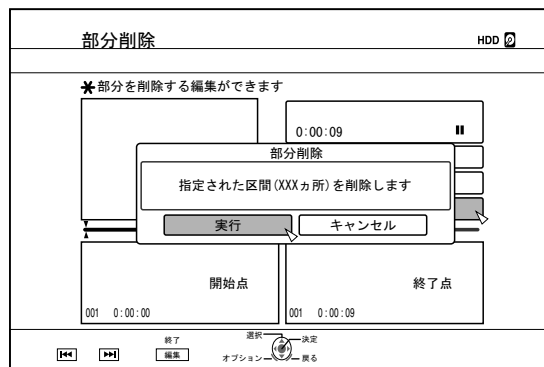
- 再生中のボタン操作については、"動画再生を操作する" (☞54 ページ) を参照してください。
- チャプター編集画面でのコマ送りは、"スチルモード" (☞81 ページ) の設定にかかわらず、フレーム単位となります。

5 “削除開始”を選び、[決定]ボタンを押す

- 部分削除の確認画面が表示されます。

6 “実行”を選び、[決定]ボタンを押す

- 部分削除が実行されます。

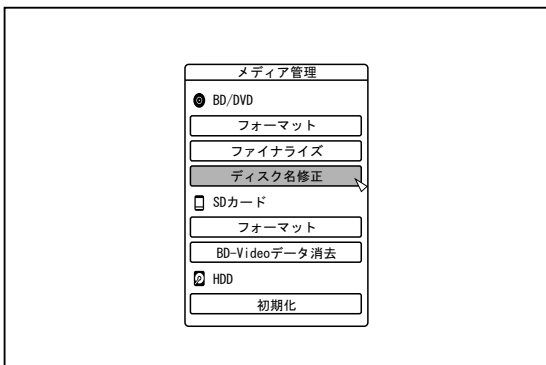
メモ:

- “キャンセル”を選び[決定]ボタンを押すと、部分削除を中止します。
- [戻る]ボタンを押すと、部分削除を中止して、元の画面に戻ります。

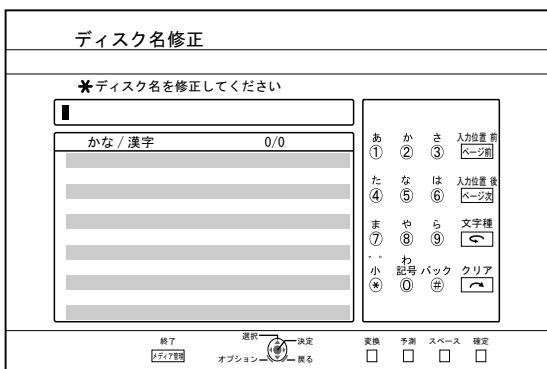
ディスク名を変更する

BD および DVD のディスク名を変更します。

1 ディスク名を変更したい BD または DVD をディスクトレイにセットする

2 リモコンの[メディア管理]ボタンを押す

- メディア管理のメニュー画面が表示されます。

3 "BD/DVD"の"ディスク名修正"を選び、[決定]ボタンを押す

- ディスク名修正の画面が表示されます。

4 ディスク名を修正する

- 修正したディスク名が保存されます。

メモ:

- 文字の入力方法については、"文字を入力する" (☞62 ページ) を参照してください。

撮影日時の変更をする

保存した映像の日時情報を変更できます。

- HDD 保存された映像は、撮影の日時情報が変更できます。

1 リモコンの[情報修正]ボタンを押す

- 情報修正画面が表示されます。

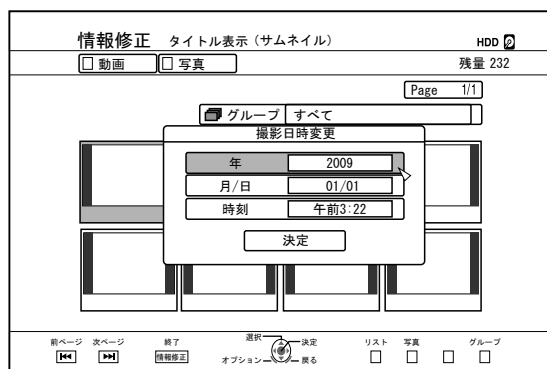
2 "撮影日時変更"を選び、[決定]ボタンを押す

- サムネイル画面が表示されます。

3 撮影日時を変更したいタイトルを選び、[決定]ボタンを押す

- 撮影日時の変更画面が表示されます。

4 撮影日時を変更する

- 撮影日時の変更動作については、以下の手順で行ってください。

① [▲]または[▼]ボタンでカーソルを変更したい項目に移動する
② [決定]ボタンを押し、ポップアップ画面を表示する
③ [▲]または[▼]ボタンでカーソルを変更したい値に設定する
④ [決定]ボタンを押し、決定する。
⑤ 手順 1〜4 を繰り返して、変更したい項目をすべて設定する

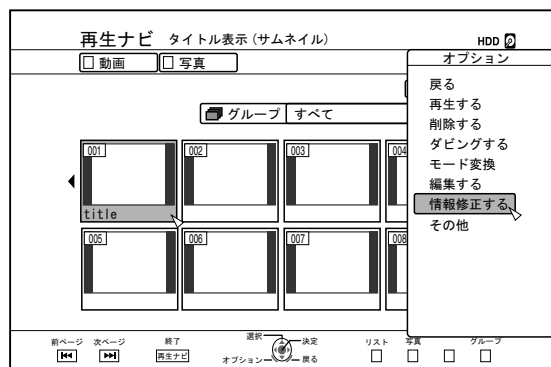
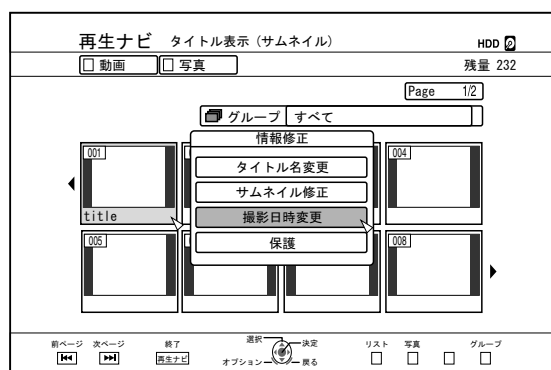
5 “決定”を選び、[決定]ボタンを押す

- 変更した撮影日時が保存されます。

メモ:

- [戻る]ボタンを押すと、撮影日時の変更しないで、元の画面に戻ります。
- 撮影日時変更はダビングした場合ダビング先のタイトルには反映されません。
- [情報修正]ボタンの代わりに再生ナビ画面で[オプション]ボタンを押しても撮影日時変更の編集画面を表示できます。

① 撮影日時を変更したいタイトルを選び、[オプション]ボタンを押す

② “情報修正する”を選び、[決定]ボタンを押す

③ “撮影日時変更”を選び、[決定]ボタンを押す

モード変換する

HD 画質で HDD に取り込んだ動画タイトル(録画モードが DR・AVC・AF・AN・AL・AE で記録されたタイトル)を変換します。

シームレス変換: BD にダビングしたときシーンのつなぎ目がスムーズに再生されるようにシームレス変換することができます。(録画モードが DR で記録されたタイトル ⇨ シームレス)

録画モード変換: 録画モードを変換することができます。(録画モードが DR・AVC・AF・AN・AL・AE で記録されたタイトル ⇨ AF/AN/AL/AE/XP/SP/LP/EP)

メモ:

- シームレス変換は映像/ 音声の再エンコードではありませんので、画質劣化しません。
- 録画モード変換の場合は、再エンコードとなります。
- DR モードで記録されたタイトルのみ、XP/SP/LP/EP モードへの変換ができます。
- 電源を切ったあと“モード変換”を実行させたいときは、“モード変換”の“開始方法”で“電源切後変換”を選択してください。

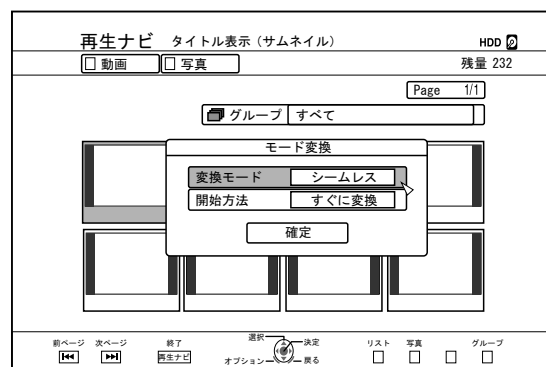
ご注意:

- シームレス変換すると、チャプター(シーンのつなぎ目を除く)は結合されます。チャプターを分割したい場合は、シームレス変換後にチャプターマークを挿入してください。チャプター分割については、"チャプターマークの挿入（チャプター分割）" (☞72 ページ) を参照してください。

1 リモコンの[再生ナビ]ボタンを押す

2 タイトル/ グループを選び、[オプション]ボタンを押す

3 オプションメニューの“モード変換”を選び、[決定]ボタンを押す

- モード変換画面が表示されます。

4 “変換モード”の録画モードを選び、[決定]ボタンを押す

5 “確定”を選び、[決定]ボタンを押す

本機の設定を変更する

設定メニュー画面で設定した内容は、電源を切っても保存されます。

設定メニューを表示する

1 リモコンの[設定]ボタンを押す

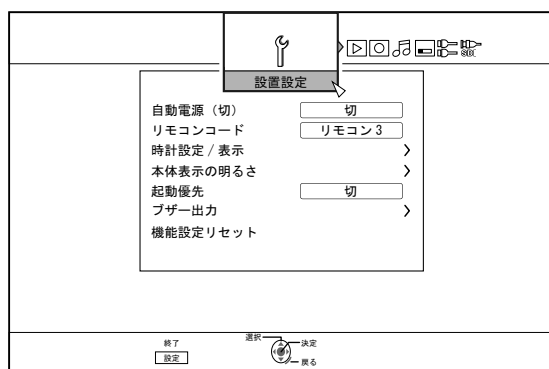
- 設定メニュー画面が表示されます。

メモ:
- 再生中にボタンを押した場合は、停止して画面が表示されます。
- カーソルの位置は、前回に画面を閉じたとときと同じになります。

設定メニュー一覧

以下の項目が設定できます。設定できない場合は、項目が選択できません。

メモ:
- ハイライトで囲まれた設定値は、工場出荷時の設定です。

設置設定

■ 自動電源(切)

本機の無操作時に電源を自動的に切るまでの時間を設定できます。

設定値	内容
切	自動的に電源を切りません。
2 時間	2 時間後に電源を切ります。
6 時間	6 時間後に電源を切ります。

■ リモコンコード

当社対応のリモコンを使い分けるときに、本機で使用するリモコンを個別に設定できます。

設定値	内容
リモコン 1	リモコンコードを 1 にします。
リモコン 2	リモコンコードを 2 にします。
リモコン 3	リモコンコードを 3 にします。
リモコン 4	リモコンコードを 4 にします。

■ 時計設定/表示

“時計合わせ”、“日付表示”および“時間表示”の各項目で、現在日時の設定と画面上での表示形式を設定できます。

- 時計合わせ

現在日時を設定します。

メモ:

- 設定方法については、"日付・時刻を設定する" (☞19 ページ)を参照してください。

- 日付表示

年月日の表示形式を設定します。

設定値	内容
年.月.日	年/月/日の順番で表示します。
月.日.年	月/日/年の順番で表示します。
日.月.年	日/月/年の順番で表示します。

- 時間表示

時間の表示形式を設定します。

設定値	内容
12h	午前/午後で表示します。
24h	24 時間で表示します。

■ 本体表示の明るさ

“ディマー(電源 ON 時)”、“ディマー(電源 OFF 時)”の各項目で、表示窓の明るさが設定できます。

- ディマー(電源 ON 時)

電源が｢入｣時の、表示窓の明るさを設定します。

設定値	内容
明	明るい
暗 1	やや暗い
暗 2	暗い
暗 3	もっと暗い
消灯	消灯

• ディマー(電源 OFF 時)

電源が"切"時の、表示窓の点灯/消灯を設定します。

設定値	内容
消灯	消灯します。
点灯	点灯します。

■ 起動優先

優先起動を設定できます。

設定値	内容
切	通常起動します。
入	電源を入れたあと操作が早くできるようになります。(クイック起動)

メモ:
- "入"に設定すると、待機中の消費電力が増えます。

■ ブザー出力

ブザー出力を設定できます。

• リモコン受信音

リモコンを受信したときに、ブザーを鳴らすかを設定します。

設定値	内容
切	リモコンを受信してもブザーを鳴らしません。
入	リモコン受信するとブザーを鳴らします。

• 完了/警告音

操作が完了したときや警告メッセージを表示したときに、ブザーを鳴らすかを設定します。

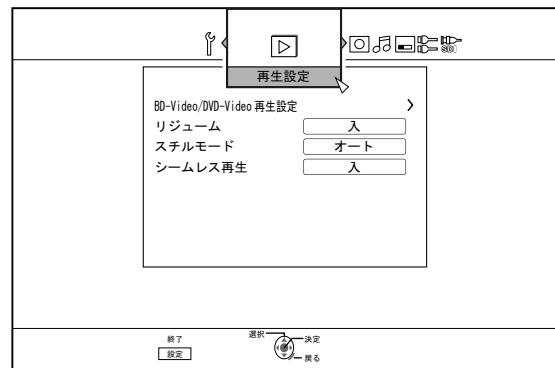
設定値	内容
切	ブザーを鳴らしません。
入	ブザーを鳴らします。

■ 機能設定リセット

設定画面で設定した値を工場出荷状態に戻します。

設定値	内容
する	工場出荷状態に戻します。
しない	実行しないで元の画面に戻ります。

メモ:
- 設定済の"BD-VIDEO 視聴可能年齢"および"カントリーコード"は設定リセットされません。

再生設定

■ BD-Video/DVD-Video 再生設定

"BD-Video の視聴可能年齢"、"カントリーコード"、"音声言語"、"字幕言語"および"メニュー言語"の各項目で、BD-Video または DVD-Video 再生を設定できます。

• BD-Video の視聴可能年齢

BD ビデオの視聴可能な下限年齢を設定します。

設定値	内容
無制限	すべての BD ビデオを視聴できます。
254 歳-0 歳	年齢制限がされている BD ビデオを視聴できなくなります。

メモ:
- 制限項目設定を行うには暗証番号(4 桁の数字)の登録が必要です。
- 暗証番号は、設定値を無制限に戻すと未登録状態となります。再度、視聴可能年齢を設定すると、新たな暗証番号を登録できます。
- 暗証番号は忘れないようにメモすることをお勧めします。

• カントリーコード

カントリーコードを設定します。
各カントリーコードについては、"カントリーコード一覧表"を参照してください。

メモ:
- "BD-Video の視聴可能年齢"を設定してある場合、"カントリーコード"を変更するには、"BD-Video の視聴可能年齢" で登録した暗証番号の入力が必要です。

• 音声言語

BD ビデオや DVD ビデオ再生時の音声を設定します。
各言語コードについては、"言語コード一覧表"を参照してください。

• 字幕言語

BD ビデオや DVD ビデオ再生時の字幕言語を設定します。
各言語コードについては、"言語コード一覧表"を参照してください。

• メニュー言語

BD ビデオや DVD ビデオ再生時のメニューの言語を設定します。
各言語コードについては、"言語コード一覧表"を参照してください。

■ リジューム

BD ビデオ、DVD ビデオ、BDMV、AVCHD、ファイナライズ後のディスク、SD カードの再生を途中で停止したときに、停止位置の記憶を設定できます。

設定値	内容
切	リジュームを記憶しません。
入	リジュームを記憶します。

メモ:
- その他のディスクと HDD は、設定に関わらず、常にリジュームを記憶します。
- 再生ナビから HDD タイトルを選択した場合は、タイトルの先頭から再生します。
- ディスクによっては、リジュームポイントから再生できない場合があります。

■ スチルモード

HDD またはディスクの再生時に、一時停止した画像の表示方法が設定できます。

設定値	内容
オート	自動で制御を行います。
フィールド	動きのある映像や、“オート”に設定したときに、ぶれが生じる場合に設定してください。
フレーム	“オート”に設定したときに、細かい絵柄などが見えにくい場合に設定してください。

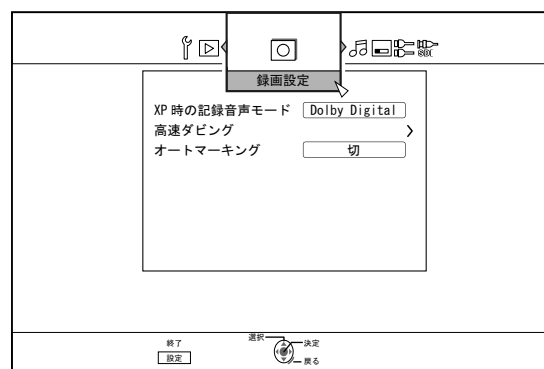
メモ:
- DR モードの番組や AVCHD の動画再生のときは、設定が無効になります。

■ シームレス再生

部分消去したシーンを再生する方法が設定できます。

設定値	内容
切	精度よく再生します。
入	なめらかに再生します。

メモ:
- SD 画質の再エンコードダビング時にも有効になります。
- 15 秒以下の短いシーンのつなぎ目では、"入"に設定してもシームレス再生できない場合があります。SD 画質の再エンコードダビング時も同様です。

録画設定

■ XP 時の記録音声モード

XP モードのときに、記録する音声モードが設定できます。

設定値	内容
Dolby Digital	“Dolby Digital”で記録します。
LPCM	“LPCM”で記録します。

■ 高速ダビング

高速ダビングに対応できるように、“ビデオ方式の記録アスペクト”および“ディスク記録音声”の各項目を設定できます。

- ビデオ方式の記録アスペクト

記録するときのアスペクト比を設定します。

設定値	内容
オート	記録開始時のアスペクト比で記録します。
4:3	4:3 に固定して記録します。
16:9	16:9 に固定して記録します。

メモ:
- アスペクト比が混在するタイトルは、DVD-Video モードのディスクに高速ダビングできません。その場合は、4:3 または 16:9 に固定してください。
  再エンコードダビング時にも、この設定が有効になります。

高速ダビングと再エンコードダビングについては、"ダビング対応表" (☞25 ページ) を参照してください。

• ディスク記録音声

AF、AN、AE または AL モードでディスクに記録するときの音声を設定します。

設定値	内容
オート	サラウンド音声をそのまま高速ダビングできます。
固定	サラウンド音声のディスクを作成しないようにするときに設定します。

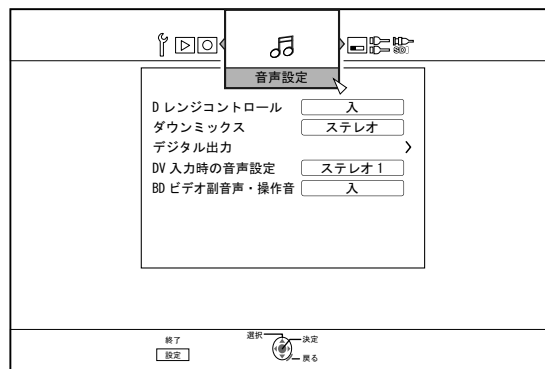
メモ:
- サラウンド音声のタイトルは、再エンコードダビングするとステレオになります。

■ オートマーキング

記録媒体(HDD、光 DISC)に直接録画する場合、10 分間隔固定でマークをつけ、コンテンツにチャプターを付加することができます。

設定値	内容
切	チャプターをつけない場合に設定します。
入	チャプターをつける場合に設定します。

メモ:
- チャプターの間隔は 10 分に固定で、変更することはできません。
- “オートマーキング”の設定が“入”、“切”どちらの場合も、リモコンのマークボタンによる手動のマーキング操作は可能です。手動のマーキング操作時、「画面設定」のオンスクリーン項目の設定に関係なく、オンスクリーンにメッセージが表示されれます。
- SDI 入力、L-1 入力、HDV/DV 入力の信号録画時に動作します。
- HDV/DV 入力の高速ダビング時には動作しません。

音声設定

■ D レンジコントロール

ドルビーデジタルで再生するときに、ダイナミックレンジ(最大音量と最小音量の比)の圧縮率を設定します。

設定値	内容
オート	Dolby TrueHD のみに圧縮を行います。
切	圧縮しません。
入	最大圧縮を行います。

メモ:
- “切”に設定したときに、ディスクによっては“入”と変わらない場合があります。
- 圧縮を行うと、小さい音も良く聞こえます。
- ディスクによって効果に差があります。

■ ダウンミックス

アナログ音声の出力を設定します。

設定値	内容
ステレオ	オーディオアンプやテレビを接続するときに設定します。
ドルビーサラウンド	ドルビーサラウンド対応アンプを接続するときに設定します。

■ デジタル出力

デジタル音声出力端子(光デジタル)に接続する機器に合わせて設定します。

• PCM ダウンサンプリング変換

サンプリング周波数の変換について設定します。

設定値	内容
切	サンプリング周波数を変換しません。
入	サンプリング周波数 96 kHz または 88.2 kHz で収録された音声を 48 kHz または 44.1 k Hz に変換します。

メモ:
- “切”に設定した場合に、ディスクによっては“入”と変わらない場合があります。

• Dolby Digital

音声出力を“Bitstream”または“PCM”変換のどちらかに設定します。

設定値	内容
Bitstream	“Dolby Digital”をデコードできる機器を接続するときに設定します。
PCM	入力音声を“PCM”に変換して出力します。“Dolby Digital”をデコードできない機器を接続するときに設定します。

• Dolby Digital Plus/TrueHD

音声出力を“Bitstream”または“PCM”変換のどちらかに設定します。

設定値	内容
Bitstream	“Dolby Digital Plus/TrueHD”をデコードできる機器を接続するときに設定します。
PCM	入力音声を“PCM”に変換して出力します。“Dolby Digital Plus/TrueHD”をデコードできない機器を接続するときに設定します。

• DTS

音声出力を“Bitstream”または“PCM”変換のどちらかに設定します。

設定値	内容
Bitstream	“DTS”をデコードできる機器を接続するときに設定します。
PCM	入力音声を“PCM”に変換して出力します。“DTS”をデコードできない機器を接続するときに設定します。

• DTS-HD

音声出力を“Bitstream”または“PCM”変換のどちらかに設定します。

設定値	内容
Bitstream	“DTS-HD”をデコードできる機器を接続するときに設定します。
PCM	入力音声を“PCM”に変換して出力します。“DTS-HD”をデコードできない機器を接続するときに設定します。

• AAC

音声出力を“Bitstream”または“PCM”変換のどちらかに設定します。

設定値	内容
Bitstream	“AAC”をデコードできる機器を接続するときに設定します。
PCM	入力音声を“PCM”に変換して出力します。“AAC”をデコードできない機器を接続するときに設定します。

メモ:
- ご使用のオーディオ機器が“Bitstream”出力に対応してない場合は、音声が正常に再生されない場合があります。その場合は、“PCM”に設定してください。

■ DV 入力時の音声設定

DV 入力のときに、記録する音声が設定できます。

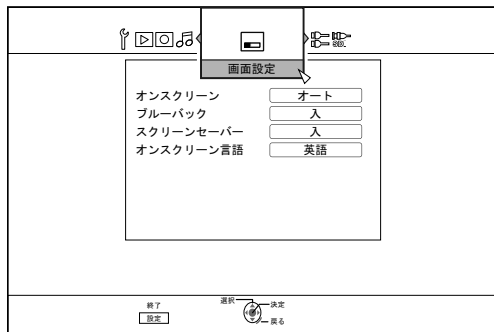
設定値	内容
ステレオ 1	録画時の音声(L1,R1)を録音します。
ステレオ 2	編集などであとから追加した音声(L2,R2)を録音します。
MIX	“ステレオ 1”と“ステレオ 2”の音声を録音します。

■ BD ビデオ副音声・操作音

BD ビデオ副音声や操作音の出力について設定できます。

設定値	内容
切	主音声のみ出力します。
入	BD ビデオ副音声およびメニュー操作音の入った BD ビデオ再生で BD ビデオ副音声や操作音をミックスして出力します。

メモ:
- “デジタル出力”で“Bitstream”に設定している場合は、主音声に合わせて、ドルビーデジタルまたは DTS に出力が変換されます。

画面設定

■ オンスクリーン

操作内容の表示を設定できます。

設定値	内容
オート	操作したときに、5 秒間表示します。
切	通常表示はしません。

■ ブルーバック

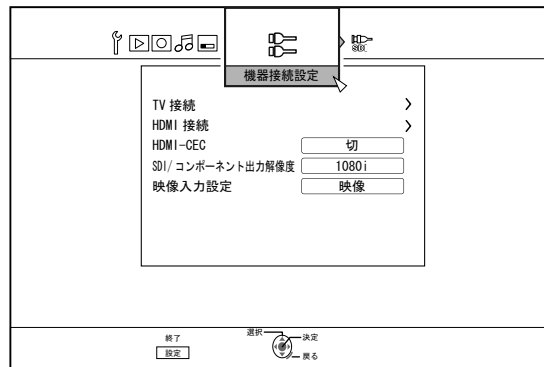
入力信号が無信号のときに、表示される画面を設定できます。

設定値	内容
切	そのまま表示します。
入	ブルー画面に切り換えて表示します。

■ スクリーンセーバー

スクリーンセーバーを使用するかを設定できます。

設定値	内容
切	スクリーンセーバーを使用しません。
入	スクリーンセーバーを使用します。5 分以上操作を行わないと焼付け防止画面に切り換ります。

機器接続設定

■ TV 接続

接続するモニターに合わせてアスペクト比を設定します。

設定値	内容
16:9	16:9 のモニターに接続する場合に設定します。
16:9 フル	16:9 のモニターに接続し、左右の黒帯をなくして表示したい場合に設定します。
4:3 パンスキャン	4:3 のモニターに接続する場合に設定します。左右が切れた映像で再生します。
4:3 レターボックス	4:3 のモニターに接続する場合に設定します。上下に黒帯のある映像で再生します。

■ HDMI 接続

• 映像優先モード

設定値	内容
SDI/コンポーネント	[SDI 出力]端子、[コンポーネント映像出力]端子から “480p” 以上の解像度で出力したい場合に設定します。
HDMI	“HDMI　出力解像度” の設定を優先したい場合に設定します。

メモ:
• [HDMI]端子から出力する場合は、“SDI/コンポーネント” に設定したときに、“コンポーネント出力解像度” で出力されます。“HDMI” に設定したときは、“HDMI　出力解像度” で出力されます。
• [HDMI]端子と[コンポーネント映像出力]端子から出力する場合は、“SDI/コンポーネント” に設定したときに、“コンポーネント出力解像度” で出力されます。
“HDMI” に設定したときは、[コンポーネント映像出力]端子から"480i"の解像度で出力されます。
• [SDI 出力]端子と[HDMI]端子を同時に接続する場合、[SDI 出力]端から出力をするには“SDI/コンポーネント” に設定します。

- HDMI　出力解像度

設定値	内容
オート	接続した機器に適した解像度を自動で選択します。
480p	解像度を 480p に固定します。
1080i	解像度を 1080i に固定します。
720p	解像度を 720p に固定します。
1080p	解像度を 1080p に固定します。

メモ:
- “720p”に設定すると“720p”で録画された映像以外は、“1080i”で出力されますが画面では“720p”と表示されます。
- “アスペクト設定”を“16:9”に設定し、“HDMI　出力解像度”を“720p”、“1080i”または“1080p”のいずれかを選択して、4:3 のモニターを接続した場合は、コンポーネント出力からオンスクリーン表示が表示されない場合があります。
  この場合は、“映像優先モード”を“SDI/コンポーネント”に設定してください。
  “映像優先モード”を“SDI/コンポーネント”に設定すると、[映像出力]/[S 映像出力]端子からオンスクリーン表示が出力されない場合があります。
  この場合は、“HDMI　出力解像度”を“480i”または“480p”のどちらかに設定するか、“アスペクト設定”を“4:3”に設定してください。

- BD-Video 24p 出力

設定値	内容
切	“HDMI　出力解像度”の設定された解像度で出力されます。
入	24p 素材を 24p で出力します。

メモ:
- 24p で再生可能なのは 24p で記録された市販の BD-Video、BDMV となります。
  BDMV 以外の本機でダビング、録画された 24p コンテンツ、SD カードの 24p コンテンツは、再生時 60p または 60i として再生されます。
- “BD-ROM”および“DVD-Video”タイトルで有効です。また、24p 対応モニターに接続したときに有効となります。
- 24p 以外の素材は、60p で出力されます。
- [HDMI]端子から 1080/24p で出力中は、[映像出力]、[S 映像出力]および[コンポーネント映像出力]端子からは映像が出力されません。

- x.v.Color

設定値	内容
オート	x.v.Color 情報を持った映像を再生したときに、x.v.Color 情報をそのまま HDMI 出力します。
切	x.v.Color 情報を持った映像を再生したときに、x.v.Color 情報を HDMI 出力しません。

メモ:
- x.v.Color に対応したモニターに接続したときに有効となります。

- Deep Color

設定値	内容
オート	“Deep Color”対応機器と接続したときに設定します。
切	映像が乱れたときや、色が不自然なときに設定します。

- HDMI　RGB 出力レンジ

設定値	内容
スタンダード	標準のときに設定します。
エンハンス	映像の白黒がはっきりしないときに設定します。

メモ:
- RGB 入力のみに対応した DVI 機器と接続したときに有効になります。

- HDMI→DVI カラー

設定値	内容
オート	モニターに合わせて自動で設定します。
RGB 固定	モニターが正常に映らないときに設定します。

メモ:
- “x.v.Color”の設定が“切”のときに有効になります。
  “x.v.Color”の設定が“オート”のときは、強制的に“オート”に設定されます。
- DVI 機器に接続したときに、映像が出ない場合に設定します。

- HDMI　音声出力

設定値	内容
切	HDMI ケーブルから音声出力しない場合に設定します。
入	HDMI ケーブルから音声出力する場合に設定します。

■ HDMI-CEC

接続機器からの HDMI-CEC に対する動作を設定します。

設定値	内容
切	HDMI-CEC に対応しません。
入	HDMI-CEC に対応します。

■ SDI/コンポーネント出力解像度

[SDI 出力]端子と[コンポーネント映像出力]端子から出力する映像の解像度を設定します。

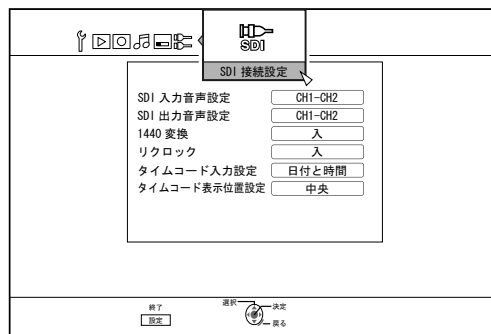
設定値	内容
480i	“480i”出力に設定します。
480p	“480p”出力に設定します。
720p	“720p”出力に設定します。
1080i	“1080i”出力に設定します。

メモ:
- “720p”に設定すると“720p”で録画された映像以外は、“1080i”で出力されますが画面では“720p”と表示されます。
- 本機は“1080p”コンポーネント出力に対応してません。“1080p”で出力したい場合は、HDMI 接続で出力してください。
- “映像優先モード”を“HDMI”にしている場合は、設定にかかわらず“480i”で出力します。
- “映像優先モード”を“SDI/コンポーネント”にしている場合、または HDMI 接続で出力している場合は、“720p”または“1080i”に設定しても“480p”で DVD ビデオ再生映像を出力します。
- 映像出力/S 映像出力のアスペクト比はコンポーネント出力の設定と連動します。コンテンツによっては映像出力/S 映像出力に、設定と違うアスペクト比で出力される場合があります。
- SDI 出力は、“480p”に設定しても“480i”で出力します。

■ 映像入力設定

外部アナログ入力端子を使用するときに、接続する映像端子に合わせて設定します。

設定値	内容
映像	映像（BNC 端子）で接続するときに設定します。
S 映像	S 映像（黒色の端子）で接続するときに設定します。

SDI 接続設定

SDI 入出力端子に関する設定をします。

■ SDI 入力音声設定

SD-SDI/HD-SDI 入力の視聴、音声の記録先の GROUP（Lch、Rch）を設定します。

設定値	内容
CH1-CH2	デジタル入力音声を、GROUP1 の CH-1 を Lch に、CH-2 を Rch にそれぞれ振り分けて記録する場合に設定します。
CH3-CH4	デジタル入力音声を、GROUP1 の CH-3 を Lch に、CH-4 を Rch にそれぞれ振り分けて記録する場合に設定します。
CH5-CH6	デジタル入力音声を、GROUP2 の CH-5 を Lch に、CH-6 を Rch にそれぞれ振り分けて記録する場合に設定します。
CH7-CH8	デジタル入力音声を、GROUP2 の CH-7 を Lch に、CH-8 を Rch にそれぞれ振り分けて記録する場合に設定します。
アナログ	アナログ音声信号を L/Rch に記録する場合に設定します。

メモ:
- SD-SDI/HD-SDI のデジタル入力音声（エンベデット音声）は、最大で 4 つのグループに、それぞれ 2 つのチャンネルペアを記録できます。（1 つのグループにつき計 4 ｃｈ）
- 本機ではグループ 1 およびグループ 2 を使用し、以下の組み合わせのいづれかで SD-SDI/HD-SDI のデジタル入力音声を記録します。

グループ番号	Lch	Rch
グループ 1	CH1	CH2
グループ 1	CH3	CH4
グループ 2	CH5	CH6
グループ 2	CH7	CH8

- SDI 出力音声設定

SD-SDI/HD-SDI 音声の出力先のチャンネル(Lch、Rch)を設定します。

設定値	内容
CH1-CH2	本機からの出力音声(Lch、Rch)を、Lch は CH1 に、Rch は CH2 に設定します。
CH3-CH4	本機からの出力音声(Lch、Rch)を、Lch は CH3 に、Rch は CH4 に設定します。
CH5-CH6	本機からの出力音声(Lch、Rch)を、Lch は CH5 に、Rch は CH6 に設定します。
CH7-CH8	本機からの出力音声(Lch、Rch)を、Lch は CH7 に、Rch は CH8 に設定します。

- 1440 変換

HD-SDI デジタル映像入力信号が 1080 である場合に、1920x1080 で記録するか、1440x1080 で記録するかを設定できます。

設定値	内容
切	対象となる SDI 信号を、1920x1080 のまま記録する場合に設定します。
入	対象となる SDI 信号を、1920x1080⇨1440x1080 に変換して記録する場合に設定します。

メモ:

- 本機能の対象となる SDI 映像入力信号は、1920x1080/59.94i、1920x1080/23.98p、1920x1080/23.98psf です。
- 本機で記録可能な SDI 映像入力信号は、1920x1080/59.94i、1280x720/59.94p、1920x1080/23.98p、1920x1080/23.98psf、720x480/59.94i(SD)です。

- リクロック

"入"に設定すると、[THROUGH OUT]の出力を更に安定させます。
入力信号をそのまま出力したい場合は、"切"に設定します。

設定値	内容
切	リクロック機能を使用しない場合に設定します。
入	リクロック機能を使用する場合に設定します。

- タイムコード入力設定

本機で SDI 入力信号を記録時に、タイムコードを付加するかどうかを設定します。

設定値	内容
切	タイムコードの入力を切る場合に設定します。
タイムコード	SDI 機器から多重入力されるタイムコードがある場合、その情報を SDI 入力映像に重ねて表示します。
日付と時間	本機の現在の日付・時刻情報を SDI 入力映像に重ねて表示します。

- タイムコード表示位置設定

タイムコードの表示位置を設定します。

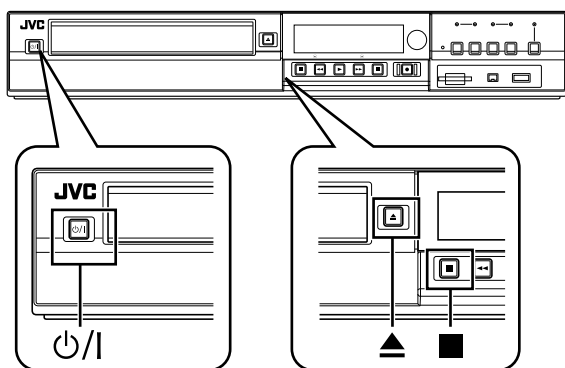
設定値	内容
左下	タイムコードの表示位置を左下に設定します。
右下	タイムコードの表示位置を右下に設定します。
左上	タイムコードの表示位置を左上に設定します。
右上	タイムコードの表示位置を右上に設定します。
中央	タイムコードの表示位置を中央に設定します。

トレイロックする

ディスクトレイをロックすると、[▲]ボタンを押してもディスクトレイが開閉しません。

メモ:
- ディスクトレイがロックされているときに[▲]ボタンが押すと、本体の表示窓に"LOCKED"と3秒間表示されます。

ディスクトレイをロックする

1 本体の[⏻/I]ボタンを押し、電源を"切"にする
2 本体の[■]ボタンを押しながら、[▲]ボタンを押す
- 本体の表示窓に"LOCKED"と表示され、ディスクトレイがロックされます。

ディスクトレイのロックを解除する

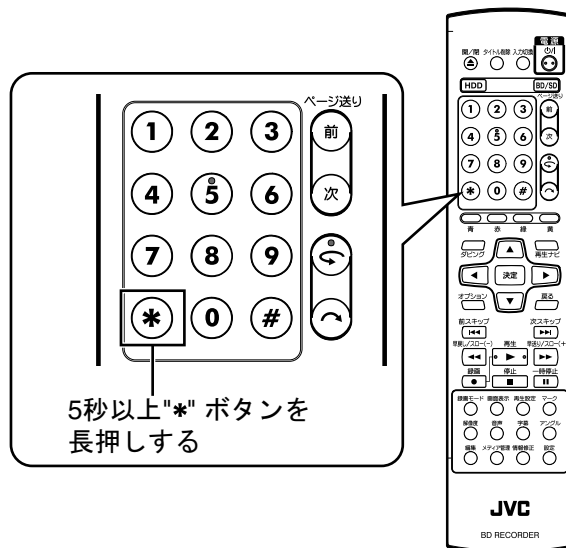
1 本体の[⏻/I]ボタンを押し、電源を"切"にする
2 本体の[■]ボタンを押しながら、[▲]ボタンを押す
- 本体の表示窓に"UNLOCK"と表示され、ディスクトレイのロックが解除されます。

モードロックする

モードロックすると、本体およびリモコンのボタンで"再生"および"録画"以外の操作ができなくなります。

メモ:
- 操作ができないボタンを押すと、本体の表示窓に“LOCKED”と3秒間表示されます。

モードロックする

1 "通常録画"、"停止"または"通常再生"のときに、リモコンの[∗]ボタンを5秒以上、長押しする
- 本体の表示窓に“LOCKED”と表示され、モードロックされます。

モードロックを解除する

1 モードロックされているときに、リモコンの[∗]ボタンを5秒以上、長押しする
- 本体の表示窓に“UNLOCK”と表示され、モードロックが解除されます。

ラストファンクションメモリー

本機の電源を切った(スタンバイ状態)とき、次の項目は、電源を切る前の設定内容が保持(記憶)されます。また、本機の電源プラグをコンセントから抜いても保持されます。

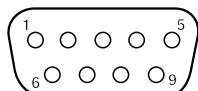
- 各種設定メニュー(☞78 〜 86 ページ)
- デッキ選択:HDD/BD/SD
- 録画モード:XP など (☞29 ページ)
- 外部入力選択:SDI、HDV/DV、L-1 (☞49 ページ)
- ディスク再生設定メニューのリピート再生 (☞59 ページ) DVD-Video/AVCHD/BDMV のタイトル/チャプターのみ保持されます。

RS-232C インターフェイス

コマンド表

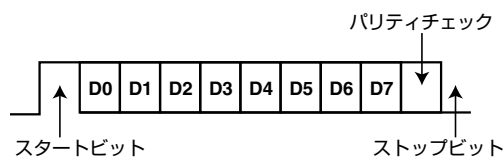
Lower Order → Higher Order ↓	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		Complete	Error	Cassette Out		Not Target					ACK	NAK				
1																
2																
3											Play					Stop
4																Still
5							Clear									
6	Sense Chapter	Title Sense														
7																
8	Chapter Search	Title Search													Date Preset	Clock Preset
9	Finalize	Cancel-Disc Finalization	Disc Erase	TOP MENU	MEDIA MANAGE	NEXT CHAPTER	PREV CHAPTER	Setup	SET	UP	DOWN	RIGHT	LEFT	Next Title	Prev Title	Remote Data
A	Standby On	Standby Off		Eject								FF	REW	Fwd Field Step	Rev Field Step	
B						Fwd Shtl	Rev Shtl		Select Preset	Select Sense					Date Data Sense	Clock Data Sense
C											Rec					
D								Status Sense	Tc Data Sense	CTL Data Sense				JVC Status Sense		
E																
F	Command Target										Rec/Dub Request					

仕様

- ピンレイアウト

ピン No.	信号	動作	信号の方向
2	TxD	送信データ	本機 ⇨ PC
3	RxD	受信データ	本機 ⇦ PC
5	GND	シグナルグランド	

モード　：　非同期
キャラクター長　：　8 ビット
パリティー　：　奇数（Odd）
スタートビット　：　1
ストップビット　：　1
データ速度　：　9600 bps

- ビット構成

メモ:

- シリアルコネクターを使用する場合は RS-232C インターフェイスケーブル(ストレートタイプ、長さ 3 m 以下)を使用してください。
- コマンドを転送する際、各コマンドごとに 50 m 秒以上の間隔をあけてください。
- コマンドを転送する際、各コマンドに対するデッキ側からの ACK（"情報取得コマンド" (☞96 ページ) を参照)、もしくはレスポンス（"レスポンスコマンド" (☞96 ページ) を参照）を受信するまでは、次のコマンドを発行しないでください。
- 各コマンドに対するデッキ側からの ACK もしくはレスポンスの最大待ち時間の推奨値は以下の通りです。

ACK　：　50m 秒程度
レスポンス　：　5 秒程度

コマンド

■ 制御コマンド

BD および HDD の再生や録画などの動作の制御コマンド

コマンド	説明
3A	Play:選択したデッキを再生します。
3F	Stop:選択したデッキを停止します。停止状態中に押した場合は、リジュームをがクリアされます。「FA:Rec Request」がクリアされます。
4F	Still:選択したデッキを一時停止します。
56	Clear: エラーステータスを消去するコマンドです。
80	Chapter Search:指定したチャプターを検索して、再生します。
81	Title Search:指定したオリジナルまたはプレイリストのタイトルを検索して、タイトルの始めから再生します。
8E	Date Preset:日付の設定を行います。
8F	Clock Preset:時刻の設定を行います。
90	Finalize:ディスクのファイナライズを行います。(BD デッキ)
91	Cancel Disc Finalization:ディスクのファイナライズを解除します。(BD デッキ)
92	Disc Erase:リライタブルディスクの消去を行います。
93	TOP MENU:ディスクのトップメニューを表示/非表示します。(BD デッキ)
94	MEDIA MANAGE:メディア管理のメニューを表示/非表示します。(BD デッキ)
95	NEXT CHAPTER:次のチャプターに移動します。リモコンのスキップボタン ▶▶| を押したときと同じ機能です。
96	PREV CHAPTER:前のチャプターに移動します。リモコンのスキップボタン |◀◀ を押したときと同じ機能です。
97	Setup:設定、編集、再生ナビ、ダビング画面を表示/非表示します。 97⇨ 30:画面を閉じます。 97⇨ 31:メニュー画面を表示します。 97⇨ 32:ナビゲーション画面を表示します。 97⇨ 35:編集画面を表示します。 97⇨ 37:ダビング画面を表示します。
98	SET:決定ボタン。
99	UP:上矢印ボタン。
9A	DOWN:下矢印ボタン。
9B	RIGHT:右矢印ボタン。
9C	LEFT:左矢印ボタン。
9D	Next Title:次のタイトルに移動します。リモコンのスキップボタン ▶▶| を押したときと同じ機能です。
9E	Prev Title:前のタイトルに移動します。リモコンのスキップボタン |◀◀ を押したときと同じ機能です。
9F	Remote Data:RS-232C 経由でワイヤードリモコンと同じコードを送ります。
A0	Standby On:電源オン
A1	Standby Off:電源オフ
A3	Eject:ディスクトレイの開閉。(BD デッキ)
AB	FF:再生中のみ動作します。スロー再生/早送り再生となります。
AC	REW:再生中のみ動作します。逆転スロー再生/早戻し再生となります。
AD	Fwd Field Step:順方向のコマ送りキー。静止画モード中にこのコマンドを受け付けると、順方向に 1 フレーム(または 1 フィールド)進ませます。
AE	Rev Field Step:逆方向のコマ送りキー。静止画モード中にこのコマンドを受け付けると、逆方向に 1 フレーム(または 1 フィールド)戻します。
B5	Fwd Shtl:再生中のみ動作します。スロー再生/早送り再生となります。 B5 ⇨ 30:一時停止 B5 ⇨ 31:遅いスロー再生。 B5 ⇨ 33:早いスロー再生。 B5 ⇨ 35:1x B5 ⇨ 36:早い早送り再生。 B5 ⇨ 37:さらに早い早送り再生。 B5 ⇨ 38:もっとも早い早送り再生。
B6	Rev Shtl:再生中のみ動作します。逆転スロー再生/早戻し再生となります。 B6 ⇨ 30:一時停止 B6 ⇨ 31:遅い逆転スロー再生。 B6 ⇨ 33:早い逆転スロー再生。 B6 ⇨ 36:早い早戻し再生。 B6 ⇨ 37:さらに早い早戻し再生。 B6 ⇨ 38:もっとも早い早戻し再生。
B8	Select Preset:入出力、録画モード、音声選択、字幕選択の設定を行います。
CA	Rec:「FA:Rec Request」にて録画が許可されている場合に、選択されているデッキの録画を始めます。
F0	Command Target: F0 ⇨ 34:HDD デッキを選択します。 F0 ⇨ 38:BD デッキを選択します。 F0 ⇨ 3C:SD デッキを選択します。
FA	Rec/Dub Request:録画許可を出します。このコマンドは、「Stop」コマンドを送信するまで維持されます。

80-8F

80： チャプターサーチ

	1 バイト	**2 バイト**	**3 バイト**
チャプターサーチ	100 の位	10 の位	1 の位
アスキーコード(30 - 39)	3*	3*	3*
例:012	30	31	32

例 ： チャプター 12 を検索する場合。

81： オリジナルのタイトルサーチ

	1 バイト	**2 バイト**	**3 バイト**	**4 バイト**
タイトルサーチ(オリジナル)	30	100 の位	10 の位	1 の位
アスキーコード(30 - 39)	30	3*	3*	3*
例:345	30	33	34	35

例 ： オリジナルのタイトル 345 を検索する場合。

81： プレイリストのタイトルサーチ

	1 バイト	**2 バイト**	**3 バイト**	**4 バイト**
タイトルサーチ(プレイリスト)	38	100 の位	10 の位	1 の位
アスキーコード(30 - 39)	38	3*	3*	3*
例:28	38	30	32	38

例 ： プレイリストのタイトル 28 を検索する場合。

8E： 日付プリセット

	1 バイト	**2 バイト**	**3 バイト**	**4 バイト**	**5 バイト**	**6 バイト**
日付プリセット	月(10 の位)	月(1 の位)	日(10 の位)	日(1 の位)	年(10 の位)	年(1 の位)
アスキーコード(30 - 39)	3*	3*	3*	3*	3*	3*
例:.2012 年 9 月 14 日の場合	30	39	31	34	31	32

例 ： 2012 年 9 月 14 日に設定する場合。

8F： 時間プリセット

	1 バイト	**2 バイト**	**3 バイト**	**4 バイト**	**5 バイト**	**6 バイト**
時間プリセット	時(10 の位)	時(1 の位)	分(10 の位)	分(1 の位)	秒(10 の位)	秒(1 の位)
アスキーコード(30 - 39)	3*	3*	3*	3*	3*	3*
例:12:34:56	31	32	33	34	35	36

例 ： 12 時 34 分 56 秒に設定する場合

9F

9F： リモートデータ

RS-232C 経由でワイヤードリモコンと同じコードを送ります。備考欄に何も記載されていない項目は、HDD/BD/SD デッキ時に動作します。

コード	項目	備考
01	入力切換	
03	停止	
06	早送り／スピード＋	
07	早戻し／スピードー	
0B	電源入り／切り	
0C	再生	
0D	一時停止／静止画	
14	スキップ＋	
15	スキップー	
17	音声	
1A	Standby Off：電源オフ	
1D	Standby On：電源オン	
21	数字ボタン 1	
22	数字ボタン 2	
23	数字ボタン 3	
24	数字ボタン 4	
25	数字ボタン 5	
26	数字ボタン 6	
27	数字ボタン 7	
28	数字ボタン 8	
29	数字ボタン 9	
2A	ボタン ＊	
2B	数字ボタン 0	
2C	ボタン#	
31	録画モード（XP/SP/LP/EP…）	
32	BD/DVD デッキ	
34	ダビング	
37	設定	
3C	決定／OK	
3E	画面表示	
44	HDD デッキ	
48	メディア管理	
80	右矢印ボタン	
81	メニュー	BD/DVD デッキのみ
82	上矢印ボタン	
84	左矢印ボタン	
86	下矢印ボタン	
87	開／閉	BD/DVD デッキのみ
8E	プログレッシブ	HDD/BD デッキのみ
8F	トップメニュー	DVD デッキのみ
90	マーク	HDD/DVD デッキのみ
96	CM スキップ	
AF	逆転コマ送り	
B0	逆転スロー D	
B1	シャトルー C	
B2	シャトルー B	
B3	シャトルー A	
B4	シャトルー 2	
B5	シャトルー 1	
B6	逆転スロー B	
B7	逆転スロー C	
B8	スロー C	
B9	スロー B	
BA	シャトル+1	
BB	シャトル+2	
BC	シャトル+A	
BD	シャトル+B	
BE	シャトル+C	
BF	スロー D	
C0	アングル／現在録画確認	アングル：BD/DVD デッキのみ 現在録画確認：HDD/BD デッキのみ
C4	字幕	DVD デッキのみ
CC	録画	
D3	オプション	
D4	リターン	
D5	青	
D7	赤	
D9	ジョグ -1/6	
DA	ジョグ+1/6	
DB	ジョグ+1	
DC	ちょっと見バック	

DD	編集	
DE	緑	
DF	黄	
E0	ナビゲーション	
E1	L-1 S 映像入力選択	HDD デッキのみ
E2	L-1 映像入力選択	HDD デッキのみ
E3	再生設定	
E4	番組消去	
E5	情報修正	
ED	コマ送り	
F2	モードロック	

B8

B8： 入力／出力選択

		1 バイト	2 バイト
外部入力選択	L-1 映像	30	31
外部入力選択	L-1 S 映像	30	39
外部入力選択	DV	30	34
外部入力選択	SDI	30	35

B8： 録画モード選択

	1 バイト	2 バイト
XP	34	30
SP	34	31
LP	34	32
EP	34	33
DR1	34	40
DR2	34	41
DR3	34	42
DR4	34	43

字幕言語選択

B8： 字幕言語選択

	1st Byte	2nd Byte		1st Byte	2nd Byte		1st Byte	2nd Byte		1st Byte	2nd Byte
OFF	3C	10	EL	3C	31	LO	3C	56	SL	3C	78
日本語	3C	11	EO	3C	32	LT	3C	57	SM	3C	79
英語	3C	12	ET	3C	33	LV	3C	58	SN	3C	7A
ドイツ語	3C	13	EU	3C	34	MG	3C	59	SO	3C	7B
フランス語	3C	14	FA	3C	35	MI	3C	5A	SQ	3C	7C
イタリア語	3C	15	FJ	3C	36	MK	3C	5B	SR	3C	7D
スペイン語	3C	16	FO	3C	37	ML	3C	5C	SS	3C	7E
オランダ語	3C	17	FY	3C	38	MN	3C	5D	ST	3C	7F
スウェーデン語	3C	18	GA	3C	39	MO	3C	5E	SU	3C	80
ノルウェー語	3C	19	GD	3C	3A	MR	3C	5F	SW	3C	81
フィンランド語	3C	1A	GL	3C	3B	MS	3C	60	TA	3C	82
デンマーク語	3C	1B	GN	3C	3C	MT	3C	61	TE	3C	83
AA	3C	1C	GU	3C	3D	MY	3C	62	TG	3C	84
AB	3C	1D	HA	3C	3E	NA	3C	63	TH	3C	85
AF	3C	1E	HI	3C	3F	NE	3C	64	TI	3C	86
AM	3C	1F	HR	3C	40	OC	3C	65	TK	3C	87
AR	3C	20	HU	3C	41	OM	3C	66	TL	3C	88
AS	3C	21	HY	3C	42	OR	3C	67	TN	3C	89
AY	3C	22	IA	3C	43	PA	3C	68	TO	3C	8A
AZ	3C	23	IE	3C	44	PL	3C	69	TR	3C	8B
BA	3C	24	IK	3C	45	PS	3C	6A	TS	3C	8C
BE	3C	25	IS	3C	47	PT	3C	6B	TT	3C	8D
BG	3C	26	KA	3C	4B	QU	3C	6C	TW	3C	8E
BH	3C	27	KK	3C	4C	RM	3C	6D	UK	3C	8F
BI	3C	28	KL	3C	4D	RN	3C	6E	UR	3C	90
BN	3C	29	KM	3C	4E	RO	3C	6F	UZ	3C	91
BO	3C	2A	KN	3C	4F	RU	3C	70	VI	3C	92
BR	3C	2B	KO	3C	50	RW	3C	71	VO	3C	93
CA	3C	2C	KS	3C	51	SA	3C	72	WO	3C	94
CO	3C	2D	KU	3C	52	SD	3C	73	XH	3C	95
CS	3C	2E	KY	3C	53	SG	3C	74	YO	3C	96
CY	3C	2F	LA	3C	54	SI	3C	76	ZH	3C	97
DZ	3C	30	LN	3C	55	SK	3C	77	ZU	3C	98

"言語コード一覧表" (☞100 ページ)

音声言語選択

B8： 音声言語選択

	1st Byte	2nd Byte		1st Byte	2nd Byte		1st Byte	2nd Byte		1st Byte	2nd Byte
日本語	39	11	EO	39	32	LT	39	57	SM	39	79
英語	39	12	ET	39	33	LV	39	58	SN	39	7A
ドイツ語	39	13	EU	39	34	MG	39	59	SO	39	7B
フランス語	39	14	FA	39	35	MI	39	5A	SQ	39	7C
イタリア語	39	15	FJ	39	36	MK	39	5B	SR	39	7D
スペイン語	39	16	FO	39	37	ML	39	5C	SS	39	7E
オランダ語	39	17	FY	39	38	MN	39	5D	ST	39	7F
スウェーデン語	39	18	GA	39	39	MO	39	5E	SU	39	80
ノルウェー語	39	19	GD	39	3A	MR	39	5F	SW	39	81
フィンランド語	39	1A	GL	39	3B	MS	39	60	TA	39	82
デンマーク語	39	1B	GN	39	3C	MT	39	61	TE	39	83
AA	39	1C	GU	39	3D	MY	39	62	TG	39	84
AB	39	1D	HA	39	3E	NA	39	63	TH	39	85
AF	39	1E	HI	39	3F	NE	39	64	TI	39	86
AM	39	1F	HR	39	40	OC	39	65	TK	39	87
AR	39	20	HU	39	41	OM	39	66	TL	39	88
AS	39	21	HY	39	42	OR	39	67	TN	39	89
AY	39	22	IA	39	43	PA	39	68	TO	39	8A
AZ	39	23	IE	39	44	PL	39	69	TR	39	8B
BA	39	24	IK	39	45	PS	39	6A	TS	39	8C
BE	39	25	IS	39	47	PT	39	6B	TT	39	8D
BG	39	26	KA	39	4B	QU	39	6C	TW	39	8E
BH	39	27	KK	39	4C	RM	39	6D	UK	39	8F
BI	39	28	KL	39	4D	RN	39	6E	UR	39	90
BN	39	29	KM	39	4E	RO	39	6F	UZ	39	91
BO	39	2A	KN	39	4F	RU	39	70	VI	39	92
BR	39	2B	KO	39	50	RW	39	71	VO	39	93
CA	39	2C	KS	39	51	SA	39	72	WO	39	94
CO	39	2D	KU	39	52	SD	39	73	XH	39	95
CS	39	2E	KY	39	53	SG	39	74	YO	39	96
CY	39	2F	LA	39	54	SI	39	76	ZH	39	97
DZ	39	30	LN	39	55	SK	39	77	ZU	39	98
EL	39	31	LO	39	56	SL	39	78			

"言語コード一覧表" (☞100 ページ)

レスポンスコマンド

デッキ側から送られてくるコマンドです。

コマンド	説明
01	Complete: Finalize などで、指示された動作がすべて終了したときにデッキ側から出力されます。
02	Error: 前後関係などから、受け付け不可能なコマンドを受けるとデッキ側から出力されます。この状態のときにコマンドを送っても無効です。ただし、Status Sense にのみリターンを返します。エラー状態の解除は、「56:Clear」にて行います。
05	Not Target: Finalize などで、指示された動作が正常に終了できないときにデッキ側から出力されます。
0A	ACK: 定義されたコマンドを受け取ったときに返すコマンドです。
0B	NAK: 未定義、または存在しないコマンドを受け取ったときに返すコマンドです。
03	Cassette Out：HDD/DVD デッキが選択されている場合、トレー OPEN/CLOSE 処理終了時に出力されます。

情報取得コマンド

デッキ側の情報（動作状態など）を得られます。

コマンド	説明
60	Chapter Sense：現在のチャプター番号が得られます。(*)
61	Title/Track Sense：オリジナルまたはプレイリストの現在のタイトル番号を得られます。(*)
B9	Select Sense：入力、出力、録画モード、音声言語、字幕言語の状態を得られます。(*)
BE	Date Data Sense：現在の日付データを得られます。(*)
BF	Time Sense：現在の時刻データを得られます。(*)
D7	Status Sense：デッキの状態を得られます。(*)
D8	TC Data Sense：選択したデッキの現在の録画モードによる残量時間を得られます。(*)
D9	CTL Data Sense：選択したデッキの経過カウンターを得られます。(*)
DD	JVC Status Sense：デッキの状態を得られます。(*)
FB	VTR Ind: 外部レコーダーの接続を確認するコマンドです。

(*)： データフォーマットについては、(☞96 ～ 99 ページ)をご覧ください。

シーン

• Chapter Sense

	1 バイト	2 バイト	3 バイト
Chapter Sense	100 の位	10 の位	1 の位
60	3*	3*	3*
例：012	30	31	32

例 ： 現在のチャプター番号が 12 の場合。

- オリジナルの Title/Track Sense

	1 バイト	2 バイト	3 バイト	4 バイト
Title/Track Sense（オリジナル）	30	100 の位	10 の位	1 の位
61	30	3*	3*	3*
例：345	30	33	34	35

例　：オリジナルのタイトル番号が 345 の場合。

- プレイリストの Title/Track Sense

	1 バイト	2 バイト	3 バイト	4 バイト
Title/Track Sense（プレイリスト）	38	100 の位	10 の位	1 の位
61	38	3*	3*	3*
例：28	38	30	32	38

例　：プレイリストのタイトル番号が 28 の場合。

- Select Sense

	1 バイト	2 バイト	3 バイト	4 バイト	5 バイト
Select Sense	外部入力選択	出力	録画モード	音声言語	字幕言語
B9	3*	3*	**	**	**
例：3930311213	39	30	31	12	13

例　：デッキ側の状態が以下の場合
外部入力 ⇨ L-1 S 映像
出力 ⇨ 共通出力　(0 固定)
録画モード ⇨ SP
音声言語 ⇨ 英語
字幕言語 ⇨ ドイツ語
B9 のレスポンスデータの形式については、“B8 (Select Preset)”(☞93 〜 95 ページ)を参照してください。
状態が取得できない場合は、「－」（0x2D）に固定されます。

- Date Data Sense

ASCII コードで取得した現在の年、月、日

	1 バイト	2 バイト	3 バイト	4 バイト	5 バイト	6 バイト
Date Data Sense	月（10 の位）	月（1 の位）	日（10 の位）	日（1 の位）	年（10 の位）	年（1 の位）
BE	3*	3*	3*	3*	3*	3*
例：.2012 年 9 月 14 日の場合	30	39	31	34	31	32

日付が設定されていない場合は、「－」（0x2D）に固定されます。

- Time Data Sense

ASCII コードで取得した現在の時間、分、秒

	1 バイト	2 バイト	3 バイト	4 バイト	5 バイト	6 バイト
Time Sense	時（10 の位）	時（1 の位）	分（10 の位）	分（1 の位）	秒（10 の位）	秒（1 の位）
BF	3*	3*	3*	3*	3*	3*
例：12:34:56	31	32	33	34	35	36

時刻が設定されていない場合は、「－」（0x2D）に固定されます。

- Status Data Sense

取得した HDD/BD/SD の残り録画時間、分、秒

D7 STATUS SENSE	1 バイト	1 バイト	1 バイト	2 バイト	3 バイト	4 バイト	5 バイト
	HDD	BD	SD	HDD/BD/SD	HDD/BD/SD	HDD/BD/SD	HDD/BD/SD
ビット 7	1（固定）	1（固定）	1（固定）	Video が EE	0（固定）	再生中	一時停止中（静止画時に、「再生中」と同時に 1 にする。録画一時停止時に、「録画中」と同時に 1 にする。）
ビット 6	0（固定）	1（固定）	1（固定）	Audio が EE	0（固定）	0（固定）	0（固定）
ビット 5	0（固定）	0（固定）	1（固定）	0（固定）	0（固定）	0（固定）	逆方向のシャトルサーチ（静止画を除く）
ビット 4	録画禁止状態	録画禁止状態	1（固定）	0（固定）	0（固定）	停止中	順方向のシャトルサーチ（静止画を除く）
ビット 3	ディスク未挿入	ディスク未挿入	ディスク未挿入	VTR の異常が発生	0（固定）	スタンバイ中（本体の電源はオフ）	サーチスピードの表を参照。
ビット 2	0（固定）	0（固定）	0（固定）	0（固定）	リピート再生中（一時停止含む）	0（固定）	サーチスピードの表を参照。
ビット 1	0（固定）	0（固定）	0（固定）	0（固定）	0（固定）	録画中	サーチスピードの表を参照。
ビット 0	RS-232C コマンドエラー。（「56」コマンドでクリアーする。）	RS-232C コマンドエラー。（「56」コマンドでクリアーする。）	RS-232C コマンドエラー。（「56」コマンドでクリアーする。）	0（固定）	0（固定）	0（固定）	サーチスピードの表を参照。

- TC Data Sense

	1 バイト	2 バイト	3 バイト	4 バイト	5 バイト	6 バイト	7 バイト	8 バイト
TC Data Sense	時（10 の位）	時（1 の位）	分（10 の位）	分（1 の位）	秒（10 の位）	秒（1 の位）	フレーム（10 の位）	フレーム（1 の位）
D8	3*	3*	3*	3*	3*	3*	3*	3*
例：01:23:45	30	31	32	33	34	35	30	30

例　：　選択したデッキの現在の録画モードによる残量時間が、1 時間 23 分 45 秒の場合

フレームは、0 固定です。

- サーチスピード

	ビット3	ビット2	ビット1	ビット0
一時停止	0	0	0	0
x1	0	0	0	1
サーチ 1	0	1	0	0
サーチ 2	0	1	0	1
サーチ 3	0	1	1	0
サーチ 4	0	1	1	1
サーチ 5	1	0	0	0

- CTL Data Sense

取得したデッキの経過時間、分、秒

	1 バイト	2 バイト	3 バイト	4 バイト	5 バイト	6 バイト	7 バイト	8 バイト
CTL Data Sense	時(10 の位)	時(1 の位)	分(10 の位)	分(1 の位)	秒(10 の位)	秒(1 の位)	フレーム (10 の位)	フレーム (1 の位)
D9	3*	3*	3*	3*	3*	3*	3*	3*
例:01:23:45	30	31	32	33	34	35	30	30

例 : 選択したデッキの経過カウンターが、1 時間 23 分 45 秒の場合
フレームは、0 固定です。

- JVC Status Sense

	1 バイト	2 バイト	3 バイト	4 バイト
	HDD/BD/SD	HDD/BD/SD	HDD/BD/SD	HDD/BD/SD
ビット 7	1(固定)	0(固定)	1(固定)	1(固定)
ビット 6	0(固定)	0(固定)	0(固定)	1(固定)
ビット 5	0(固定)	1(固定)	0(固定)	0(固定)
ビット 4	0(固定)	0(固定)	0(固定)	0(固定)
ビット 3	0(固定)	以下のディスクタイプの表を参照	0(固定)	ダビング中(一停止含む)
ビット 2	0(固定)	以下のディスクタイプの表を参照	0(固定)	0(固定)
ビット 1	0(固定)	以下のディスクタイプの表を参照	0(固定)	0(固定)
ビット 0	1(固定)	以下のディスクタイプの表を参照	ダビング中(一停止含む)	0(固定)

- ディスクタイプ

	ビット3	ビット2	ビット1	ビット0		ビット3	ビット2	ビット1	ビット0
DVD	0	0	0	0	CD	0	1	1	1
DVD-RAM	0	0	0	1	BD-ROM	1	0	0	0
DVD-R	0	0	1	0	BD-R	1	0	0	1
DVD-RW	0	0	1	1	BD-RE	1	0	1	0
DVD+R	0	0	0	0	ディスク無し	1	1	1	1
DVD+RW	0	0	0	0	不明	1	1	1	0

SD デッキが選択されている場合は、ビット 3:0 ビット 2:0 ビット 1:1 ビット 0:0 に固定されます。

言語コード一覧表

コード	言語名	コード	言語名	コード	言語名
AA	アファル語	HI	ヒンディー語	OS	オセット語
AB	アブハズ語	HO	ヒリモトゥ語	PA	パンジャーブ語
AF	アフリカーンス語	HU	ハンガリー語	FA	ペルシア語
AK	アカン語	IG	イボ語	PI	パーリ語
SQ	アルバニア語	IS	アイスランド語	PL	ポーランド語
AM	アムハラ語	IO	イド語	PT	ポルトガル語
AR	アラビア語	II	彝語（ロロ語）	PS	パシュトー語
AN	アラゴン語	IU	イヌイット語	QU	ケチュア語
HY	アルメニア語	IE	インターリング	RM	レト･ロマン語
AS	アッサム語	IA	インターリングア (International Auxiliary language Association)	RO	ルーマニア語
AV	アヴァール語	ID	インドネシア語	RN	ルンディ語
AE	アヴェスター語	IK	イヌピア語	RU	ロシア語
AY	アイマラ語	IT	イタリア語	SG	サンゴ語
AZ	アゼルバイジャン語	JV	ジャワ語	SA	サンスクリット
BA	バシキール語	JA	日本語	SR	セルビア語
BM	バンバラ語	KL	グリーンランド語	HR	クロアチア語
EU	バスク語	KN	カンナダ語	SI	シンハラ語
BE	ベラルーシ語	KS	カシミール語	SK	スロバキア語
BN	ベンガル語	KR	カヌリ語	SL	スロベニア語
BH	ビハール語	KK	カザフ語	SE	サモス語
BI	ビスラマ語	KM	クメール語	SM	サモア語
BS	ボスニア語	KI	キクユ語	SN	ショナ語
BR	ブルトン語	RW	ルワンダ語	SD	シンディー語
BG	ブルガリア語	KY	キルギス語	SO	ソマリ語
MY	ビルマ語	KV	コミ語	ST	南ソト語
CA	カタルーニャ語,バレンシア語	KG	コンゴ語	ES	スペイン語
CH	チャモロ語	KO	韓国語	SC	サルデーニャ語
CE	チェチェン語	KJ	クワニャマ語	SS	スワージ語
ZH	中国語	KU	クルク語	SU	スンダ語
CU	古代教会スラヴ語	LO	ラーオ語	SW	スワヒリ語
CV	チュヴァシ語	LA	ラテン語	SV	スウェーデン語
KW	コーンウォル語	LV	ラトビア語	TY	タヒチ語
CO	コルシカ語	LI	リンブルフ語	TA	タミル語
CR	クリー語	LN	リンガラ語	TT	タタール語
CS	チェコ語	LT	リトアニア語	TE	テルグ語
DA	デンマーク語	LB	ルクセンブルク語	TG	タジク語

DV	ディベヒ語	LU	ルバ語	TL	タガログ語
NL	オランダ語	LG	ガンダ語	TH	タイ語
DZ	ゾンカ語	MK	マケドニア語	BO	チベット語
EN	英語	MH	マーシャル語	TI	ティグリニア語
EO	エスペラント	ML	マラヤーラム語	TO	トンガ語 (トンガ)
ET	エストニア語	MI	マオリ語	TN	ツワナ語
EE	エウェ語	MR	マラッタ語	TS	ツォンガ語
FO	フェロー語	MS	マレー語	TK	トルクメン語
FJ	フィジー語	MG	マダガスカル語	TR	トルコ語
FI	フィンランド語	MT	マルタ語	TW	トウィ語
FR	フランス語	MO	モルダビア語	UG	ウイグル語
FY	フリジア語	MN	モンゴル語	UK	ウクライナ語
FF	フラ語	NA	ナウル語	UR	ウルドゥー語
KA	グルジア語	NV	ナヴァホ語	UZ	ウズベク語
DE	ドイツ語	NR	ヌデベレ語(南アフリカ)	VE	ベンダ語
GD	スコットランド・ゲール語	ND	マタベレ語	VI	ベトナム語
GA	アイルランド語	NG	ンドンガ語	VO	ヴォラピュク
GL	ガリシア語	NE	ネパール語	CY	ウェールズ語
GV	マン島語	NN	ニーノシュク(ノルウェー語)	WA	ワロン語
EL	ギリシア語 (1453 年以降)	NB	ブークモール(ノルウェー語)	WO	ウォロフ語
GN	グアラニー語	NO	ノルウェー語	XH	コサ語
GU	グジャラート語	NY	ニャンジャ語	YI	イディッシュ語
HT	ハイチクレオール語	OC	オック語 (1500 年以降)	YO	ヨルバ語
HA	ハウサ語	OJ	オジブワ語	ZA	チワン語
HE	ヘブライ語	OR	オリヤー語	ZU	ズールー語
HZ	ヘレロ語	OM	オロモ語		

カントリーコード一覧表

コード	国名	コード	国名	コード	国名
AD	Andorra	GM	Gambia	NU	Niue
AE	United Arab Emirates	GN	Guinea	NZ	New Zealand
AF	Afghanistan	GP	Guadeloupe	OM	Oman
AG	Antigua and Barbuda	GQ	Equatorial Guinea	PA	Panama
AI	Anguilla	GR	Greece	PE	Peru
AL	Albania	GS	South Georgia and South Sandwich Islands	PF	Polynesia
AM	Armenia	GT	Guatemala	PG	Papua New Guinea
AN	Netherlands Antilles	GU	Guam	PH	Philippines
AO	Angola	GW	Guinea-Bissau	PK	Pakistan
AQ	Antarctica	GY	Guyana	PL	Poland
AR	Argentina	HK	Hong Kong	PM	Saint Pierre and Miquelon
AS	American Samoa	HM	Heard and McDonald Islands	PN	Pitcairn Islands
AT	Austria	HN	Honduras	PR	Puerto Rico
AU	Australia	HR	Croatia	PT	Portugal
AW	Aruba	HT	Haiti	PW	Palau
AZ	Azerbaijan	HU	Hungary	PY	Paraguay
BA	Bosnia and Herzegovina	ID	Indonesia	QA	Qatar
BB	Barbados	IE	Ireland	RE	Reunon Island
BD	Bangladesh	IL	Israel	RO	Romania
BE	Belgium	IN	India	RU	Russian Federation
BF	Burkina Faso	IO	British Indian Ocean Territory	RW	Rwanda
BG	Bulgaria	IQ	Iraq	SA	Saudi Arabia
BH	Bahrain	IR	Iran	SB	Solomon Islands
BI	Burundi	IS	Iceland	SC	Seychelles
BJ	Benin	IT	Italy	SD	Sudan
BM	Bermuda	JM	Jamaica	SE	Sweden
BN	Brunei	JO	Jordan	SG	Singapore
BO	Bolivia	JP	Japan	SH	Saint Helena
BR	Brazil	KE	Kenya	SI	Slovenia
BS	Bahamas	KG	Kyrgyzstan	SJ	Svalbard and Jan Mayen Islands
BT	Bhutan	KH	Cambodia	SK	Slovakia
BV	Bouvet Island	KI	Kiribati	SL	Sierra Leone
BW	Botswana	KM	Comoros	SM	San Marino
BY	Belarus	KN	Saint Kitts and Nevis	SN	Senegal
BZ	Belize	KP	Korea、Democratic People's Republic of	SO	Somalia
CA	Canada	KR	Korea、Republic of	SR	Suriname

CC	Cocos Islands	KW	Kuwait	ST	Sao Tome and Principe
CF	Central African Republic	KY	Cayman Islands	SV	El Salvador
CG	Congo、Republic of	KZ	Kazakhstan	SY	Syria
CH	Switzerland	LA	Laos	SZ	Swaziland
CI	Cote d'Ivoire	LB	Lebanon	TC	Turks and Caicos Islands
CK	Cook Islands	LC	Saint Lucia	TD	Chad
CL	Chile	LI	Liechtenstein	TF	French Southern Territories
CM	Cameroon	LK	Sri Lanka	TG	Togo
CN	China	LR	Liberia	TH	Thailand
CO	Colombia	LS	Lesotho	TJ	Tajikistan
CR	Costa Rica	LT	Lithuania	TK	Tokelau
CU	Cuba	LU	Luxembourg	TM	Turkmenistan
CV	Cape Verde	LV	Latvia	TN	Tunisia
CX	Christmas Island	LY	Libya	TO	Tonga
CY	Cyprus	MA	Morocco	TP	East Timor
CZ	Czech Republic	MC	Monaco	TR	Turkey
DE	Germany	MD	Moldova	TT	Trinidad and Tobago
DJ	Djibouti	MG	Madagascar	TV	Tuvalu
DK	Denmark	MH	Marshall Islands	TW	Taiwan
DM	Dominica、Commonwealth of	ML	Mali	TZ	Tanzania
DO	Dominican Republic	MM	Myanmar	UA	Ukraine
DZ	Algeria	MN	Mongolia	UG	Uganda
EC	Ecuador	MO	Macau	UM	Minor Outlying Islands
EE	Estonia	MP	Northern Mariana Islands	US	United States
EG	Egypt	MQ	Martinique	UY	Uruguay
EH	Western Sahara	MR	Mauritania	UZ	Uzbekistan
ER	Eritrea	MS	Montserrat	VA	Vatican
ES	Spain	MT	Malta	VC	Saint Vincent and the Grenadine
ET	Ethiopia	MU	Mauritius	VE	Venezuela
FI	Finland	MV	Maldives	VG	British Virgin Islands
FJ	Fiji	MW	Malawi	VI	Virgin Islands of the United States
FK	Falkland Islands（Malvinas）	MX	Mexico	VN	Vietnam
FM	Micronesia（Federated States of）	MY	Malaysia	VU	Vanuatu
FO	Faroe Islands	MZ	Mozambique	WF	Wallis and Futuna
FR	France	NA	Namibia	WS	Samoa
FX	France、Metropolitan	NC	New Caledonia	YE	Yemen
GA	Gabon	NE	Niger	YT	Mayotte
GB	United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland	NF	Norfolk Island	YU	Yugoslavia
GD	Grenada	NG	Nigeria	ZA	South Africa
GE	Georgia	NI	Nicaragua	ZM	Zambia

その他

GF	French Guiana	NL	Netherlands	ZR	Zaire
GH	Ghana	NO	Norway	ZW	Zimbabwe
GI	Gibraltar	NP	Nepal		
GL	Greenland	NR	Nauru		

HDMI機器制御（HDMI CEC）機能を使用する

HDMI 機器制御機能について

- 本機と HDMI CEC 規格に準拠した連動機能に対応のテレビを HDMI ケーブルでつなぐことで、本機とテレビとの間で連動して操作することができる機能です。
- HDMI CEC（Consumer Electronics Control）は、HDMI ケーブルで接続することにより、対応機器間の相互連動動作を可能にした業界標準規格です。

HDMI 機器制御で連動する動作について

- 本機の電源を入れて以下の操作を行うと、テレビが自動的に本機が接続されている HDMI 入力に切り換わります。
  - HDD,BD/DVD や SD カードを再生する
  - [再生ナビ]または[設定]ボタンを押す
- テレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。
“HDD”、“BD/DVD”または“SD カード”のダビング中は、ダビング終了後に電源が切れます。

HDMI 機器制御機能を使う（有効にする）

1 本機と HDMI 機器制御に対応したテレビを HDMI ケーブルで接続する

2 “HDMI-CEC”の設定値を“入”に設定する。

- HDMI 機器制御機能が動作しない場合は、モニター (TV)の設定を確認してください。

メモ:
- HDMI 機器制御機能を使わない（無効にする）場合は、“HDMI-CEC”の設定値を“切”に設定してください。

ご注意:
- HDMI 機器制御に対応していないテレビと接続した場合は、HDMI 機器制御機能は使えません。
- HDMI ケーブルで接続しないと、HDMI 機器制御機能は使えません。

シームレスBDつくり方

ビデオカメラから HD 画質で HDD に取り込んだタイトルや部分削除などの編集をしたタイトルをディスクにダビングしたとき、シーンのつなぎ目がスムーズに再生されない場合があります。そのような場合は、メニュー“モード変換”の“シームレス”を実行してからダビングしてください。
詳しくは、"モード変換する" (☞77 ページ) を参照してください。

“モード変換”(シームレス変換、録画モード変換) を使ったシームレス BD のつくり方

- シームレス BDMV のつくり方

取り込みファイル	部分削除/チャプター削除をしないとき	部分削除/チャプター削除をするとき
AVCHD	録画モード変換	-
MOV*	変換不要	シームレス変換
SD-VIDEO(HD)* HDV	シームレス変換後、録画モード変換	シームレス変換後、録画モード変換

SD-VIDEO(HD)*：SD-VIDEO(JVC Everio MPEG2 TS)
MOV*　：JVC ProHD カムコーダー GY-HM750/150 で撮影した MOV 形式（SP モードおよび HQ モード）

- シームレス BDAV のつくり方

取り込みファイル	部分削除/チャプター削除をしないとき	部分削除/チャプター削除をするとき
AVCHD	変換不要	-
MOV*	変換不要	シームレス変換
SD-VIDEO(HD)* HDV	シームレス変換	シームレス変換

SD-VIDEO(HD)*：SD-VIDEO(JVC Everio MPEG2 TS)
MOV*　：JVC ProHD カムコーダー GY-HM750/150 で撮影した MOV 形式（SP モードおよび HQ モード）

メモ:
- BDMV へのダビングは録画モード指定ダビングはできません。
- シームレス変換前に録画モード変換を実行しないでください。シームレスにならなくなります。
- 部分削除、チャプター削除したタイトルはシームレス変換せずに BDMV にダビングできません。
- SD 画質で HDD に取り込んだタイトルの場合は、“設定メニュー一覧”の"シームレス再生"設定を入に設定し、再エンコードダビングするとシームレス DVD を作成できます。

詳しくは“設定メニュー一覧”の"シームレス再生" (☞81 ページ) を参照してください。

困ったときには

問題	症状	対処方法	参照ページ
電源が入らない	本体表示窓に"HELLO"と表示されたまま、起動しない。	前面の[RESET]スイッチを押す。 それでも起動しない場合は、本機の使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買上げの販売店または"お客様ご相談センター"にご相談ください。	(☞12 ページ)
冷却ファンモーターが動作しない。	本体表示窓に"FAN LOCKED"と表示される	冷却ファンモーターの動作異常です。本機の使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または"お客様相談センター"にご相談ください。	-
勝手に電源が切れる	"自動電源(切)"が"2 時間"または"6 時間"に設定されている。	設定メニュー"設置設定"の"自動電源(切)"を"切"に設定してください。	(☞79 ページ)
	本機の内部温度が上昇し、安全のため本機が動作を停止した。	しばらく(30 分間ほど)、出来るだけ風通しの良いところに設置して、お待ちください。	-
自動で電源が入る	"HDMI-CEC"が"入"に設定されている。	設定メニュー"機器接続設定"の"HDMI-CEC"を"切"に設定してください。	(☞85 ページ)
入力切り換えができない	i.LINK 接続で取り込んでいる。	取り込みを途中終了するか、終了するまでお待ちください。	(☞38 ページ)
映像がモニターに表示されない	モニターが RGB 入力のみに対応している。	設定メニュー"HDMI→DVI カラー"を"RGB 固定"に設定してください。	(☞85 ページ)
	"HDCP エラー"と表示される。	対応のモニターを使用してください。	-
	モニター(TV)と本機が HDMI ケーブルで接続されており、"HDMI　出力解像度"が"1080p"設定されている場合に、再エンコードダビングを行うと画面の映像が乱れる場合があります。	この症状は故障ではありません。もし気になるようでしたら"HDMI　出力解像度"を""1080p"以外("D3"など)に変更ください。	(☞85 ページ)
画面の映像が乱れる	モニター(TV)と本機が HDMI ケーブルで接続されており、"HDMI　出力解像度"が"1080p"設定されている場合に、再エンコードダビングを行うと画面の映像が乱れる場合があります。	この症状は故障ではありません。もし気になるようでしたら"HDMI　出力解像度"を""1080p"以外("D3"など)に変更ください。	(☞25 ページ)
音が出ない	"HDMI　音声出力"が"切"に設定されている。	設定メニュー"機器接続設定"の"HDMI 音声出力"を"入"に設定してください。	(☞85 ページ)
	アンプが"Bitstream"出力に対応してない。	対応のアンプを使用してください。	(☞83 ページ)
ダビングできない	タイトルが著作権保護されている。	著作権保護されているタイトルのダビングはできません。著作権保護されていないタイトルを選択してください。	(☞24 ページ)
	ファイナライズされたディスクを挿入してる。	未ファイナライズのディスクを挿入してください。	-
	ディスクがフォーマットされてない。	ディスクをフォーマットしてください。	(☞26 ページ)
	SD カードがライトプロテクトされている。	SD カードを取り出し、ライトプロテクトを解除してください。	(☞28 ページ)
EP モードタイトルが高速ダビングできない	EP モードタイトルを DVD-VIDEO モードディスクに高速ダビングしようとすると"ダビングできないタイトルがあります"と表示されダビングできない。	EP モードで録画または取り込む前に設定メニュー"高速ダビング"の設定を"4:3"に設定してから録画・取り込みを行なってください。	(☞25 ページ) (☞81 ページ)

問題	症状	対処方法	参照ページ
取り込みできない	タイトルが著作権保護されている。	著作権保護されているタイトルのダビングはできません。著作権保護されていないタイトルを選択してください。	(☞24 ページ)
	HDD に保存されているタイトル数が上限に達している。	HDD 内のタイトルを削除または結合するなどし、タイトル数を 500 未満にしてください。	(☞66 ページ)
	HDD の空き容量が少ない。	HDD 内のタイトルを削除するなどし、空き容量を増やしてください。	(☞66 ページ)
タイトル名/グループ名が変更できない	タイトル名/グループ名が保護されている。	タイトル名/グループ名の保護を解除してください。	(☞68 ページ)
リモコンが働かない	リモコンの電池が消耗している。	リモコンの電池を新しいものと交換してください。	(☞15 ページ)
	本機とリモコンのリモコンコードが異なってる。	リモコンの"リモコンコード"を本機と同じ番号に変更してください。	(☞15 ページ)
	本体表示窓に"LOCKED"と表示される。	"モードロック"を解除してください。	(☞88 ページ)
ディスクが取り出せない	本体表示窓に"LOCKED" と表示される。	"トレイロック"を解除してください。	(☞88 ページ)
	本体表示窓に"READING" と表示されたままとなり、[⏏]ボタンを押してもディスクトレイが開かない。	本体前面の[⏏]ボタンを 5 秒以上、長押しすると、ディスクトレイが開きます。ディスクを取り出した後、ディスクトレイを閉じるときは、[⏻/I]ボタンを押して、トレイが閉じて、電源が切れるまで待ってください。([⏏]ボタンを 5 秒以上、長押ししても開かない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。)	-
ディスクが再生できない	本機で再生できないディスクが入っている。	本機で再生可能なディスクを再度ご確認ください。	(☞9 ページ)
	BD や DVD のリージョンコード(地域番号)が本機と異なっている。	本機で再生可能なリージョン番号を再度ご確認ください。	(☞9 ページ)
	他機で記録したファイナライズされていない DVD が入っている。	記録したレコーダーでファイナライズしてください。	-
"コンポーネント出力解像度"が設定した解像度ではなく、映像が"480i"で出力される	HDMI 接続で BD を"1080/24p"出力で視聴した後に、コンポーネント出力が"480i"となることがあります。	電源を「切」にしたあと、再度電源を「入」にしてください。	-
HDMI 出力とコンポーネント出力のアスペクトが違う	2 台のモニタを本機の HDMI 出力とコンポーネント出力の両方に接続し、"映像優先モード"を"HDMI"に設定すると"コンポーネント出力"の画面アスペクト比が不適切になる場合があります。	2 台のモニタを同時に使用する場合、"映像優先モード"は"SDI/コンポーネント"にして使用することをお勧めいたします。	(☞84 ページ)
"モード変換"の設定で、"シームレス"を"電源切後変換"にして、電源を切ってもモード変換が実行されない。	"シームレス"で"電源切後変換"の設定後に電源を切り、モード変換実行中に電源を入れてモード変換を中断した場合は、再度電源を切ってもモード変換を実行しない場合があります。	モード変換をキャンセルしてください。	(☞77 ページ)

備考

■ VIDEO 出力について

[VIDEO]端子から、NTSC 信号が出力されますが、解像度の低下があります。

■ カラリメトリについて

SD と HD 間の双方向カラリメトリ変換はされておりません。

■ 画質について

再生時にダウンコンバートする場合、画質の低下があります。
DVC_pro からダビングした映像では、画面下にノイズが出る場合があります。

■ タイムコードについて

再生時のタイムコードは、フレーム単位のタイムコードではなく、再生している時間表示となります。
再生状態によって、カウントアップが不連続になる場合があります。

保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。
保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。
故障その他による営業上の機会損失は補償いたしません。
その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明な点はお買い上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧のうえ、最寄のサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口に次のことをお知らせください。

品名	:	BLU-RAY ディスク & HDD レコーダー
品番	:	SR-HD2500
お買い上げ日	:	年　月　日
故障の状況	:	故障の状況をできるだけ具体的に
お名前	:	
ご住所	:	
電話番号	:	

お客様個人情報の取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、株式会社 JVC ケンウッドおよびグループ関係会社(以下、当社)にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間、保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適正に処理してください。

消耗部品について

下表は消耗部品の一覧です。これらの部品交換にともなう部品代、および技術料、出張料を含む修理費用は保証期間内でも有償となります。

部品名	備考
ハードディスクドライブ	消耗部品
電源ファンユニット	消耗部品

仕様

■ 一般

電源
AC 100 V∿、50 Hz/60 Hz
定格電流
0.75A
レーザー仕様
CD 部
波長 ： 779 nm ～ 789 nm
出力 ： 安全保護されており、機器の外には危険な放射はされません。
DVD 部
波長 ： 656 nm ～ 663 nm
出力 ： 安全保護されており、機器の外には危険な放射はされません。
BD 部
波長 ： 400 nm ～ 410 nm
出力 ： 安全保護されており、機器の外には危険な放射はされません。
温度
許容動作温度 ： 5℃～ 35℃
許容保存温度 ： -20℃～ 60℃
使用位置 ： 水平のみ
外形寸法（幅 x 高さ x 奥行き） ： 435 mm x 70 mm x 351 mm
質量 ： 5.3 kg (11.7 lbs)

■ 入力/出力

HD-SDI/SD-SDI 入力 ： SMPTE 292M 準拠/SMPTE 259M-C 準拠 (BNC)
HD-SDI/SD-SDI 出力 ： SMPTE 292M 準拠/SMPTE 259M-C 準拠 (BNC：ダイレクト/モニター切換)
HD-SDI/SD-SDI[THROUGH OUT]出力 ： SMPTE 292M 準拠/SMPTE 259M-C 準拠 (BNC)
ビデオ入力 ： 1.0 Vp-p、75 Ω（BNC）
ビデオ出力 ： 1.0 Vp-p、75 Ω（BNC）
音声入力 ： 最大 2 Vrms、10 kΩ（ピンジャック）
音声出力 ： 2 Vrms、10 kΩ（ピンジャック）
S 映像入力
Y ： 1.0 Vp-p、75 Ω
C ： 0.286 Vp-p、75 Ω
S 映像出力
Y ： 1.0 Vp-p、75 Ω
C ： 0.286 Vp-p、75 Ω
DV ： 4 ピン、HDV/DV 入力
リモート入力 ： φ3.5 mm ジャック
シリアルコマンド ： D-SUB 9 ピン
コンポーネント映像出力：
Y ： 1.0 Vp-p、75 Ω
CB/CR、PB/PR ： 0.7 Vp-p、75 Ω

メモ:
- コピー保護対応

光デジタル音声出力：
オプティカル ： Dolby Digital、DTS および AAC 対応、ビットストリーム、メニュー設定によるデジタルオーディオ出力の選択可能
HDMI 出力
19 ピン A タイプ
（Deep Color、x.v.Color、Ver1.3）
USB 端子
USB2.0

■ SD メモリーカード

SD、SDHC

■ HDD 部

500 GB
記録ファイル形式
動画
MPEG2（VBR）
H.264/AVC
音声
Dolby Digital（2 ch）
リニア PCM（2ch、XP モードのみ）
MPEG1 Audio Layer2 (2ch, HD-SDI 記録時)

■ BD/DVD 部

記録ファイル形式
動画
MPEG2（CBR/VBR）
H.264/AVC
音声
Dolby Digital（2 ch）
リニア PCM（2ch、XP モードのみ）
MPEG1 Audio Layer2 (2ch, HD-SDI 記録時)
リージョンコード
BD ： リージョン A
DVD ： #2

■ 付属品

提供品
- AC 電源コード
- リモコン
- 単三形電池 x 2

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

Important Notice Concerning the Software

Software License Attached to the Product

The Software embedded in the Product is composed of several independent software components, and in each of such individual components, a copyright of either JVCKENWOOD or a third party subsists.

The Product uses the software component designated in the End-User License Agreement that was executed between JVCKENWOOD and a third party (hereinafter "EULA").
"EULA" covers those corresponding to free software, and, as a condition of distribution of the software component in executable format which is based on the license granted under the GNU General Public License or Lesser General Public License (hereinafter "GPL/LGPL"), it requires an availability of the source code for the relevant component. For details of the software component covered by "GPL/LGPL", please visit the following website:

URL : http://www3.jvckenwood.com/english/download/gpl/index.html

Please note that we are unable to answer any inquiry relating to the contents, etc. of the source code.

Please note that any software component licensed under "EULA" which is not subject to "GPL/LGPL", and those developed or created independently by JVCKENWOOD shall not be subject to the requirement for provision of the source code.

The software component distributed under "GPL/LGPL" shall be licensed to users without charge, and, therefore, no warranty is given for such software component, either express or implied, within the scope of the applicable laws and regulations. Unless otherwise permitted by applicable laws and regulations or agreed in written form, none of the owners of the copyright or persons entitled to alter or redistribute the software component under the said license shall have any liability for any type of damage or loss resulting from the use of or inability to use such software component. For further details of the conditions of use of such software component or matters required to be complied with, please refer to the relevant "GPL/LGPL".

Users are urged to read the details for the relevant license carefully before using the software component covered by "GPL/LGPL" and embedded in the Product. Since the terms and conditions of individual licenses are provided by parties other than JVCKENWOOD, the original English version will be included.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに株式会社JVCケンウッドまたは第三者の著作権が存在します。

本製品は、株式会社JVCケンウッド及び第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメント（以下、「EULA」といいます）に基づくソフトウェアコンポーネントを使用しております。
「EULA」の中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public LicenseまたはLesser General Public License（以下、「GPL/LGPL」といいます）のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするように求めています。当該「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧頂くようお願い致します。

ホームページアドレス　http://www3.jvckenwood.com/download/gpl/index.html

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えしかねますので、予め御了承ください。

「GPL/LGPL」の適用を受けない「EULA」に基づくソフトウェアコンポーネント及び株式会社JVCケンウッド自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示かつ黙示であるかを問わず一切ありません。
適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。

本製品に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお各ライセンスは株式会社JVCケンウッド以外の第三者による規定のため、原文（英文）を記載します。

Important Notice Concerning the Software (continued)

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2, June 1991

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights.
These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.
We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License.
(Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Important Notice Concerning the Software (continued)

END OF TERMS AND CONDITIONS
How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.
This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.,
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.
To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs.

These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

Important Notice Concerning the Software (continued)

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

索引

SR-HD2500
BLU-RAY ディスク & HDD レコーダー

JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター

0120–2727–87

携帯電話・PHS・一部のIP電話・FAXなどからのご利用は
電話 (045)450-8950 ［代表］
FAX(045)450-2308
〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ http://www3.jvckenwood.com/

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

LST1411-001A